

第八十九回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第三回

昭和二十年十二月四日(火曜日)午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中島綱國次君
委員 石坂 繁君 理事 今尾 登君
理事 片山 一男君 理事 南條 德男君
理事 眞鍋 儀十君 理事 池田正之輔君
理事 中村又七郎君 理事 田中 好君
理事 水谷長三郎君
安孫子孝次君 赤間 德壽君
有馬 英治君 植松 練磨君
大口 喜六君 勝 正憲君
勝又 春一君 木下 信君
喜多壯一郎君 岸井 壽郎君
川崎 克君 篠原 陸朗君
庄司 一郎君 鈴木 正吾君
曾木 重貴君 田中伊三次君
田中 藤作君 田中 貢君
竹内 俊吉君 中井 亮作君
中村三之丞君 長井 源君
南郷 武夫君 木村 武雄君
濱野徹太郎君 林 佳介君
樋口善右衛門君 松尾 三藏君
松田竹千代君 阪本 勝君
三宅 正一君 村松 久義君
紫安新九郎君 山口左右平君
横川 重次君 吉田 正君
同月三日委員櫻井兵五郎君及山崎達之輔君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月四日川副議長及安藤覺君當選セリ
出席國務大臣左ノ如シ
内閣總理大臣 兼第一復員大臣 幣原喜重郎君
第二復員大臣 森田 文雄君
司法 大臣 岩田 宙造君

農林 大臣 松村 謙三君
文部 大臣 前田 多門君
外務 大臣 吉田 茂君
內務 大臣 堀切善次郎君
國務 大臣 松本 丞治君
厚生 大臣 芦田 均君
國務 大臣 次田大三郎君
大藏 大臣 小笠原三九郎君
運輸 大臣 田中 武雄君
商工 大臣 小笠原三九郎君
國務 大臣 小林 一三君
出席政府委員左ノ如シ
内閣副書記官長 三好 重夫君
法制局長官 楠橋 渡君
法制局次長 入江 俊郎君
法制局參事官 佐藤 達夫君
外務政務次官 犬養 健君
外務省政務局長 松浦周太郎君
外務省管理局局長 田尻 愛義君
外務省管理局次官 森重 干夫君
內務政務次官 川崎末五郎君
內務省警保局長 中 助松君
內務省警保局長 小泉 梧郎君
大藏政務次官 由谷 義治君
大藏省主計局長 山本 桑吉君
大藏省主稅局長 中村 建城君
大藏省外務局長 池田 勇人君
大藏省金庫局長 野田 卯一君
第一復員政務次官 久保 文藏君
第一復員政務次官 宮崎 一君
第一復員參事官 原 守君
第一復員參事官 野口 喜一君
第一復員參事官 吉積 正雄君
第一復員參事官 森田 親三君
第一復員參事官 大山 文雄君

第一復員官 吉本 重章君
第二復員政務次官 田中 亮一君
第二復員參事官 三戸 壽君
第二復員參事官 星野靖之助君
第二復員參事官 山本丑之助君
第二復員參事官 山本 善雄君
司法政務次官 手代木隆吉君
司法參事官 渡邊 昭君
文部政務次官 三島 通陽君
文部參事官 森田重次郎君
文部省學校教育局局長 田中耕太郎君
文部省社會教育局局長 關口 泰君
厚生政務次官 矢野庄太郎君
厚生參事官 田中和一郎君
厚生省衛生局長 澤 重民君
厚生省社會局長 栗原美能留君
厚生省勤勞局長 佐伯 敏男君
農林政務次官 紅露 昭君
農林參事官 北條 篤八君
食糧管理局局長 並川 義隆君
商工參事官 木暮武太夫君
商工省總務局長 山根 健男君
商工省總務局長 菅波 稱事君
商工省商務局長 岡村 武君
商工省商務局長 奥田 新三君
商工省商務局長 松田 太郎君
商工省燃料局長 岡松成太郎君
商工省整理部長 吉田第二郎君
運輸政務次官 新井 亮爾君
運輸參事官 白川 久雄君
運輸省企畫局長 小野 哲君
運輸省海運總局長 滿尾 君亮君
運輸省海運總局長 福原 敬次君
運輸省海運總局長 有田 喜一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
(第一號)昭和二十年度歳入歳出總豫算追加案
○中島委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日ノ川崎君ノ質問ニ對スル答辯ノ爲メ、政府ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス。内閣總理大臣
○幣原國務大臣 昨日川崎君ノ御質問ニ對シマシテ、同一ノ質問ガ昨日ノ本會議ニモ提出サレタノデアリマス、其ノ際私ハ一應御答ヘテ致シテ置キマシタガ、此ノ豫算總會ニ於キマシテハ、アノ質問ノノ問題ガ一時留保サレタヤウナ形ニナツテ居リマスルカラ、此ノ際重復スルカモ知レマセマスガ、本會議デ申上ゲタト同様ナ趣旨ヲ私ヨリ更メテ此ノ際申上ゲテ置キタイト存ジマス、即チ一般論ト致シマシテ、解散ニスル黨派ガ多數ヲ占メマシタ場合、之ニ政權ガ移ツテ行クコト云フコトハ、所謂憲政ノ常道デアリマス、民主的見地カラ見マシテ望マシコトデアルト考ヘテ居リマス、私ハ我が國ニ於テモ今後斯クノ如キ政治ノ慣習ガ一日モ速カニ確立サレコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス、現内閣 進退ニ付キマシテモ、當然以上ノ趣旨ヲ實現スベキ線ニ沿ツテ決スベキモノデ、ルト思ヒマスルガ、今日ノ場合具體的ニ何時如何ナル場合ニ進退スルカト云フコトニ付テハ、言明出來兼ヘルコトヲ御諒承願ツテ置キマス
○中島委員長 川崎君

○川崎(克)委員 大體只今總理大臣ノ御言明ニ依リマシテ、昨日來質問ノ繰返シマシタコトガ諒解ヲサレタト存ジマス、其ノ點ハ私ハ諒承致シマス、此ノ問題ト關聯ヲ致シマシテ總理ガ御述べニナリマシタモノノ中デ、國民ノ政治責任ト云フコトガアルノデアリマス、其ノ國民ノ政治責任ニ付テハ、新聞記者ニ御答ヘニナリマシタ所ニ依ツテハ、國民ニモ政治責任ガアルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、昨日ノ御答辯ヲ承ツテ見マスルト、其ノ質問ハ重臣ニ對シテ責任ガアルカナイカト云フコトカラ發シテ、重臣ハ職守ヲ阻止シナカッタカラシテ、其ノ阻止シナカッタ責任ガアルノデハナイカト云フコトデアツタガ、ソレニ對シテハ、重臣ニ責任ガアルト云フコトニ付テハ、別ニ法律上ノ責任モナイヤウニ思フシ、重臣ニ責任ガアルナラバ國民ニモ責任ガアルデナイカト云フヤウナコトマデ應酬ヲサレタト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ重臣ニ責任ガアルト云フコトナラバ、國民ニモ責任ガアルト云フコトニ解セラル、御答辯デソツタト思フノデアリマスガ、併シテソコトヲ私ガハツキリ致シテ置キタイト思ヒマスノハ、此ノ問題會ニ於テ責任ニ對スル決議案ガ提出セラレマシタ時ニ、國民ニ對シテ責任ナシト云フコトヲ決議ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ趣旨カラ致シマシテ國民ハ政治上ノ責任ヲ負フベキデナイ、何故ニ責任ヲ負フベキデナイカト云フコトヲ明カニシテ置クコトガ必要デアル、斯様ニ思

フノデアリマス、ソレハ此ノ大東亞戰爭ト云フモノノ開始セラレタ戰爭誘發者ト見ルベキモノハ勿論軍部、官僚ノ一部ニツタコトハ明カデアリマシテ、其ノ大東亞戰爭ニ導カデノ経路ニ於キマシテ、最も深い原因ヲナシタモノハ三國同盟デアルト思ヒマス、三國同盟ニ對シマシテハ我國ノ國論ガ殆ド一致シテ、彼ノ三國同盟ヲ支持シテ居ツタカト云ヘバサウデアハナイ、サウデアハナイト云フ證據ハ、三國同盟ヲ締結スルニ至ルマデノ経路ニ依ツテ明白ニサレルト思フノデアリマス、第一平沼内閣ノ時分ニ七十何回カ會議ヲ開イテ此ノ問題ヲ論ジタノデアリガ、遂ニ之ヲ流シテシマツタ、續イテ出來タ内閣ハ阿部内閣デアリマシテ、是ハ極メテ短イ内閣デアリマシタカラ此ノ問題ヲ論議スルニ至ラナカツタガ、米内内閣ニナリマシテ此ノ問題ヲ採上ゲタ時分ニ、米内内閣ハ三國同盟ニ反對シタ、反對シタ爲ニ陸軍ニ於テハ陸軍大臣辭職ヲシテ、サウシテソレガ爲ニ米内内閣ハ瓦解ノ餘儀ナキニ至ツタ、其ノ後ヲ承ケテ生レタモノハ近衛内閣デアリマシテ、近衛内閣ノ時ニ送ニ三國同盟ガ締結サレタ、内閣ヲ三度送ヘテ漸ク三國同盟ノ締結ヲ見タノデアリマシガ、ソレマデニハ色々ナ工作ガ行ハレテ、政治新體制デアルトカ、全體主義デアルトカ、衆議院裁デアルトカ云フヤウナ思想ヲ入レテ、銃劍ノ力ヲ以テ國民ノ言論ヲ壓迫シ、國民ノ言論ヲ封鎖シテ置イテ三國同盟ヲ締結シタ、國民ハ三國同盟ニ付テハ何等ノ發言權ヲ持ツテ居リマセヌ、一部ノ軍閥官僚ガ之ヲ謳歌シテ、強イテ三國同盟ノ國論ヲ擬裝シ、遂ニ大東亞戰爭ニ導イ

タ、此ノコトニ付テハ、戰爭ヲ開始シマスルニ至ル迄ノ原因ニ付テハ國民ハ知ラナカツタ、ソレカラ後ニ於テモ愈々詔書ガ發セラレテ、承諾必謹ノ精神ニ基イテ、國民ハ政府ノ命令ヲ承順シ、職域ニ於テ挺身ヲ致シテ來タノデアリマシテ、國民ハ戰爭開始者ノ責任ト云フモノニ付テハ何等持ツテ居ナイ、世間デハ日本ニ對シテ好戰國民デアルト云フ考ヘヲ懷イテ居ルヤウデアリマスガ、大東亞戰爭ニ限ツテハ、好戰國民トシテ英米ヲ敵トシテ戰フト云フ考ヘヲ國民ノ全部ガ持ツテ居ルナント云フコトハ決シテナカツタ、ソレハ擬裝ノ國論ハ作ラレタカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フコトハナカツタ、終戰後ノ今日ニ於テ見マスルト、ドウデアアルカト云ヘバ、此ノ終戰ノ本土上陸ヲセズニ、又サウ云フ狀態ニ入ラナイデ、一兵モ輟ラズシテ遂ニ終戰ニナツタト云フ此ノ狀態デアリマスガ、其ノ終戰後ノ狀況ヲ見ルナラバ——尤モ「マツタアーサー」司令部ノ處置宜シキヲ得テ居ル爲メデアリマセウガ、國民ノ「マツタアーサー」司令部及ビ進駐軍ヲ迎ヘテ居ル態度ト云フモノハ、全ク仇敵ニ對スルヤウナ感情ガ發露シテ居ナイ、是ハ明カニ證據デアアル、心カラ十年ノ舊知ヲ迎ヘルヤウナ、心持ヲ以テ迎ヘテ居ル、國民ニ英米ヲ敵トスルノ心ガナカツタト云フコトヲハツキリト證明シテ居ルノデアリマシテ、其ノ意味ニ於テハ國民ニ責任ナシト云フコトヲ明カニシテ置キタイ、故ニ總理大臣ニ御願ヒテ致シマスガ、新聞記者ノ御尋ネニ對シテ御答ヘニナリマシタコトノ經緯ハ兎モ角トシテ、政治上ノ責任ハ國民ハ有シナイト云フコトヲ、ハツ

キリ總理カラ此ノ議場ヲ通ジテ國民ニ明白ニサレタイト云フコトヲ私ハ希望ニ堪ヘナイ、ソレダケヲ申上ゲテ政府ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス
○幣原國務大臣 只今川崎君ノ御話ノ通りノ政治ノ裏面ノ消息ニ付キマシテハ國民ハ知ラナカツタ、知ラサレナカツタノデアリマス、國民ハ知ル途ガナカツタノデアリマス、隨テ三國同盟デアルトカ、其ノ他今同ノ戰爭ノ直接又ハ間接ノ動機、原因トナツタ政治ノ動向ノ内情ヲ知ラナイノデアリマスカラ、知ラナイノニ責任ト云フモノガ生ジテ來ル譯ハナイト思ヒマス、其ノ點ハ私ハ川崎君ト全ク同感ヲ持ツテ居リマス
○川崎委員 ハツキリ致シマシテ洵ニ満足ヲ致シマス
更ニ總理ニ御尋ネヲ致シタイノデアリマスガ、憲法改正ノ事ニ付キマシテハ、過日ノ議會ニ於テ齋藤君カラモ御尋ネヲ致シマシテ、政府ノ堂々タル所信ヲ此ノ際發表スベキガ當然デヤナイ信ヲ此ノ際發表スベキガ當然デヤナイカト云フコトヲ述ベタノデアリマス、ソレニ對シテ政府ハ今所信ノ發表スルノ時期デハナイト云フコトデアツタヤウデアリマス、併シ具體的ノ問題ニ付テハ具體的ノ問題ヲ採上ゲテ、斯様ナ問題ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ御尋ネ致シタイノデアリマシテ、ソレニ付テハ御答ヘ得ラレルコトデアアラウト存ズルノデアリマス、先ヅ私ノ御尋ネ致シタイノハ、先程來申上ゲマシタヤウニ、戰爭ノ原因トナツタ問題ニ付キマシテ、第一軍國主義ノ壞滅ヲ圖ルト同時ニ、民主國家ノ樹立ヲ圖ラナケレバナラスト云フコトハ、「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ツテ

當然履行シナケレバナラストコトデアリマスカラ、ソコデ宣戰デアルトカ、講和デアルトカ、條約デアルトカ云フヤウナ問題ノ締結ニ付テハ、日本ノ憲法ハ憲法十三條ニ依ツテ大權事項トシテ規定セラレテ居リマシテ、是ハ大權ノ發動ニ依ツテ行ハレル外、國民ハ協力ヲ求メルヤウナコトハナイ、隨テ此ノ規定ガアルガ爲ニ軍閥及ビ一部ノ官僚ガ利用シテ、此ノ度ノ大戰爭ヲ誘致シタト云フ原因モアルノデアリマス、少クトモ此ノ問題ニ付テハ國民ニ相談ノ掛ケル、國民ノ代表デアアル所ノ議會ノ協賛ヲ得ルト云フコトガアレバ、斯様ナ失態ハ起ラナカツタデアアラウト思フ、ソレデアリマスカラ、此ノ度ノ憲法ノ改正ヲナササルニ付テハ、民主主義國家ヲ樹立セラレルト云フ建前カラ、此ノ點ヲ憲法ヲ改正セラレル精神ノ上ニ織込マナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレニ付テ政府ハ如何ナル考ヘヲ御持チニナツテ居ルカ、ソレヲ承リタイノデアリマス
ソレト同時ニ從來外交問題ニ付テハ、各國ニモ、リマスヤウニ、外交委員會ノ設置ノコトガ叫バレテ居リマシタガ、今日マデ其ノ實現ヲ見ナカツタケレドモ、國民外交、民主外交ト云フコトヲ行ウチ行カナケレバナラスト建前ニ於キマシテハ、當然外交上ノ問題ニ付テハ、外交委員會ガナケレバナラスト思フ、幣原總理ハ今マデ海外ノ事情ニ必要ヲ認メラレルコトデアアラウト思フノデアリマス、是ハ憲法ノ改正問題デハアリマス、是ハ憲法ノ行政運用ノ上ニ於テ其ノ必要アリト思フノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ所見ヲ承リタ

イノデアリマス
○幣原國務大臣 御承知ノ通り、憲法改正ノ問題ニ付キマシテハ、今内閣ノ方デ一ツノ審査委員會ヲ開キマシテ、殆ド連日研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ申スマデモナク、是ハ政治、國家組織ノ根本ニ關スルモノデアリマスカラ、極メテ慎重ニ取扱フ必要ガアリマシテ、凡ユル角度カラ檢討致シテ居ルノデアリマス、隨テマダ閣議ニ問題ガ提出サレテ論議サレルト云フ場合ニハ達シテ居リマセヌノデ、詰リ内部ノ一ツノ審査ヲ進メテ居ルト云フコトデアリマス、隨テ具體的ノ問題ニ付キマシテ結論ヲ得テ居ナイモノヲ此ノ際ニ私カラ申上ゲルマスルコトハ出來兼ネル次第デアリマスガ、併シ大體ニ於キマシテ、假令憲法ノ解釋上條項ヲ改正シナクテモ行ハレルト云フヤウナモノガアリマシテモ、之ヲハツキリシテ置イテ、他日ニ疑義ヲ貽サナイ、濫用サレル處ヲ防グノダト云フヤウナコトデアリマスレバ、是ハ改正ガアツテ宜イコトダト思ツテ居ルノデアリマス、根本ハドウシテモ民主主義的傾向ト云フモノノ發達ヲ妨ゲナイヤウニ、ソレヲ便宜ニスルヤウニト云フ考ヘカラ起ツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテハ十分考ヘニ入レマシテ、適當ナル案ヲ練ツテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ實ハ具體的ノ問題ニ付キマシテ、外交委員會ヲ拵ヘルトカ、大權ヲドウ云フ範圍内ニ於テ新ナル規定ヲ設ケルトカ、大權事項ニ關シテドウ云フ規定ヲ設ケルトカ、未ダ結論ニ對シテ居ラスモノヲ今豫メ申上ゲルト云フコトハ出來ナイ實情ニアル

ノデアリマスカラ、ソレダケハ御諒承
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川崎(克)委員 私ハ大藏大臣ニ御尋
ネヲ致シタイノデアリマス、昨日大藏
大臣ノ豫算ノ全貌ニ付テ御説明ヲ承リ
マシテ、其ノコトニ付テ私ハ大體ノ財
政計畫ニ付テ御伺ヒテ致シテ見タイノ
デアリマスガ、ソレト同僚ノ田中君、
中村君カラ御間ヒナラウト思ヒマス
カラシテ、私ハ極メテ大體ノ點ヲ承ッ
テ置キタイト思フノデアリマス、昨日
ノ財政計畫全體ニ對シマスル御發表ニ
依リマシテ了承致シタノデアリマス
ガ、五箇年計畫ナルモノガ發表セラレ
テ居リマシテ、其ノ中デ公債二千億ト
云フコトニ決メラレテ、此ノ利子ガ七
十三億計上セラレテ居ルヤウデアリマ
スガ、此ノ二千億ノ内容ヲ極メテ大綱
デ宜シデスカラ承リタイト思ヒマス
、今日既發ノ公債ハ約千三百億程ニ
モナツテ居ルカト思ヒマスガ、其ノ數
字ハドノ位ニナツテ居リマスカ、ソレ
ヲ承リタイト同時ニ、臨時軍事實費ノ百
六十五億ト云フモノハモウ是デ打切り
ニナル豫定デアリマスカ、更ニ又追加
豫算ヲ求メラレル豫定デアリマスカ、
ソレモ承リタイト思ヒマス、ソレカラ
軍需會社ノ補償金ハ五百六十五億ト云
フコトデアリマスガ、其ノ中デ軍需會
社ニ對スル分ハ三百二十億ト云フヤウニ
記憶致シテ居リマスガ、是等ノ經費ヲ
合セマス、約二千億ニ近イヤウナ數
字ガ出テ來ルノデアリマス、其ノ他ニ
復興資金ト失失業救済資金トカ計上
致シマシテ大體二千億ノ計算ノ基礎的
數字、大マカナ點デ宜シカラ、大體
ノ項目ニ付テ二千億ト云フ數字ガ出テ
居ルノカ、承リタイ

○滿澤國務大臣 只今財政方針ノ大要
ニ付テノ御尋ネガアリマシタ、其ノ中
デ公債利子ガ七十三億、其ノ元ニナル
大凡其ノ二千億ノ公債發行ニ對スル基
礎的ナ考ヘ方ニ付テノ御尋ネガゴザイ
マシタ、御答ヘ申上ゲマス、現在公債
ガ發行サレテ居リマスノハ、十九年度
末ニ於テ千四百四十億デアリマス、二十
年度末ニ於テ千五百六十億ニナル推
定ヲ致シテ居リマス、其ノ他ニ臨時軍
借入金ノ百五十億、補償金ノ四百六十
億ト云フモノガ今豫定サレテ居リマ
ス、即チ約六百億バカリノモノガ豫定
サレテ居ル譯デアリマス、其ノ他ニ今
後申サレマシタ戰災復興ニ要スル經
費、又食糧増産ニ要スル經費、社會施
設ニ要スル經費、或ハ引揚邦人援護ニ要
スル經費、更ニ對外的ナ國庫負擔ニナ
ルモノ、是等ハ今ノトコロ全ク見當
付カスモノガアリマス、斯ウ云フモノ
ヲ考ヘマシテ、大體ノトコロ二千億程
度ト云フコトニ勘定シテ居ル次第デア
リマス

○川崎(克)委員 御示シナリマシタ
數字ヲ拾ヒ上ゲテ見マス、大體二十
年度末ノ現計ニ於テ千五百六十億ト云
フ外ニ、軍事實費ノ百五十億、軍需補償
金ノ四百六十億ト云フヤウナ數字デ、
是ダケデ二千億ニ達シテ居ル、其ノ外
ニ戰災復興資金及ビ食糧増産、社會施
設或ハ引揚ニ關スルモノナドヲ除外シ
テ居ツテ、是ハマダ目途ガ付カスト云
フコトデアリマシタガ、左様ニ承シ
テ宜シウゴザイマス、ソコデ承リ
タイコトハ二千億ノ公債ノ償還スル爲
ニ、茲ニ調期的ナ増稅計畫ヲ發表セラ
レテ居リマス、一ツハ「インフレ」防止
デアリ、一ツハ財政再興ノ基礎確立ノ

意味デアルト思ヒマスガ、其ノ調期的
増稅ハ、戰爭利得稅及ビ財産稅、此ノ
二ツノ柱ヲ立テテ、大體財源ヲ得ル目
的トナツタト云フコトデアリマス、其
ノ中デ戰爭利得ニ關スル軍需會社ニ對
スル分ニ付キマシテハ、是ハ戰爭ニハ
利益ガナイ、況ヤ敗戰後ニ於テヤヤデ
アリマシテ、是ハ徹底的ニ吐出サセナ
ケレバナラスト云フヤウニ考ヘラレテ
居リ、又國民ノ希望モ其ノ點ニアルト
思フノデアリマス、ソコデ戰爭利益者
ト云フモノガ今マデドウ云フコトヲシ
テ居ルカト言ヘバ、閣下爲ノ橫行スル
原因モ色々アリマスガ、此ノ戰爭利益
者ガ最モ大キナ原因ヲ屬ツテ居ル、ソ
レダカラ此ノ戰爭利益者カラ利益ヲ取
上ゲルト云フコトハ、一ツハ社會風教
上ノ點カラ考ヘテモ其ノ必要ガアルノ
デアリマシテ、之ヲドウ云フ方法ニ依
リテ取上ゲルカ、此ノ年度ハ何時カラ
利益計算ガ始マルノデアリマスカト云
フコトヲ承リタイノデアリマスガ、何
時カラ利益計算ノ算定ヲ御始メニナル
御考ヘデアリマスカ、ソレヲ承リタイ

○滿澤國務大臣 只今御尋ネノ軍需會
社ノ利益ニ對シマスル問題デアリマス
ガ、是ハ洵ニ御説御尤モデアリマシテ、
私モ至極同感ト存ジマス、唯軍需會社
個々ニ依ツテ其ノ態樣ガ恐ロシク違フ
ノデアリマス、一ツノ付キマシテ
ハ各種ノ事情ノ異ナルコトヲ考ヘナケ
レバナラスト思ヒマス、補償其ノモ
ノガ事實ノ損害ニ對スル補償デアリマ
ス、其ノ損害ヲ埋メテ果シテ利益ニナ
ルカドウカト云フコトモ問題デアリマ
ス、サウ云フ會社モゴザイマスシ、又
今同ノ軍需會社ノ補償其ノモノノ考ヘ

方ガ、必ズシモ全部ノ損害ヲ「カバー」
シテ、尙ホ其ノ軍需會社ヲシテ全ク損
害ナカラシムルト云フ建前デハゴザイ
マセス、此ノ軍需會社ノ補償ニハ二ツ
ノ分ケ方ヲシテ居リマス、一ツハ火災
保險ノ損害デアリマス、是ハ火災保
險ノ保險料ヲ拂ツテ居ル一ツノ保
險契約デアリマス、此ノ問題ト、
ソレカラ例ヘバ設備ヲ國家ノ命令
ニ依リマシテ殖ヤシマシタモノ、其
ノ他ノ生産命令、サウ云フモノトノ
間ニ多少ノ區別ヲ考ヘテ居リマス、
軍需會社ノ生産設備ノ殖エマシタ
部分、之ニ對シマシテノ損害ノ補償ト
云フモノハ、是ハ單純ニ補償スル考ヘ
ハゴザイマセス、一ツノ軍需會社
ヲ十分ニ調べマシテ、而モ其ノ如何ナ
ル範圍ニ於テ補償スルカ、如何ナル程
度ニ於テ補償スルカ、如何ナル方法ニ
於テ補償スルカト云フヤウナコトニ付
キマシテハ、極メテ公開的ナ委員會ヲ
設置シ、ソレニ一ツノ掛ケマシテ、十
分ニ經理的、實際的ニ其ノ會社ヲ調べ
タ上デハツキリ其ノ額ヲ決メテ參ル積
リデアリマスカラ、今客觀的ニ出シテ
居リマス所ノ數字其ノモノガ、必ズシ
モ補償サレルトハ限ラナイノデアリマ
ス、又生産命令其ノ他ニ於キマシテ
モ、其ノ段階ニ於キマシテ必ズシモ明
確デナイモノモゴザイマス、斯ウ云フ
風ナ點ニ付キマシテハ、其ノ委員會ニ
於キマシテ十分精査ヲ遂ゲ、而モソレ
ハ政府デケデナシニ、凡ユル民間ノ知
識ヲ入レマシテ、一ツノ委員會ヲ作リ
マシテ、ソレニ依リマシテ精査シテ行
クト云フ考ヘ方デゴザイマス、併シ尙
且ツ其ノ軍需會社ニ含ミノ利益ガル
ト云フヤウナコトガゴザイマシタ場合

ニハ、戰爭利得稅トシテ取ルコトガ方
法論的ニ不可能デアリマシテモ、財産稅
トシテ十分ニ取ツテ行ケルト云フ風ニ
考ヘテ居リマス、隨テ戰爭ニ依ツテ其
ノ爲ニ肥エルト云フコトハナカラシム
ル考ヘ方ヲシテ居リマス、尙ホソレデ
ハ何時カラ利得稅或ハ財産稅ヲ開始ス
ルカト云フ御間ヒデゴザイマシタガ、
是ハ最初考ヘ付キマシタ時ニハ、昭和
十六年ノ暮ト云フコトヲ考ヘテ居リマ
シタ、即チ大東亞戰爭勃發ノ時ヲ以テ
ト云フヤウニ考ヘテ居リマシタガ、其
ノ後色々考ヘマシタ結果、戰爭ハ必ズ
シモ大東亞戰爭カラ始マツタノデハナ
イノデアリマス、隨ヒマシテ出來ルダ
ケ過去ニ迴ル積リデアリマスガ、併シ
同時ニ是ハ稅務署ニ於キマスル當局ノ
資料、ソレカラ相手方ノ資料、其ノ他ノ
凡ユル觀點ニ立チマシテ、資料ノフル
限リト云フコトニ大體ナツテ居リマ
ス、隨ヒマシテ其ノ資料ハサウ古クハ
適得ナイ、多クノ會社ガ戰災ニ依ツテ
燒ケタ爲モゴザイマセウガ、必ズシモ
サウ古クハ適得ナイト考ヘテ居ル次
第デゴザイマス、個人ナドモ大體ノ場
合ニ於キマシテハ、恐ラク昭和十五年
ヲ基準ト致スコトニナラウト存ジテ居
リマス、ソレマデノ政府ノ政策ト致シ
マシテハ、出來ルダケ私益追求ヲ避ケ
シムル爲ニ凡ユル稅ヲ取リマシテ、出
來ルダケノ意味ニ於キマシテ、會社其
ノ他ニ於テ戰爭ニ於ケル利益ヲ得セシ
メナイヤウニ、非常ナ峻嚴ナ方策ヲ執
ツテ居ツタノデアリマス、隨ヒマシテ
非常ニ儲ケヲ出シマシタノハ寧ろ其ノ
後ニ屬スルモノダト思ヒマス、ソレニ
付キマシテモ若シ資料ガ完全デアレ
バ、相當程度過去マデ適リ得ル譯デア

リマセウガ、現實ノ問題ト致シマシテハ、サウ遠キ過去マデハ廻リ得ナイ、是ハ資料ニ制約サレコトダラウト思ヒマスガ、唯單ニ大東亞戰爭ダケノ利益ト云フコトヲ考ヘズニ、或ル意味ニ於テ戰爭全體ヲ通ジテノ戰爭ノ利得ニ付テ徹底ノ二稅ヲ課セルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、其ノ開始ノ時期ニ付キマシテハ目下研究中デゴザイマシテ、何時ト云フコトヲハツキリ日ヲ決メテ、今申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、其ノ點ハ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川崎(克)委員 脱稅ノ防止ト、ソレカラ購買力ノ抑制ノ意味カラ考ヘマシテ、新券ノ發行ト云フコトハ重大ナ意味ヲ持ツテ發ル譯デアリマスガ、昨日ノ御説明ノ中ニモ、新券ノ發行ニ付テ述ベラレテ居リマスガ、是ハ新券ノ發行ニ依ツテ戰爭中利益ヲ得タ者ノ現金全部ヲ捕捉スルコトガ出來ルト云フ見地カラ、ドウシテモ其ノ新券ノ發行ガ必要デアルト思フノデアリマスガ、其ノ新券ノ發行ト同時ニ併用シテ、其ノ資金ノ大部分ヲ封鎖シテ置カナレバ購買力ノ抑制ハ出來ナイノデアリマスカ、ソレニ付テドウ云フ風ナ御考ヘヲ御持チニナツテ居ラレカ、例ヘバ現金所有スル者ハ千圓以內ニ限ルトカ、ソレ以上ノモノハ封鎖シテ、商業取引等ニ付テハ傳票行フトカ、色々ノコトヲヤツテ居ル例モアルヤウデアリマスガ、政府ノ之ニ對スル御考ヘハドウ云フ方針デオヤリニナル御積リデアラカ、ソレカラ新券ノ發行ハ少クトモ戰爭利得稅及ビ財產稅ヲ實施スル前位デナレバナラヌト思フノデアリマスカ、其ノ準備ハドウデアラカ、果シテ

左様ナ準備ガ出來テ居リマスカ、又其ノ時期ハ何時デアラカト云フコトモ承ツテ見タイ、ソレカラ新券發行ト同時ニ平價ノ切下ヲ行ハレル御考ヘガアルカドウカ、サウ云ツタヤウナコトモ併セテ伺ヒタイノデアリマス

○澤澤國務大臣 只今財產稅課徴致シマスル一ツノ手段ト致シマシテ、財產稅ノ目ノ方現金ニモ及ブノデアリマスカ、ソレヲ捕捉スル一ツノ手段ト致シマシテ、政府ハ新樣式ノ日本銀行券ヲ發行スル計畫ヲ持ツテ居ルコトハ昨日申上ゲタ通りデゴザイマス、之ニ對シマスル準備、是ハ目下計畫中デアリマシテ、其ノ印刷能力其ノ他ノ點ニリキマシテハ實行シ得ルコトヲ信ジテ居リマス

ソレカラ何時サウ云フ新券ヲ發行シ、或ハ財產稅課徴スルカト云フ問題デゴザイマスガ、其ノ問題ニ付キマシテハ、何分モ財產稅又ハ戰爭利得稅ト云フモノハ重大ナル調劑ノナ稅デゴザイマシテ、苟クモ此ノ方法ノ宜シキヲ得マセヌ時ニハ、却ツテ混亂ヲ來スコトヲ覺悟シナレバナリマセヌ、隨ヒマシテ之ニ稅務署ノ準備モ必要デゴザイマセウ、又各種金融機關等ノ準備モ必要デゴザイマセウ、又如何ニシテ之ヲ課徴スルカト云フ方法論其ノ他ニ付キマシテ、餘程萬全ノ準備ヲシテ掛リマセヌト、是ハ徹底シナイコトニナリマセウ、隨テ今早急ニスル譯ニモ參リマセシ、又ソレニ對シマシテ凡ユル準備、構想ヲ練リマシタ上ニ、是ハ來ルべき議會ニ協賛ヲ經ナレバナラヌ問題デゴザイマス、方法論ト致シマシテハ、出來ルダケ早イ時期ニ之ヲ實施スルノガ本當ダト存ジテ居リマスガ、サ

ウ云フ準備其ノ他ノ點ニ於キマシテ、今何時ト云フコトヲ申上ゲルコトガ出來マセヌ、唯來年度中ニヤルコトダケハハツキリシテ居リマス、何月ノ何日ト云フヤウナコトヲハツキリ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス

ソレカラ新樣式ノ——最近新聞デハ新聞々々ト云フ言葉ヲ用ヒラレテ居リマスガ、是ハ非常ニ紛ラハシイ言葉デアルト思ツテ居リマス、新聞ト云フ意味ハ新樣式ノ日本銀行券ト云フコトニ努メテ改メタイト考ヘテ居リマス、如何ニモ新聞ト云フコトガ、平價切下ノ如キ感ヲ與ヘルコトハ非常ニ慎シムベキコトト思ヒマス、又平價切下ヲスルカト云フコトデアリマスガ、是ハ致シマセヌ考ヘデ居リマス、又事實其ノ意味ニ於キマシテ平價切下ハ無意味ト存ジマス、尙ホ新樣式ノ銀行券ト交換ヲ致シマシタ時、其ノ後ニ於キマシテ之ヲ封鎖スルカドウカト云フ御質問ガゴザイマシタ、此ノ點ニ付キマシテハ、目下色々考ヘテ居リマスガ、今ノ所ソレニ對シテ何トモ御答ヘヲ申上ゲル所ニ立到ツテ居ナイコトヲ御諒願ヒマス

○川崎(克)委員 新券ノ發行ト同時ニ、之ヲ増稅ノ脱稅防止ニ用ヒルト云フコトノ必要ハ固ヨリ論ヲ俟タヌノデアリマスガ、此ノ新券發行ハ少クトモ一部——大部分ト云ツテ宜シイガ、資本ノ封鎖ヲ行ハナレバドウシテモ購買力ノ抑制ハナラヌノデアリマシテ、何デモ「フランス」デハ左様ナコトヲ行ハナカツタ爲ニ惡カツタヤウニ承ツテ居リマス、是ハ併用シナレバナラヌモノト思ツテ居ルノデアリマス、所ガ今御考ヘノ中ニハ、マダハツキリ

シテ居ナイカノヤウニ承ルノデアラカ、是ハ是非トモ「インフレーション」ノ防止、購買力抑制ト云フ建前カラ行ハナレバナラヌモノト信ジテ居リマスノデ、政府ハ左様ナ意味ニ於テ之ヲ行フコトニ御進メヲ願ヒタイト云フコトヲ希望致シマス

ソレト同時ニ承リタイコトハ、先程カラ御説明ヲ承リマシテ大體ノ要點ハ分ツタノデアリマスガ、公債半減ヲ大目的トスル所ノ大増稅計畫、是モ一回限りノモノデアリマスガ、餘程思ヒ切ツタ増稅計畫デアラカ、此ノ思ヒ切ツタ増稅計畫ヲ實施スルト云フコトハ、是非非常ナコトデアリマス、其ノコトヲ御決心ニナツテオヤリニナルノデアリマスガ、所デ此ノ一千億ノ財源ヲ得ル本ハドウカト云ヘバ、戰爭利得稅ト財產稅カラ得ルノデアラカ、所デ其ノ日本ノ總財產ハ幾ラナルカト云ヘバ、昨日御示シニナリマシタ大藏省ノ御考ヘデハ、四、五千億ト云フコトニ計上セラレテ居ルノデアリマス、ソレモ累積シタ所ノ國債ノ結果デアリマシテ、物資ト見合ヲ持タナイ所ノ財產ト云フコトニ說明ヲサレテ居リマスガ、全ク其ノ通りデアリマス、物資ト見合ヲ持タナイ所ノ財產ヲ基礎ニシテ、サウシテ一千億ノ増稅ヲスル、其ノ御考ヘハソコニアリマシテモ、恐ラク私共ノ見當デハ一千億ハ得ラレナイノデハナイカ、或ハ七、八百億圓位シカ得ラレナイノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマスガ、其ノ計畫ガ假ニ一千億ヲ得タト致シマシテモ、先程カラ御説明ヲ承ツテ居リマス、二千億ノ公債ト云フモノヲ計上シテ居ラレマスル基本ノ考ヘカラ見マスト、二千億以上ノモノニナ

ルノデアリマシテ、其ノ外ニマダ大事ナモノガ取除ケニナツテ居ルヤウニ思ハレル、先ヅ外地、臺灣、朝鮮、滿洲、中支等ニ於キマシテノ政府關係ノ會社デアラカ、或ハ個人及ビ會社デアラカ云フヤウナモノニ付テ、是ハ聯合軍ニ接收セラレルモノガ多分ニアル、其ノ接收セラレルモノニ對スル日本ノ賠償額ト云フモノハ、是ハ相當ノ額ニ上ルノデハナイカ、是ハ大體ノ計算ニ於テモ或ハ一千億ヲ超エルノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、其ノ問題ヲ除外サレテ居ル、ソレカラ更ニ賠償金ノコトニ付キマシテハ、マダハツキリモ致サナイヤウデアリマスカ、レドモ、承ル所ニ依ル、現物賠償ヲ要求サレテ居ルカノヤウデアラカ、此ノ現物賠償ノ價格ト云フモノガ何處マデニ上ルカト云フコトハ豫想ガ付キマセヌガ、假ニ政府ニ於テ是ガ付イテ居レバ御示シノ願ヒタイ、此ノ現物賠償デヤツタ場合、是モ亦政府ハ補償シテヤラナクチャナラヌ部分ガアルト思フ、是ハ大體ノ見當デアリマスガ、幾ラ位ノ見當補償ヲセラレル御考ヘデアリマスガ、ソレヲ承リタイ、左様ナコトニ計算ヲ致シマスルト、是ハ二千億ノ公債ヲ一千億大増稅ニ依ツテ減ラスノダト云フ御計畫ニナツテモ、後デ又公債増發ニ依ラナレバナラヌヤウナコトニナツテ、サウシテ其ノ公債増發ノ基礎ナ増稅ノ財源ト云ヘバ、先程申上ゲタヤウナコトデアラト云フナラ、洵ニ寒心ニ堪ヘヌ、モウ少シ見透シノ付ク計畫ノ下ニ増稅ヲ行ハレナイモノデアラウカ、此ノ點ニ付テ甚ダ憂慮ニ堪ヘヌモノガアルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ率直ニ伺ヒタイノデアリマス

○滋澤國務大臣 只今御尋ネゴザイマシタ財産稅其ノ他ニ依リマシテ約一千億圓見當ノ稅課稅スル、併シ國富ノ大部分ハ物ト見合ハザルモノノ基礎ニ立ツテ居ルデアルカラ、果シテ千億圓取レルカドウカト云フ第一ノ御質問デゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ目下研究中ナノデゴザイマス、其ノ課稅ノ方法及び稅率、價格ノ算定及ビ物價ノ工合ナドヲ見マシテ、是ノ課稅ノ方法ガ一ツ、ソレカラ餘リニ強ク課ケマス、將來ノ日本ノ經濟的基礎ガ壞サレテシマフ、是ハ避ケナケレバナラス、此ノ二ツノコトヲ十分ニ考ヘ合セマシテ、目下研究中ナノデゴザイマス、其ノ方法及び稅率、或ハ他ノ條件ヲソコヘ加味スル、物價トノ關係ヲ加味スルノ點ニ付キマシテ、銳意研究中ナノデゴザイマシテ、之ニ對シテ今明確ナコトヲ申スコトハ出來ナイノガ遺憾デアリマスガ、サウ云フ點ト、將來ノ國民ノ基礎ガ壞レナイト云フコトヲ十分ニ考ヘナケレバナラス、ソコデ大體ノ目安トシテ今ノ千億ト云フコトヲ申上ゲテ居ル次第デゴザイマス、唯仰セノ通りニ多少物價ノ考慮ヲ強ク致シマスレバ、ソレダケデハ千億ハ取レナイコトニナリマス、又課稅ノ率及ビ賠償、取り方ニ依リマシテ、直グ變ツテ來ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテ、目下銳意研究中デアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、我々ノ決心ト致シマシテハ、出來ルダケ其ノ點ヲ考ヘ合セマシテ、大體ノ所千億圓程度ノモノヲ回收シタイト云フ心掛ケテ居ル次第デゴザイマス

尙ホ次ノ問題デゴザイマスガ、臺灣、其ノ他朝鮮等、及ビ外地關係ノモノガ

接收サレタ場合ニドウナルカ、之ニ對シテノ賠償額、或ハ補償額、或ハ其ノ他ノ關係、又内地ニ於キマシテモ、賠償ト云フモノガ實體現物賠償ニナルノデアルガ、其ノ價格ヲドウ見ルカ、竝ビ之ニ對シテ政府ハドウスルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、尙ホ大體之ヲ見テモ、千億圓以上ニナルノデハナイカト思フト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ目下非常ナ勞力ヲ掛ケマシテ外地ニ於キマス企業、竝ビ其ノ他一般ノモノニ對シマシテモ研究中デゴザイマス、マダ不幸ニシテ其ノ集計ガハツキリシナイノデアリマスガ、是ハ恐ラク本年中ニハハツキリスルダラウト存ジテ居リマス、ソレガマダ全然分ラナイ、而モ尙且ツドレガ賠償ニ當ルカ、或ハドレガ賠償トシテ取ラレテ行クカト云フ點ガアルト思フノデアリマス、又賠償以外ニ、例ヘバ滿洲ニ於キマシテモ、戰災或ハ匪賊ノ爲ニ奪ヒ去ラレルモノモアルカモ知レナイ、サウ云フヤウナ問題ガ全ク不確定事實ナノデアリマシテ、今ノ所之ニ對スル金額ガ全然「アッソーン」ナノデゴザイマス、其ノ爲ニ相當ノ金額ニ上ルモノガ我が國家ガ持ツテ居ツタモノカラ取り去ラレルト云フコトダケハ確カデアリマス、ソレニ對スル政府ノ處置ト云フ問題ニ付テ御尋ネト、ソレカラモウ少シソレヲ入レテ、見透シヲ付ケテノ増稅ト云フコトガ考ヘラレスカト云フ御尋ネニ伺ヒマシタ、無論私共ト致シマシテハ之ヲ十分考慮ニ入レタカツタ、又入レテ居ルノデアリマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ外地關係ニ對スル見透シガ、全ク今ノ所「アッソーン」デアルノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル措

置ニ出ルカ、完全ニ賠償スルカ、或ハ一面ハ救済ト云フ恰好ニナルカドウカト云フ問題、又或ル企業ニ賠償スルカ、企業ヲ形成シテ居ル株券ヲ持つテ居ル人ナラニ救済のニ考ヘルカト云フ點ニ付キマシテハ、今後研究致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、例ヘバアチラデーツノ企業ヲシテ居ル、是ハ向フデ企業ノ出來ナイモノデア、之ヲ形成シテ居ル基礎ニ對シテ政府ガドウ考ヘルカト云フ問題ニナツテ行クト思フノデゴザイマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ目下研究中デゴザイマス、唯或ル程度ノ額ハドウシテモ見込マナケレバナラスト云フヤウナ決心ヲシテ居ル次第デゴザイマス、之ニ對シテモ餘リニモ其ノ額ニ對シテノ全額ガ分リマセヌ爲ニ、今直グ此ノ位ノ額ヲ斯ウスルト云フコトヲ御答ヘスルコトハ、只今出來マセスコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○川崎(克)委員 只今懇切ナ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、遺憾ナガラドウモ今度ノ御示シニナリマシタ財政計畫全體ニ付テハ、見透シノ付カナイ結論ニナツテ居ルと思ハレルノデス、是ハ甚ダ遺憾デアリマス、此ノ期間的ナ増稅計畫ヲ立テタ以上ハ、モウ一遍増稅ガ出來ナイノデアリマスカラ、モウ一度限りノ増稅デアルト云フコトノ御考ヘノ下ニ立テラレタ以上ハ、先ノ見透シガ付カナイ増稅ヲオヤリナラヌト、是ハドウモ中途半端ナモノデアツテ、先ノ見透シハ殆ド付カナイ、ユトリヲ餘程取ツテ置イテ財政計畫ヲ立テテ行ク、計算ガ出來ヌナラバ他日ノ計算ニ俟ツトシテモ、ユトリヲ付ケテ見透シヲ付ケテ計畫ヲ御立テニナツテ居ラナ

ケレバナラスガ、ギリ／＼一パイノ計畫デ、現在二千億圓ノ公債ガアル、其ノ中半額ダケハ今ノ御話ニ依ツテ、増稅ニ依ツテ充スノダト云フコトニナルトシテモ、後カラ出テ來ルモノハ又千億ヲ超シタ以上ノモノガ殘ツテ居ルト云フコトガアルノデアリマスカラ、之ヲドウスルカ、ソレガ一番大事ナコトデス、是ハ按本來源ノ方法ニ依ツテ増稅計畫ヲオヤリニナルト云フ以上ハ、先ノ見透シノ付カナイモノニテオヤリナラナケレバ國民ハ安心シナイ、此ノ點ニ付テハ洵ニ遺憾デス、今御說明ヲ承ツタ所ニ於テハ、洵ニ遺憾ナコトデア、此ノ大キナ増稅——マア其ノ中ニ於テモ戰爭利得稅ノ如キハ、是ハモウ絕對的ニ行ハレナケレバナラスモノデアリ、又思ヒ切ツテオヤリニナルコトハ當然デスガ、財産稅ノ如キニ於テハ、是ハ一回限リト云ツテモ非常ナ惡稅デス、之ヲモウ一度又ヤルト云フコトハ出來ナイト思フ、ソレデハ財政ノ見透シガ付カヌト云フコトニナツテシマフノデア、財政ノ見透シノ付カナイ計畫ヲ御立テニナツタ、斯ウ云フコトニナル、是ハ洵ニ遺憾デス、ソレダカラモウ少シ財政ノ見透シガ是ナラ付カト云フ感ジヨ國民ニ與ヘルヤウナ方法ヲ御執リニナラヌモノカドウカ、只今御說明ヲ承ツタダケハ、遺憾ナガラハ是ハドウモ安心ノ出來ナイ、見透シノ付カナイ増稅ヲオヤリニナツタト云フコトニ結論ハナルト思フノデアリマスガ、何カソレニ對スル御考ヘガアリマシタナラバ御聽カセテ願ヒタイ

○滋澤國務大臣 御答ヘ致シマス、全體ト致シマシテ、千億圓ノ財産稅ヲ取ルト云フコトハ仰セノ通り一回限リデ

アリ、惡稅デアルトモ承知シテ居リマス、今ノ財政ヲ建直ス爲ニ計畫ヲシタモノデゴザイマス、ソレニ對シテ、後ノ問題ニ對シマシテ——外地關係其ノ他ノ問題ニ對シマシテノ金額ガ、見透シガナイデハナイカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、我々ト致シマシテハ、是ガ結局日本ハ單ナル此ノ儘小サクナルダケデハナイノデアリマス、其ノ爲ニ今後凡ユル產業ヲ興シテ、五箇年計畫ニ於テ大體建直合ハスト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○川崎(克)委員 五箇年計畫ニ依ツテ行フ積リデアルト云フコトデアリマスガ、ソレナラバ五箇年計畫ニナルベキ基礎的ナ數字ヲ御示シナツテ、私ノ數字ニ對スル御答ヘヲ得タイノデアリマス

○滋澤國務大臣 其ノ點ニ付キマシテ、今ノ所的確ニハ分リ兼ねマスガ、後年度ニ於キマシテハ、相當財源ノ餘裕モ生ズルモノト見込マレテ居リマス、大體處理出來ルコトト感ジテ居ル次第デゴザイマス

○川崎(克)委員 私ノ御尋ネ致シテ居リマスノハ、結局大マカナ點デ、其ノ數字ノ如キモ大マカナ數字デ、或ハ千億ト云ヒ、千億以上ト云フヤウナ見易イ數字デ、當然起ルベキコトト豫想セナケレバナラヌ事柄ヲ述ベタノデアリマシテ、此ノ豫想セナケレバナラヌ事柄ニ付テハ、具體的ニドウ云フ計畫ヲ立テテソレヲ果スノデアルカト云フコト位ナ御見込ガナケレバナラス、五箇年計畫ニ依ツテ果スト云フナラバ、五箇年計畫ノ内容ヲ議會ヲ通ジテ御示シナルコトガ一番大事ダト思フ、ドウカ五箇

年計畫ノ内容ヲ御示シ願ヘマセヌカ

○中島委員長 田中貢君
○田中(貢)委員 總理大臣ニ「ボツダム」宣言ト議會トノ關係ニ付テ質疑シタイ、日本國民ハ平和と愛好ノ國民デアリマシテ、又正直ナ國民デアリマス、降伏條件トシテ示サレタモノハ何處マデモ忠實ニ守ルコト思ヒマス、又「アメリカ」人モ非常ニ「フェア」ナ國民デ「オプンリ」デ「フランク」ナ國民デアリマスカラ、降伏條件ニ示シテ條件ヲ守レバ、ソレ以上ノ要求ハハシナクドウと思ヒマス、ソコデ國民ハ「ボツダム」宣言ニ示サレタル條項ヲ守レバ宜イと思ツテ居リマス、ソレ以上ニマダ守ラナハナラス條項ガアルカヲ御示シ願ヒタイノデアリマス

○中島委員長 政府ニ申シマス、中村君カラ財政計畫五箇年表ノ提出ヲ求メラレマシタ、政府ノ御意向ハ如何デスカ

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ骨格豫算ノ用意ニ付キマシテ、今明日中ニ御示シタルコトニ致シタイと思ヒマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ノ日本ガ調印致シマシタ其ノ條項ハ、明カニ國民ニ示シテ、是レヲ守レバ宜イノダト云フコトハ、國民ハ悉ク諒解シテ居ルト御考ヘデゴザイマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

○中島委員長 其ノ降伏文書ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマシテ、御承知ノコトト存ジテ居タルノデアリマス、併シドウ云フ點ト云フ御質問ガアリマスレバ、更ニ御答ヘテ致シタイと思ヒマス、其ノ文書ノ全部ハ既ニ其ノ當時發表サレタノデアリマス

知致シマセヌカ、國民ノ大多數モ明瞭ニ之ヲ承知シテ居ルトハ思ヒマセヌカ、國民ニ之ヲ十分ニ知ラシメラレルコトガ必要デアリマセヌカ、其ノ間題ヲ例ニ採ツテ聽キマスナラバ、此ノ頃聯合軍最高司令部カラ色々ナ指示ヲ受ケマス、財政ニ關シマシテモ、財產稅、戰爭利得稅、其ノ他各種類ノ指示ヲ受ケテ居リマス、勞働組合法ニ付キマシテモ各種ノ指示ヲ受ケテ居リマス、其ノ指示ハ何ニ基ク指示カ、私共ハ「ボツダム」宣言ノ條項ニ基ク指示カト思ヒマシタガ、降伏文書ニ基ク指示ナラバ財政ニ關スル指示ハ其ノ降伏文書ノ第何條ニ基ク指示カ、具體的ニ御示シ願ヒタイ

○中島委員長 御答ヘテ致シマス、聯合軍最高司令部ノ發シマスル指令ハ、降伏文書ニ於キマシテ降伏條項ヲ實施スル爲メ適當ニ認メラル、範圍内ニ於テ天皇及日本國政府ノ統治ノ權限ハ聯合軍最高司令部ニ從屬スルモノトセラレテアリマス、竝ニ日本政府ハ聯合軍最高司令部ガ降伏實施ノ爲メ適當ナリト認メテ自ラ發シ、又ハ其ノ委任ニ基イテ發セシムル一切ノ布告、命令及ビ指示ヲ遵守シ、且ツ之ヲ施行スルコトトセラレテアル、此ノコトニ基イテ發セラレテ居ル指示居ルノデアリマシテ、財政ニ關スル指令モ亦之ニ屬スルモノデアリマス

○中島委員長 然ラバ聯合軍最高司令部カラ指示アリマシタ際ニハ、議會ガ、國民經濟ヲ支持シ、實物賠償ヲナスニ必要ナ産業ハ許容サレテ居ルカラシテ、日本ノ經濟ヲ支持スルコト云フ見地カラ見マシテ、指示條項ニ修正ヲ加ヘントシテモ、ソレハ無駄デアツ

テ、聯合軍最高司令部ノ指示ハ其ノ儘守ラナケレバナラス、ソレニ反對スルモノハ悉ク無効デアル、斯ウ云フコトニナリマス

○中島委員長 降伏條項實施ノ爲ニ聯合軍最高司令部ガ適當ナリト認ムルモノナル限り、我が國ハ之ヲ遵守スル義務ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ指令ハ直接議會ノ審議權ヲ全面的ニ拘束スルモノデアルト思ヒマセヌカ、其ノ内容ヲ修正スルコトハ困難デアルト思ヒマス、但シ其ノ指令中ニ基礎トナルベキ事實ガ、何カ間違ヒニ基クツタヤウナ場合ニハ、諒解ヲ得ル餘地ハアルモノト考ヘテ居リマス、唯日本側ガ進シテ先方ニ協力シテ、其ノ目的ノ達成ノ爲ニ積極的ノ態度ヲ明カニスレバスル程、斯カル場合ノ連絡ノ途ハ圓滑ニ行クモノト考ヘテ居リマス、何レニ致シマシテモ、先方ノ意圖ハ日本側ノ責任デアリ、義務デアリマシテ、議會ガ不要ニナルトカ、政府ガ不要デアルトカ云フヤウナコトハ絕對ニナイト信ジテ居リマス

○中島委員長 然ラバ財產稅、戰爭利得稅等ニ關スル財政ノ指示ハ、直接聯合軍最高司令部カラ來タモノカ、或ハ大藏省ガ伺ヒテ立テテ相談ニ行ツタカラサウ云フ指示ヲ受ケタモノカ、其ノ點ニ付テ大藏大臣カラ御答辭ヲ願ヒタイ

○中島委員長 只今ノ御質問ノ財產稅等ニ付キマシテ、斯ウ云フ經過ヲ追ツテ居リマス、不肖就任以來此ノ點ニ付キマシテハ、非常ニ苦慮ヲ重ネテ研究ヲシテ居ツタ次第デゴザイマス、其

ノ資料ヲ得、且ツ研究ガ出來マシタ時ニ、コチカラ司令部ノ方ニ對シマシテ、各種ノ問題ト共ニ、此ノ問題ヲ持ツテ行ツタ次第デゴザイマス、向フデモ色々ノ議論ガ ツタヤウデゴザイマス、併シコチカラノ案ヲ色々檢シテ見マシテハ、コチカラノ自信ヲ持ツタ案ヲ持ツテ參リマシタ、ソレデ之ヲ持ツテ參リマシタノガ十一月十六日デアリマス、但シソレニ對シテ向フカラ回答ガ參リマシタノガ、十一月二十五日デゴザイマス、向フカラ財產稅ヲ起セト云フコトハゴザイマス、コチカラガ起スト申シタ次第デゴザイマス

○中島委員長 其ノ點ハ初メ明瞭ニナツタノデゴザイマスガ、ドウモ何モ彼モ聯合軍最高司令部ノ指示デアルト云ツテ、難キヲ國民ニ押付ケントスル癖ガアル、戰時中ニ之類似シタモノガ澤山アツテ、國民ハ迷惑至極デアツタガ、最近モサウ云フ弊風ガアルヤウダカラ其ノ點ヲハツキリサシタノデアリマスガ、守ルベキコトハ何處マデモ守ラナケレバナラス、日本國民ハサウ云フ國民デアルト云フコトハ「アメリカ」ノ新聞雜誌ニモ戰争中デサハ出テ居リマシタ、デスカ「アメリカ」人ハ日本國民ヲ信用シテ居リマスガ、要ラスコトヲ相談ニ行ツテ、重キヲ國民ニ押付ケルト云フコトハ斷ジテ憤マナケレバナラスコトダト思ヒマス、守ルベキコトハ守ル、サウシテコチカラノ守ラナケレバナラス條件ハ成ベク立派ニ果スト云フコト以上ニ進ンダ出過ぎタコトハ、政府トシテハ今後憤マナケレバナラスコトト思ヒマスカラ、此ノ

點御注意申上ゲテ置キタイと思ヒマ

第二「インフレーション」ノ對策
ニ付テ承リタイ、戰後ノ日本ノ通貨事
情、物資ノ供給事情ガ「ドイツ」ノ「イ
ンフレーション」直前ノ實情ニ似テ居
ルト云フノデ、「インフレーション」必
至論ガ無遠慮ニ述ベラレテ居ル、之ニ
對シマシテ何トカ之ヲ回避シ得ルコト云
フ意見モアル、大藏大臣ハ何トカシテ
回避シタイト云フ希望ノ下ニ御努力ニ
ナツテ居ルト思フガ、御就任以來今日
マデ、其ノ爲ニ如何ナル方策ヲ盡サレ
タカ、將來ノコトヲ聽イテ居ルノデハ
ナクテ、御就任以來今日マデ「インフ
レ」回避ノ爲ニドンナ方法ヲ執ラレタ
カ、ソレヲ擧ゲテ御説明願ヒタイノデ
アリマス

○澤澤國務大臣 終戦後「インフレ」
對策ニ付キマシテハ、政府ト致シマシ
テ之ニ對シテ非常ナ努力ヲ致シタ次第
デゴザイマスガ、財政のニハ現事態ニ
即シマシテ、能ク限リノ努力ヲ以テ實
行豫算ヲ編成致シマシタ、臨軍費ニ付
キマシテモ其ノ經過ト致シマシテ遺憾
ナガラ運クハアツタノデアリマスガ、
大藏省ハ移管ヲ行ヒマシタ、其ノ間ニ
至ルマデノ實施ニ付キマシテモ、出來
ル限リ適正ナラシムルヤウニ、陸海軍
當局ニ指令ヲ發シテ居ッタ次第デアリ
マス、又ソレニ付キマシテハ末端ニ於
キマシテ、色々言ハレマスヤウニ多少
ノコトガアリマシタケレドモ、大マカ
ナ點ニ於キマシテハ、非常ナ熱意ヲ以
テ之ニ當ツテ下サツテ居ル次第デアリ
マス、又金融の方面ニ於キマシテハ、
終戦直後ニ於キマシテ不測ノ混亂ヲ生
ズルコトガアルドラウト云フコトヲ心

配致シマシテ、ソレニ備ヘテ「モラト
リアム」ノ如キハ絕對ニ之ヲ行ハナイ
ト云フ旨ヲ明示致シマシテ、先ツ落付
キヲ與ヘタノデアリマス、一方金融機
關ニ對シマシテハ、八月十七日事實
的ニ一切ノ軍需融資ノ停止ヲ行ツタノ
デアリマス、ソレカラ尙ホ終戦ニ因リ
マス諸事業ノ打切ニ伴ヒマシテ、事業
會社ノ擁シマシタ錯雜シタ債權債務ノ
處理ニ付キマシテモ、之ニ對シマシテ
必要ナ決濟資金ヲ供給シマス等、徒ラ
ニ「インフレーション」ノ促進トナルト
云フコトノ觀點カラ、集中決濟制度ヲ
執リマシテ之ヲ抑止シタノデアリマ
ス、又政府ノ各種ノ支拂ニ付キマシテ
ハ、概ネ特殊決濟制度ヲ利用致シマシ
テ、是ガ直チニ通貨化スト云フコトヲ
止メテ居リマス、ソレカラ退職金ノ支
拂等ノ多額ノモノニ付キマシテハ、大
部分ガ定期預金又ハ公債ニ依ツテ支給
シマシテ、ソレノ現金化ヲ極力抑ヘテ
居ル次第デアリマシテ、各般ノ措置ヲ
講ジタ積リデアリマス

○田中(實)委員 大藏大臣ハ其ノ程度
ノコトデ今マデオヤリニナツタ處置
デ——尤モ抽象的ナ御話デアリマスガ、
來ル議會ニ諸般ノ施設ヲサレバヤウダ
ガ、其ノ點ヲモ併セテ考ヘレバ「イン
フレーション」ヲ免レ得ルトノ御考ヘ
デアルカドウカ、昨日ノ財政演說ヲ承
リマス、口デハ何トカナルヤウニ言
ツテ居ラレケレドモ、餘程御心配ノ
ヤウナ口振リデレバ、必至論ト回避
說トノ二ツノ間ニ立ツテ大藏大臣ノ所
信ヲ承リタイ、唯抽象的ニ今ノヤウニ
御話ニナツタノデアリケマセヌカラ、
「インフレーション」ヲ助長スル原因、
殊ニ通貨ノ増發ノ原因ノ重要ナルモノ

ニ付テノ見透シ、又逆ニ「インフレ
ション」ヲ阻止スル原因、通貨ヲ縮小
スル方面ノ原因等ニ付キ、大體ノ數字
ガ斯ウ云フ結果ニナルカラ斯ウ云フ結
論ニナルト云フコトヲ明瞭ニ示サレ
テ、迷ツテ居ル國民ニ嚮フ所ヲ知ラシ
テ欲シタイと思ヒマス

○澤澤國務大臣 「インフレーション」
對策ガ目下ノ急務デアルコトハ、眞劍
ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、通貨ヲ
抑制スルト云フ點ニ付キマシテハ、只
今申上ゲマシタヤウニ極力政府支拂其
ノ他ノモノヲ抑ヘルト云フコトニ努力
ヲ致シテ居ル次第デアリマス、同時ニ現
下ノ惡性「インフレーション」ガ、將ニ
危機ヲ呼ビサウナ時期ニ於キマシテ、
最モ大切ナハ結局食糧問題及燃料
其ノ他ノ問題デアリマス、之ニ對シマ
シテハ政府全般ノ致シマシテ、通貨ダ
ケデナシニ、此ノ方ノ供給ニ付テ全力
ヲ擧ゲテ之ヲ緩和スル、更ニ増産ヲス
ル、是ガ目下ノ重大問題デアリマス、
通貨面ノミニ於テ「インフレーション」
ヲ阻止スルト云フコトダケハ出來ナ
イ大キナ問題デアルト云フ風ニ考ヘ
テ、之ニ付キマシテハ政府全體トシテ
眞劍ニ努力ヲシテ居ル所デゴザイマス

○田中(實)委員 只今ノ大藏大臣ノ說
明ハ抽象論デアツテ、通貨ヲ吸收スル
ト云フ方面ニ於テモ、實際ニ今マデヤ
ラレタモノガ效果ヲ奏シテ居ルモノハ
殆ド見受ケラレナイノデアリマス、又
物資ノ供給増加面ニ付テモ、食糧ニシ
テモ、國民ガ知ツテ居ル通り、日常必
需品ニシテモ國民ノ知ツテ居ル通り殆
ドナイノデアリマス、ダカラ大藏大臣
ハ文書ヲ讀ンデ居ラレダケデアツ
テ、「インフレーション」阻止ニ何等ノ

效果ノナカツタト云フコトガ明カデア
リマス、若シ御意見ガアルナラ承リマ
セウ、ソコデ總理大臣ニ承リマスガ、
「インフレーション」ノ回避ハ、只今ノ
御話ノヤウニ通貨吸收面ト、物資増加
面トガ必要デアリマス、ソコデ財政經
濟ノ全部門ニ互ツテ綜合的ナ對策ヲ必
要トシマス、現内閣ニ於キマシテハ、
「インフレーション」回避ノ責任者ハ誰
ガ一體當ツテ居ラレカ、總理大臣ガ
御當リニナツテ居ラレカ、ドナタ
ガ御當リニナツテ居ラレカ、其ノ
責任者ヲ承リタイノデアリマス

○幣原國務大臣 ソレハ極メテ困難ナ
御問ヒデアリマスガ、要スルニ閣僚全
體ガ責任ヲ執ツテヤル、共同ノ責任ヲ
以テ其ノコトニ當ツテ居ルト申上ゲル
ヨリ外仕方ガナイと思ヒマス

○田中(實)委員 ソンナコトデ此ノ
「インフレーション」ヲ免レルト思ツテ
居ラレタラ、一寸見當ガ違ヒハシナイ
カト思ヒマスガ、其ノ點ハ幾ラ追求シ
テモ無駄デスカラ、問題ヲ二ツニ分ケ
テ、先ツ通貨吸收面ニ付テ關係全體
於テ特ニ責任ヲ持ツテ居ラレカ大藏大
臣ニ聽イテ見タイ、大藏大臣ハ物資ノ
見合ヒノナイ金ハ吸收スル、ト云ウ
テ、國民ノ財産ノ四分ノ一ノ一千億圓
ノ新稅ヲ起ス、斯ウ云フ風ニ言ハレテ
居リマスガ、能ク考ヘテ見ルト、一體
コンナコトヲシナクチャナラヌ原因ハ
何處カラ出タカ、戰時中政府ハ放漫ナ
ル財政政策、不合理極マル財政政策ヲ
行ツタ、其ノ結果ノ蓄積ヲ國民ニ押付
ケヨウ、斯ウ云フノデアリマス、何デ
モ彼デモ國民ニ重イ負擔ヲ掛ケヨウ、
斯ウ云フノデアリマスガ、國民ニサウ
云フコトヲ要求スル前ニ、政府自身ト

シテナン得ルコトヲ先ヅナスベキデハ
ナイカ、政府ガ八方手ヲ盡シテ、迪モ
是デハ敵ハスト云フノデアリマス、頼ムベ
キデハナイカ、國民經濟ハ財政ノ母デ
アリマス、財政ト致シマシテハ、財政
デ出來ルダケノコトヲシテ置イテ、金
融方面デ政府ノ出來ルダケノ手ヲ盡シ
テ置イテ、其ノ上デ國民經濟ニ泣ヲ入
レルベキガ當然デアルト思ヒマスガ、
政府ハ其ノ點ニ付テ餘リ實行サレタコ
トガナイ、サツキ御就任以來何ヲナサ
ツタカト言フ間ヒニ對シテ、數々擧ゲ
ラレマシタケレドモ、其ノ擧ゲラレタ
點ニ付キマシテ一ツ御尋ネシテ見タイ

第一ハ——一般行政費ニ付テデアリ
マス、一般行政費ハ、昭和十一年度ニ
ハ三億圓餘デアリマシタガ十九年度ハ更
ニ六億圓餘デアリマス、二十年度ハ更
ニ六億圓餘デアリマス、國民ハ戰爭中戰費
ガ要レバ、家庭ノ費用ヲ節約スル、ノ
ミナラズ政府ハ重イ租稅ヲ課ケテ、其
ノ上ニ更ニ國民貯蓄ヲ強要シタソレニ
モ耐ヘタ、然ルニ其ノ間ニ最モ放漫ニ
金ヲ使ツタモノハ政府ナノデアリマ
ス、而モ一般行政費デアリマス、「メ
メリカ」ノ豫算、「イギリス」ノ豫算、
其ノ他「ドイツ」ノ豫算ヲ御覽ニナツ
テ、大藏大臣御承知ノコトト思ヒマス
ガ、一般行政費ガコンナニ殖エタ國ガ
何處ニアルカ、サウ云フヤリ方ヤツ
テ置イテ、而モ其ノ跡始末ヲ國民ニ頼
マウト云フ、是ガ官僚財政ナノデアリ
マス、大藏大臣ハ其ノ官僚財政ヲ其ノ
儘受繼ガウト言ハレカ、ソコデ聽
キタイノハ昭和二十年度ノ一般行政費
ハ幾ラカ、終戦後之ヲ如何ニ整理シタ
カ、如何ニ之ヲ削減シタカト云フコト
ノ數字ニ付テノ御説明ト、更ニ加ヘテ

各省ノ局、課ヲ如何ニ廢合シタカ、人員ノ整理ヲ既ニ何處マデヤツタカト云フコトヲ事實ニ依ツテ承リタイ

○田中(實)委員 ナゼコンナコトヲ聴クカト云フト、繰返シテ言フガ、政府ハ努力シタカト云フコトヲ聴イテ居ルノデアリマシテ、政府ガ努力シタ上デ國民ニ要求スベキデアツテ、モウ少シシツカリシテ貰ハヌト困ルデスネ

○田中(實)委員 今二十一億ノ豫算ノモノヲ五億六千萬圓減額シタ、斯ウ云フコトデアリ、更ニ續イテ第二ノ行政整理ヲ行フコト云フガ、ソレハハノ程度ヲ豫想シテ居ラレカ、財源稅ニ付テハ四分ノ一、一千億圓ト數字ガ出テ居ルノデアリマシタガ、局課ノ廢合、行政整理ニ付テハ凡ソ何億圓ノ減少ヲ豫想シテ居ラレカ、其ノ點ヲ承リタイ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 此ノ點ハ政府ニ特ニ御注意申上ゲタイノデアリマシタ、先ヅ自分ノ爲スベキコトヲ爲シテ後ニ國民ニ要求スルト云フコトヲ御忘レニナラヌヤウニ御願ヒシタイノデアリマシタ

付テハ現在マデニ如何様ニ整理サレタカ、其ノ點ヲ承リタイノデアリマシタ

○田中(實)委員 御答ヘ致シマス、只今御尋ネノ補助金ノ中、價格差補給金ガ約二億圓、其ノ他八億八千萬圓、合計十億八千七百萬圓ヲ節約シタノデゴザイマス

○田中(實)委員 國民ニ重キヲ要求スルノニ、其ノ程度ノ事デ一應宜イカドウカ、大藏大臣ハ何ト御考ヘニナツテ居ルカ、自分ノ方ノ手ニアルモノハ放漫ノ限リヲ盡シテ置イテ、國民ニダケ要スルト云フヤリ方ガ宜イカ、此ノ點ヲ御改メニナラナケレバ、國民ハ協力シマセヌヨ、ソレカラ價格差補給金ニ付キマシテハ、昨日ノ御演說ニ於テ、徹底的ニ檢討ヲ加ヘルト共ニ、他ノ補助金ニ付テモ廢止又ハ大幅ノ削減ヲスル、斯ウ云フ風ニ言ウテ居ラレカ、今仰シヤツタコトハ五十何億圓ノ中ノ十億圓位ノ整理ニ過ギス、ソレデ一體宜イモノカドウカ、一體價格差補給金ナント云フモノハ「インフレーション」ノ一番大キイ原因ナノデス、米トカ石炭トカ云フモノハ政府ノ買上量ガ極メテ少クテ民間ガ之ヲ食フモノ使フモノデアリマス、隨テ之ニ補助金ヲ出スト云フコトハ、通貨増發ノ最モ甚シイ原因ナラデス、例ヘバ戰時中ノ鐵ノ如ク政府ノ買上量ノ多イ場合ニハ、ドチラガ通貨ノ増發ニナルカノ議論モアリマスガ、米トカ石炭トカ云フ政府ノ買上量ノ少イモノハ、補助金ヲ出スト云フコトガ通貨増發ノ一番大キイ原因デ、「インフレーション」ノ最モ人キイ原因トナツテ居ルノデスカラ、直チニ之ヲ廢メテ然ルベキモノデアアルノデス、鐵モ同様デス、「アルミニウム」モ同様デ

ス、而モソレニ對シテハ何等手ヲ着ケナイ、殊ニ米ニ付テハ本委員會ニ向ホ二億圓ノ追加豫算ヲ出スト云フ御言明デアツタヤウニ承ツタガ、廢メザルミナラズマダ殖ヤス「インフレーション」ノ原因ヲ助長シヨウト云フ大藏大臣ノ肚ハ何處ニアルカ、大藏大臣ハ餘程「インフレーション」ニ付テ樂觀論ヲ持ツテ居ルト見ル外ハナイ、若シ大丈夫ト言フノナラバ樂觀論ノ基礎ヲ示サレタイ、若シサウデナイト言フノナラバ何故廢メヌカ、今マデ何故廢メナカツタカ、廢メナカツタ理由ヲ詳細ニ御説明願ヒタイ

○田中(實)委員 價格差補給金ノ問題デアリマスガ、是ハ石炭、鐵其ノ他銅、「アルミニウム」色々ノ物ガゴザイ、戰時中ニ於キマスル應急採炭、又戰爭災害等ニ因リマス打撃ヲ逐次回復シマシテ生産條件ガ安定サレ、約四千萬「トン」ノ生産、是ハ大體支那事變動發前ノ四箇年間ノ平均ニ相當スルノデアリマスガ、之ヲ期待シ得ベキ時期デアルト看做サレル昭和二十四年度ニ於キマス所ノ推定サレタ生産費ヲ基準ト致シマシテ、昭和二十年度十二月以降現在ノ販賣價格「一トン」當リ二十圓十三錢程度ヲ八十五圓一引上ゲル方針デアザイマス、隨テ價格調整補給金ハ二十四年度以降ニ於テ之ヲ廢止スルコトニ致シマスガ、二十三年度マデハ經過的措置トシテ存置シテ置キタイト云フ考ヘデゴザイマス、其ノ方針ニ伴ヒマシテ段々出炭ヲ殖ヤシテ參ル考ヘデゴザイマス、補助金ト致シマシテハ、國庫ノ負擔ガ二十年度ノ下半期ニ於テハ六億二千萬圓、二十一年度ニ於キマシテハ七億九千六百萬圓、二十二

年度ハ四億八千四百萬圓、二十三年度ガ二億九百萬圓、二十四年度ニ至クナクナルト云フコトニ致シタイ存置テ居リマス、此ノ場合ノ石炭ノ消費者價格ガ如何ナル時期ニドノ位上ルカト申シマス、消費者價格ハ現在平均「一トン」當リ二十圓十三錢程度デアリマスガ、此ノ案ニ依リマス、本年ノ十二月以降八十五圓程度ニ引上ゲラレルノデアリマス、サウシテ其ノ以後特別ノ事情ノナイ限リ据置カレルト云フ恰好ニナルノデアリマス、大體御説ノ通りニ價格差補給金ヲ國庫ガ出シテ居ルト云フコトハ洵ニ宜クナイ制度デアリマシテ、サウ云フモノナシニ全ク普通ノ價格ニ於テ全部ノ經濟ガ、營マレナケレバナラヌト云フコトハ御説ノ通りデゴザイマスガ、今マデノ關係並ニ終戰後ニ於キマス關係カラ、一遍ニ外シマスト、石炭ガイキナリ十倍以上ニモ上ツテシマフト云フコトハ、全體ノ經濟ヲ攪亂スルト云フ觀點カラ致シマシテ、其ノ程度デ影響ヲ多少トモ狹メテ行カウト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デ、リマス、又銅、亜鉛、「アルミニウム」等ニ付キマシテハ、少クトモ二十一年度以降價格差補給金ヲ全廢シヨウトシテ居ルノデアリマス、唯石炭ノ如キ本當ノ基本物資ニ付キマシテ、急ニ之ヲ取外シマス時ニハ、寧ロ物價面ニ於テ非常ニ混亂ヲ來スト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、今直チニ石炭ノ價格差補給金ヲ外シマス、恐ラク現在ノ値段ノ十倍或ハ十倍ニ上ツテシマフト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ今後ノ生産力ノ回復ノ程度ニ應ジマシテ、逐次販賣價格ノ引下ゲヲ期スルヤウニシタイト考ヘテ居ル次

第アリマス、併シ此ノ案ニ依リマシ
テモ、販賣價格ハ現在ニ比シマシテ約
四倍程度ニ引上ゲラレルノデアリマ
ス、各種ノ産業、就中「ガス」トカ運
賃トカト云フモノニ對シテハ相當ノ影
響ガ免レナイコトダト存ジテ居リマ
ス、併シ今後生産費ニ及ボス影響ニ付
キマシテハ鋭意研究中デゴザイマス、
適當ナル時期ニ於キマシテ價格ノ引上
ヲ認メマシテ、價格差補給補助ト云フ
ノハ原則トシテ實施シナイ意向ヲ持ツ
テ居リマス

尙ホ價格差補給金ヲ價格ノ引上ヲ以
テ處理シテシマフト云フ場合ニ於キマ
シテ、將來ノ物價水準ヲ如何ナル點ニ
安定サセルカト云フコトデアリマス
ガ、此ノ點ニ付マシテハ當局トシテ目
下鋭意研究中デゴザイマス、現狀ニ於
キマシテ物價水準ノ安定ハ、結局食糧
ヲ基本トスル生活必需品物資並ニソレノ
價格ノ如何ニ依存スルコトガ最も大キ
イノデアリマス、而モ此ノ點ニ付キマ
シテハ食糧ノ輸入、生産回復、凡ユル
物資ノ生産ノ狀態ノ回復可能ノ程度、
是等總テガ中々見透シガ困難ナル要素
ヲ多分ニ持ツテ居ルノデアリマス、目
下此ノ點ガ物價水準ヲ一應上ゲテ、一
ツノ體系ヲ立テルト云フコトモ極メテ
困難ナ實情ニアルノデアリマス、尙ホ
物價水準ノ問題ニ關シマシテハ、今後
財政計畫並ニ食糧事情總テノモノヲ勘
案致シマシテ、物價水準ヲ如何ナル程
度ニ安定スベキカト云フコトニ付キマ
シテ、今暫ク時期的ニ餘裕ヲ得テ實施
シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次
第デゴザイマス、仰セノ通り「インフ
レーション」ノ原因ニナリマスモノハ、
出來ルダケ除去スルコトヲ苦心シテ居

ル次第デアリマス

○田中(責)委員 只今石炭ノ例ニ御取
リニナリマシタガ、石炭ノ補給金ヲ廢
メレバ十倍ニ價格ガ上ルデラウ、十
倍ニナレバ經濟界ニ恐ロシイ影響ガ來
ルデラウト云ハレタガ、ドウ云フ影
響ガアルカヲ述ベテ貰ヒタイ、今日石
炭ハ八方苦心シテモ到底増産ノ見込ガ
アリマセヌ、斯ウ云フ狀態デアリマシ
テ、石炭ガナインノ其ノ値段ガ上ルノ
ト、ドチラガ影響ガ大キイカ、少クト
モ値段ガ十倍ニ上ルトドウ云フ影響ガ
國民經濟ニ來ルノカ、其ノ點ヲ明瞭ニ
御答辯ヲ願ヒタイ、又「インフレーション」
ノ阻止スル爲ニハ補給金ヲ廢メ
ル、其ノ他補助金ヲ廢メ、凡ユル財政
上手ヲ打タケレバナラヌガ「インフ
レーション」ヲ阻止スル爲ニハ努力シ
テ居ル、斯ウ言ヒナガラ一々政府ノ手
ヲ著ケ得ルモノヲ擧ゲテ見ルト、何モ
ヤツテ居ラナイ、ソレデ一應大藏大臣
ノ重責ヲ盡シテ居ルト思ハレルカドウ
カ、其ノ問題ハ後ニシマシテ、先ヅ第
一二十倍ニナツタラ恐ロシイ影響ヲス
ルト言ハレタガ、ドウ云フ影響ガ來ル
ノデスカ、ソレヲ一ツ明瞭ニ御説明願
ヒタイ

○滿澤國務大臣 只今ノ御質問デアリ
マスガ、一例ヲ取リマスト、例ヘバイ
キナリ補給金ヲ外シマスト、運賃其
ノ他ガ一遍ニ昂騰シナケレバナラヌ、
全部生産ナリ運賃ガ出來ナクナル狀態
ノ所ガ多イノデアリマス、此ノ點ニ付
キマシテ直ニ外サナイ方ガ經濟ノ運
行上適當デアラウト考ヘテ居ル次第デ
アリマス

○田中(責)委員 大藏大臣ノ御答辯デ
ハ満足致シ兼ねマスガ、此ノ補給金ノ

問題ハ是レ以上追究致シテモ、同様ナ
答辯ヲ繰返スノミデアル、唯調査中、
研究中、將來ヤルト云フヤウナ御答辯
シカサラスノデアリマスカラ、追究
シテモ仕様ガナイト思ヒマス、ソレデ
補助金ノ問題ニ付テハ一應此ノ程度ニ
シテ置キタイト思ヒマス

○中島委員長 ソレデハ是ニテ午後一
時マデ休憩致シマス

午後一時十分休憩

午後一時十七分開議

○中島委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ
開キマス、政府ヨリ閣議ノ爲メ各大臣
共午後二時マデ出席致シ兼ねル旨ノ申
出ガアリマス、仍テ午後二時マデ休憩
致シタイト思ヒマス、御異議ハアリマ
セヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○中島委員長 御異議ナケレバ其ノ通
リニ決シマス、午後二時マデ休憩致シ
マス

午後一時十八分休憩

午後二時十一分開議

○中島委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ
開キマス——田中責君

○田中(責)委員 休憩前ニ石炭ノ補給
金ニ付テ大藏大臣ト質疑應答ヲシマシ
タ、其ノ際ニ補給金ナクバ十倍ニ上ル
ト云フ御話デアリマシタカラ、十倍ニ
上ツタラ如何ナル影響ヲ及ボスカト云
フコトヲ問ウタノデアリマスガ、其ノ
御答ヘ洵ニ私ノ満足スル程ニ至リマセ
ヌデシタ、此ノ問題ハ戰爭中豫算委員
會ニ於テ、石炭ノ委員會ニ於テ、詳細
ニ互ツテ質疑應答ガアツタノデアリマ
ス、其ノ際ニ色々突込シテ質問シテ見

マス、補給金ヲ廢メテ値上ヲスルナ
ラバ、其ノ爲ニ凡ユル物價ニ影響ス
ル、政府ハ當時公定價格ヲ執ツテ居
リマシタカラ、其ノ公定價格ノ原價ニ
依ツテ改正セバナラヌ、ソレハ手續
ノ煩ニ堪ヘヌ、斯ウ云フコトガ政府ノ
答辯デアリマシタ、議事録ニ依ツテ御
覽ヲ願ヒタイ、ソコデ政府ハ手續ノ煩
瑣ヲ恐レテ、補給金制度ヲ續ケマシタ、
最初始マツタ時ハ五千萬圓足り足ラズ
ト云フアリマシタガ、今日ハ數十億圓
ト云フ巨額ナモノニナリ、更ニソレガ
「インフレーション」ニ重大ナ影響ヲ及
ボスト云フ狀態ニナツテ居ルノデアリ
マス、ソレニモ拘ラズ政府ハ今尙ホ依
然トシテ色々ナ理由ヲ拵ヘテ——特ニ
拵ヘタモノト云フコトモ宜イ程ノ理由ヲ
以テ之ヲ支持シヨウト云フノデアリマ
スガ、此ノ問題ハ未解決ノ儘ニ殘シテ
置キマシテ、近ク米ニ付テハ補給金ヲ出
サレバ時ニ、米ノ補給金ト並ベテ全穀
ノ補給金ニ付テモ一度論議シタイト
思ヒマス、ノミナラズ此ノ補給金コソ
ハ計算ノ手續ガ極メテ煩瑣デアリマ
ス、補給金ガアル爲ニ原價計算ヲセネ
バナラヌ、其ノ手續ハ煩瑣デアツテ、却
テ石炭ノ増産ヲ妨ゲタコトハ、戰爭中
明カニ現ハレタ事實デアリマス、政府
ハ篤ク此ノ點ヲ研究ニナツテ、石炭ノ
實情ニ付テ——其ノ他ノ補給金ニ付テ
ハソレハ「モノノ實情ニ付テ、御研究
ノ上議場ニ臨マレンコトヲ望ンデ已マ
ナイ次第デアリマス、隨テ補給金ノ問
題ハ此ノ程度ニシテ置キマスガ、兎モ
角モ政府ハ財政演説ニ於テハ之ヲ止メ
ルヤウナ口振リデアルガ、止メル意思
ハナインダ、少クトモ今マデハ止メテ
居ナカツタノダト云フ事實ダケハ明瞭

ニナリマシタ

次ニ、公債ノ日銀引受發行デアリマ
スガ、此ノコトノ起リヲ詳細ニ説明ス
ル必要ハナク、大藏大臣ハ既ニ御承
知ノコトト思ヒマス、民間ニ金ノナカ
ツタ時ニ已ムヲ得ズ高橋大藏大臣ガ實
施サレタ其ノ方法ヲ、其ノ後ニ於テモ
ズツト繼續シテ來タコトガ、今日財政
經濟ニ幾多ノ困難ナ原因ヲ貽シタ、斯
ウ云フコトダケハ大藏大臣自身モ昨日
ノ演説ニ於テ認メラレタ通りデアリマ
ス、然ラバ日銀引受發行方法ハモウ御
止メニナツテ居ルノカドウカ、ドウ云
フ方法デ只今公債ヲ發行シテ居ルノ
カ、其ノ點ヲ承リタイ

○滿澤國務大臣 只今ノ日銀ニ於ケル
公債ノ引受制度ノ問題デアリマス、是
ハ戰後通貨並ニ物價對策委員會ニ於テ
モ屢々論議セラレテ居ル所デアリマ
ス、今後ハ出來ルダケ公債ハ公募主義
ニ依リタイト云フコトガ念願デアリマ
ス、但シ現在直ニサウ致スコトハ、
今ノ所實情ガソコマデ行ツテ居リマセ
ス、併シ何處マデモ其ノ方向ヲ以テ努
力致シタイ

尙ホ此ノ機會ニ先程御答辯申上ゲタ
コトニ付キマシテ、一寸申上ゲテ置キ
タイコトガゴザイマス、ソレハ石炭ノ
價格ニ付テハ十五圓ト云フ數字ヲ申上
ゲマシタガ、是ハマダ商工省ノ方ニ於
キマシテ「マッカーサー」司令部ノ方ト
ノ打合セガ済ンデ居ラヌ數字デゴザイ
マスカラ、此ノコトダケ御合ミ置キヲ
願ヒタイト思ヒマス

○田中(責)委員 次ニ通貨ノ回收ト云
フ點ニ付キマシテ、二承リタイノデ
アリマス、先ヅ租稅ニ付キマシテ、從
來租稅ヲ納入シテ居タモノヲ止メマシ

テ、國策會社トカ、金庫、營團、統制會社ト云フ風ナモノニシテ、法人稅營業稅ヲ免除シマシタ、更ニ補助金ヲ交付スルト云フ方法ヲ執ツテ居ル、戰爭中色色ナ理窟ヲ付ケテ、税金ヲ納メテ居ツタモノヲワザ／＼納メヌデモ宜イヤウニシテ、政府ガ補助金ヲ出スト云フ方法ヲ執ツタ、此ノ方法ガ今尙ホ繼續シテ行ツテ居ルノカドウカ、既ニ止メラレタカドウカ、其ノ點ヲ承リタイ

○田中(實)委員 只今ノ御質問デアリマスガ、統制會社其ノ他ニ於キマシテハ、現在原則トシテ課稅シテ居リマス

○田中(實)委員 大藏省ノ所管デアリ本證券株式會社ト云フノガアリマスガ、アレハ戰前ニ於テ取引所並ニ取引員ガドノ位税金ヲ出シテ居ツタノカ、現在ドレ程補助金ヲ出シテ居ルノカ、數字ニ依ツテ明瞭ニシテ戴キタイ

○田中(實)委員 是ハ全ク特別ノ會社デアリマシテ、政府ガ多ク出資シテ居ル會社デアリマス、隨テ現在ノ所課稅シテ居リマセヌ

○田中(實)委員 補助金ハドノ位出シテ居ルノデスカ、ドノ位税金ガアツタモノカ租稅減ニナツテ居ルカ、日本證券株式會社ヲ作ツタ爲ニドノ位租稅ガ減少シテ、而モドノ位今補助金ヲ出シテ居ルカ

○田中(實)委員 數字ニ付キマシテハ私今能ク存ジマセヌ、何レ申上ゲマス

○田中(實)委員 適當ノ機會ニ御發表願ヒタイと思ヒマス

次ニ租稅體系ニ付テ承リタイノデスカ、日本ノ租稅收入ハ、專賣益金ナドヲ寄セマシテ、國民所得ノ二割三分ダト云ハレテ居ル、英米ノ租稅收入ハ國民所得ノ四割ダト斯ウ言ハレテ居ツ

タ、大體ソノナモノデアルト云フ風ニ了承シテ居リマスガ、日本ニ於テハ租稅負擔ハ非常ニ重イ、而モ三割三分シカ取レナイト云フコトハ、租稅體系ガ良クナイト云フコトニ基クモノデハナカラウカ、此ノ點ハ戰時中ノ議會ニ於テ屢々論議サレタ所デアリマスケレドモ、政府ハ依然トシテ改メラレテ居ラヌ、大藏大臣ハ財界出身ノ方デアリ、實情ヲ御存ジノ方デアルガ、其ノ大藏大臣ノ考ヘラレテ居ル所ノ租稅體系ハ、如何ナルモノカ、租稅ノ理想トシテハ成ベク國民ガ知ラス間ニ一負擔ヲ感ゼズニ出スト云フコトニアル、サウシテ其ノ額ガ多クナルト云フコトデナクテハナリマセヌガ、其ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○田中(實)委員 租稅體系ノ問題ニ付テハ目下研究中デアリマシテ、殊ニ終戰後ノ日本ノ經濟狀態、國民ノ負擔能力、其ノ他ニ付キマシテ十分研究ノ上、租稅體系ニ付テハ御言葉ノヤウナ意味デ研究シテ行キタイト存ジテ居リマス

○田中(實)委員 サツキカラ屢々質問ヲ重ネテ居リマス、研究中、調査中ト云フコトデアツテ具體的ノ案ハナイ、一方國民ヘノ要求ハ大體ノ金額要項モ決マツテ居ツテ、國民ニ重イ要求ヲスルト云フコトハチャント決マツテ居ルガ、政府自身ノナスベキコトハヤラナイ、政府自身ガ戰時中放漫ナ政策ヲヤツタ、ソレヲ自肅自戒スルト云フコトニ付テハ何等御考ヘガナイト云フコトハ遺憾デアリマス、殊ニ今日劃期的ナ財產稅、戰爭利得稅ヲヤラウト云フ際ニ、租稅體系ガ今尙ホ調査中ト云フコトデハ成ツテ居ナイと思ヒマス、

其ノ調査中ニ於テ、間接稅ニ重點ヲ置クコト、間收入ニ課稅スルト云フ風ナコトハ論議サレテ居ルカドウカ、此ノ二點ニ付テ承リタイ、租稅體系ニ付テハ色々議論モアリマセウガ、コ、デ調査中ト云フノヲ押問答シテモ追ツ付キマセヌ、隨テ唯一ツダケ聽キタイコトハ、間接稅ニ付テハドウ云フ方向ニ向ツテ調査ヲ進メテ居ルカ、間收入ヲ如何ニシテ捕捉スルカ、此ノ二點ニ付テ承リタイノデアリマス

○田中(實)委員 間接稅ニ付キマシテハ、今後或ル程度ノ増徴ヲ行フ積リデ居リマス、尙ホ間收入ニ付キマシテ御話ニ付キマシテハ、其ノ捕捉ガ非常ニ困難デアリマス、隨ヒマシテ今ノ所直チニ其ノ都度ノ間收入ヲ捕捉スルコトハ不可能ダト存ジテ居リマス

○田中(實)委員 間接稅ニ付テハ、昨日ノ財政演說ニ於キマシテハ、酒類其ノ他嗜好品ニ課稅スルト云フコトノ御言明ガアリマシタガ、唯ソノナ程度デアルカ、一般ノ取引稅ト云フカ、特別行爲稅ト云フカ、重モ角モ賣買以外ノ貸借、交換、委託、仲介、周旋ト云フ風ナモノモ課稅ノ對象トナルノデハナカラウカ、ソレカラ間收入ノ點ニ付テハ復興事業ノ繼續スル間、少クモ今日ニ於テハ大工ノ賃金ハ一體ドシナモノカ、土建業者ノ收入ハ一體ドシナモノカ、是ハ大藏大臣モ御存ジデセウ、サウ云フモノハ悉ク課稅ヲ免レテ居ル、一體新興所得階級ハミナ逃ガシテ置イテ、サウデナイ階級ニ重ク課スル所ニ、日本ノ租稅ノ拙劣ナ所ガアル、今大藏大臣ハソレハ困難ナコトダト云ハレタ、成程無理ハナイ、從來政府ノヤツテ來タコトハ、成ベク困難ナコトヲ

避ケテ、樂ナ方法ヲヤツテ居ル、補助金然リ、租稅體系然リ、其ノ他經濟政策然リ、ソレガ負ケタ大キナ原因デアリマスガ、今尙ホソレヲ財界出身ノ大藏大臣ガ困難ダカラト云フ、ソノ言葉デ此ノ際逃ゲラレト云フコトハ、ドウ云フモノデアラウカ、困難ナコトヲヤツテ行カクテハナラヌノデアリマス、何モ彼モ困難ナノガ今日ノ實情デアリマスカラ、此ノ點ニ付テハモウ一遍重ネテ御決心ノ程ヲ承リタイ

○田中(實)委員 間收入ノ問題ニ付キマシテハ、技術上困難ダト申上ゲタノデアリマスガ、財產稅及戰爭利得稅其ノ他ノ方法ニ依リマシテハ、之ヲ捕捉スルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○田中(實)委員 只今ノ大藏大臣ノ答辯ハ洵ニ私ハ了承シ兼ネルノデアリマスガ、幾ラ追究シテモ同ジコトヲ御答辯ニナルニ相違アリマセヌカラ、是レ以上追究ハ致シマセヌ、唯ソノナコトデハ政府自身ノ爲スベキコトハ足ラヌモノデアルト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

次ニ通貨ノ吸收策トシテ、又戰後ノ財源探究ノ點カラシテ、更ニ能率ヲ高メルト云フ點カラ致シマシテ、官有財產或ハ官營事業ト云フモノヲ拂下、株式化スルト云フコトガ必要デアツテ、又ソレハ政府ノナシ得ルコトデアアルガ、政府ハ官有財產、官營事業ノ拂下乃至株式化ト云フコトニ付テ、之ヲ直チニ決行スル意思ハナイカドウカ、此ノ點ヲ承リタイノデアリマス

○田中(實)委員 官業ノ拂下問題ハ大イニ考慮スベキ問題ダと思ヒマス、併シ現在ノ狀態ニ於キマシテ、直チニ總

テノ官業ヲ拂下ゲルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯或ル部分ニ付キマシテ、サウ云フコトハ可能ナ範圍ニ於キマシテハ目下研究中デアリマス

○田中(實)委員 大藏大臣ニ質疑致シタイコトハ多クアリマスガ、只今マデノ御答辯ニ依リマシテ、財政ニ關スル限リ政府ハ自ラナシ得ルコト、財政政策上ナサネバナラヌコトヲナサザシテ、徒ラニ重キ負擔ヲ國民ニ課セル嫌ヒガアルト云フコトダケハ明瞭ニナリマシタ、斯ウ云フ方法デ果シテ國民ノ協力ガ得ラレデアリマセウカ、政府ガナスベキコトヲナシテ、本當ニ是ダケノコトヲシタ、コ、マデヤツタ、コンナニヤツタト云フコトデ、初メテ國民ノ協力ヲ得ラレト思フノデス、政府ノ今マデ御說明ニナツタヤウナ方法デ、果シテ國民ノ協力ヲ得ラレルモノカドウカ、大藏大臣ニ唯其ノ一點ダケヲ承リタイと思フノデゴザイマス

○田中(實)委員 十分ニ努力致シマス

○田中(實)委員 是レ以上ハ追究致シマス、日銀ノ貸出ハ昭和十七、八年、殊ニ昭和十八年ノ下期以來頗ル殖エマシテ、數億圓デアツタモノガ、今日ハ何百億ト云フ數ニナツテ居ル、日銀ノ貸出ハ經理統制令其ノ他ノ施策ノ拙劣ニ基イタモノデアリマスガ、今日ハ既ニ事情ガ變ツテ來タニモ拘ラズ、貸出ガ非常ニ多イ、政府ハ日銀ノ貸出ニ付テ何等カノ方法ヲ執ツタカドウカ、是ガ通貨ノ殖エル大キナ原因デアリマスガ、何等カノ對策ヲ執ラレテ居ルナラバ、其ノ概要ヲ御示願ヒタイノデアリマス

○田中(實)委員 日銀ノ貸出ガ殖エマ

シタ大キナ原因ハ、軍需産業ヲ政府トシテ戰時中何處マデモ助成シタ所ニ原因ガアリマス、其ノ方法ガ必ズシモ妥當デアツタカドウカト云フコトハ問題デアリマス、併シ現實ノ問題トシテハ貸出ガ殖エテ居リマス、之ニ對シマシテ政府ト致シマシテハ、事業補償ノ問題其ノ他ガ或ル程度解決スレバ、日銀ノ貸出ハ其ノ儘減ル譯デアリマス

○田中實委員 戰時ニ軍需産業ニ付テノ貸出ノ殖エマシタ原因ハ何處ニアルカト云ヘバ、政府ハ盛ニ増産ヲ命令スル、而モ株式經理統制令ニ依ツテ其ノ配當其ノ他ヲ抑ヘテ居ル、隨テ株式資本ニ依ツテヤツタノデハ會社ハ立ツテ行ケマセズ、隨テ銀行ニ貸出ヲ求メル、銀行ハ日銀ノ援ケヲ受ケルト云フコトガ増加シタ原因デアツタ、隨テ政府ガサウ云フ方針ヲ執ツタガ故ニ、日銀貸出ノ數字ハ殖エテ居ルノデアリマス、屢々是モ議會ニ於テ指摘シタ所デアリマス、是レモ、時ノ大藏大臣ハ之ヲ是正シマセマシタ、ソコデ日銀カラオイデニナツタ大藏大臣ナシカ、ラ何等カノ方法ヲ執ツテ居ラレカ、殊ニ今日「インフレーション」ハ非常ニ氣ニシテ居ラレカ大藏大臣ガ、日銀ノ貸出ニ付テ制限其ノ他ノ方法ヲ執ツテ居ラレスト云フコトハ驚キ入ツタコトデアリマス、此ノ點ハ財界ノ實情ニ副フヤウニ相當ノ方法ヲ講ゼラレコトガ必要デアルト私ハ信ジマス、ソシテ各銀行ヲシテ自己資金ヲ以テ賄ハスヤウナ方法ヲ御執リニナラナケレバ間ニ合ハヌノデハナイカト云フコトヲ、唯御注意ヲ申上デテ置ケ程度ニ止メマセウ

只今ハ貨幣ノ方面カラ見タ「インフレーション」ノ問題ヲ論議致シマシタガ、次ニ物ノ方面カラ見タ「インフレーション」回避ノ問題ニ付テ承リタイノデアリマス、先ツ農林大臣ニ承リタイノデアリマス、食糧事情ノ惡化セハルコトト、農林大臣御努力ノ點ハ國民悉ク之ヲ知ツテ居ルと思ヒマス、ケレドモ二合一ノ配給ヲ健康ヲ保持シ、勤勞能力ヲ保持スルコト云フコトハ難カシイコトデアリマス、ミナラズ、政府ハ屢々米麥ヲ以テ二合一ノ配給シテ、諸ハ特配スルンダト云フコトヲ放送サレマス、配給サレテ居リマセマ、現ニ私ノ經驗シテ居ル所デハ、十一月ノ六日カラ十五日以後ハ諸バカリデ「リマス」、是ハ事實デアリマス、斯ウ云フ状態ヲ以テ果シテ國民ハヤツテ行ケルカドウカ、成程農林省ト致シマシテハ日本ノ耕地、其ノ生産量ト云フ點カラシテ配給ノ御計畫ヲ立ツテ居ラレマス、ケレドモ、配給ハ唯單ニ生産ト云フ點カラ考ヘテ行ケベキモノカ、更ニ其ノ外ニ社會ニ動搖ノアツタ場合ニハ之ヲドウスルカ、社會生活ト云フ方面カラ此ノ問題ヲ一ツ考ヘナケレバナラズ、斯様ニ思フノデアリマシテ、生産ノミカラハ論議サレスト思ヒマスガ、農林大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○松村國務大臣 御答ヘテ申シマス、勿論御話ノ通りニ二合一ノデハ十分デナイコトハ承知致シテ居リマス、隨ヒマシテ供出其ノ他ノ見送シガ付キマスナラバ、何トカ努力ヲシテ二合三合マデハ増配ヲ致シタイ考ヘデ居リマス、ソレカラ御話ノヤウニ配給ガ途切レタ場合ガアリマス、從來モ屢々小運搬其ノ他ノ事情カラアリマシタコトデアリマス、私モ洵ニ申譯ノナイコトト思フテ居ルノデアリマス、十分注意致シマシテサウ云フコトノナイヤウニ努メテ居リマス、中旬カラ二合一ノ内容ヲ充實シテ、混物ヲナクシタイト云フコトハ豫テ聲明ヲ致シタ通りデアリマスガ、其ノ後今年ハ作柄ガ遅レマシタ等ノ爲ニ、東京ヘノ廻米、大阪ヘノ廻米ガ例年ノヤウニ參リマセマデ、其ノ爲ニ遅レタノデゴザイマスガ、幸ヒニ先月ノ末頃カラ順調ニ回復ヲ致シテ參リマシタノデ、先月末カラ見据エガ付キマシタノデ、内容ノ充實ヲ致シテ配給ヲ改メツ、アルノデゴザイマス、今後配給ヲ受ケラレル方ハ、サウ云フ風ニ内容ノ改善ヲ致シテ配給ヲスル、斯ウ云フコトニ著手ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、左様御承知ヲ御願ヒ致シマス

○田中實委員 農林大臣ガ熱心ニ配給其ノ他ニ努力シテ居ラレコトハ、能ク承知シテ居ルノデゴザイマス、ケレドモ實際ハ農林大臣ノ御言明ニナリマシタコトト違ツテ居ル、ソレハ各人知ツテ居リマス、又二合一ノ實ヒマシテモ、是デハヤツテ行ケヌノダカラ、ドウシタツテ關デ手配シナケレバナラズ、關デ手配スレバ何カ彼カ入ル、關ハイカスト言ウテモ、生キル爲ニハ何トカシナケレバナラズ、又會社トカ團體ナドノ方面ニ於テハ、相當ニ大規模ニ食糧ヲ持ツテ居テ、従業員ニハ特配シテ居ルノデハナイカト思ハレル節ガ多クアルノデアリマス、此ノ點カラ考ヘルト、其ノ配給方法ニ付テ、或ハ供出方法ニ付テ、何等カ其處ニ不十分ナ點ガアルノデハナカラウカ、農林大臣ハ大變ニ御努力ヲセラレマシテ、又農林大臣ノ人格ノ上カラシテ非常ニ農民ハ共鳴シテ呉レテ居ル、尊敬シテ呉レテ居ルと思ヒマスガ、併シナガラ振返ツテ考ヘルト、戰爭中ニヤラレタ所ノ方法ハ人情ニ反スルモノガ多ク、農村ノ實情ニ反スルモノガ非常ニ多ク、經濟ニ反スル方法ガ盛ニ行ハレタ、而モ戰爭ニ勝ツ爲ニ國民ハ之ヲ忍ンデ來タノデアリマス、ノミナラズ御民我等一切大君ニ捧ゲマツラシ、ト斯ウ云フ意氣込デ耐ヘ忍ンデ參リマシタ、然ルニ今日ニ於テキマシテハ、サウ云フコトガモウ出來ナクナリマシタ、ドウシタツテ農村ノ實情ニ應ズルヤウナ供出ノ方法、經濟ノ原則ニ合フヤウナ供出ノ方法デナケレバ、實際此ノ供出ノ圓滿ヲ期スルコトハ出來ヌト思ヒマスガ、政府ハ今日ノ供出ノ方法ヲ以テマシテサウ云フ農村ノ實情ニ合フモノトシテ、此ノ儘圓滑ニ行クト云フ御意見デアルカドウカ、更ニ角供出ノ爲ニハ實情ニ合フヤウニヤツテ行カウト云フ御希望デアルカ、此ノ點ニ付テ農林大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○松村國務大臣 農民ノ氣分ニ付キマシテハ、御話通りト私共モ心得テ居リマス、ソコデ戰爭中ノ歪メラレタ形ニ於テノ供出ト云フコトハ、極メテ困難デアルコトモ承知致シテ居リマス、併シナガラ今日ノ此ノ情勢ニ於テマシテハ、一面精神的ニハ全く同胞愛ニ依リマシテ、何トカシテ日本ノ國民總テガ生キテ行ケルヤウニ供出ヲシテ貰ハウ、是ヨリ外ニ途ガナイノデゴザイマス、サウ云フ風ニ努メマシテ、歪メラレタル氣分ヲ——本當ノ農民ガ傳統の二持ツテ居リマス、アノ同情ノアル氣分ニ應ヘテ供出ヲ促シ、此ノ危局ヲ乘切ルヤウニ、心カラ供出ヲシテ貰フヨリ外ニ途ガナイと思ヒマス、又物ノ方面カラ申シマス、實際今日農村ノ實情カラ申シマスレバ、生活ニ必要ナ物ヲ買ヒ、若シクハ生産ニ必要ナ物ヲ得マスルノニ、只デハ買ヒ得ナイ、必ズ米ヲ持ツテ行カケテハ買フコトハ出來ナイト云フヤウナコトガ實情デアリマス、ソレガ單ニ闇相場デナケレバ買ヘナイト云フデケデハナクテ、ソレニ加フルニ物々交換ノヤウナ形ガ、而モ最モ形ノ惡イ「バーター」ノヤウナ形ガ出テ居リマス、此ノ爲ニ自分ノ食糧以外ニ必要ナ物ヲ得ル爲ニ米ヲ殘シテ置カケテハナラナイト云フコトガ、供出ヲ妨ゲテ居ル大キナ原因デアリマス、出ルルダケ其ノヤウナコトヲシナケテ、直接ニ農民ニ肥料、農機具其ノ他必需資材ヲ渡セルコトヲ考ヘナクテヤナラヌコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、ソレデ今度供出ニ肥料デアルトカ、農機具デアルトカ、或ハ酒類、衣類ト云フヤウナモノヲ附ケテ行カウト云フコトモ、供出ヲ促進スル意味デアリ、十分ニ供出ヲシテ呉レタ方ニ報ニル意味デアリマスガ、一般農家ニ出來ルダケ斯ウ云フモノヲサウ云フ闇デナクシテ渡シタイ、斯ウ云フコトデヤツテ居ルノデゴザイマス、是等ダケデ十分デアルトハ申シマセマシテ、此ノ精神方面ト物の方面ト併セテ十分ニ努力ヲ致シマスナラバ、今年ノ割當テラレタル供出モ、何トカシテ是ハ出シテ貰フコトガ出來テ、食糧難ノ突破ニ貢獻スルコトガ出來ルノデハナ

イカ、此ノヤウナ心掛ケデ只今ヤツテ居ルヤウナ次第アリマス

ヲ早急ニ回復スルコトニ努メテ参リマシタガ、最低ガソレ位デゴザイマシタ

一社毎ニ、明年必ズ是ダケヤルト云フ責任額ヲ決メテ呉レコトヲコチラカ

モ相當ノ改善ヲシタト云フコトデアリマスカラ、サゾ適當ナ價格ニセラレタ

ヲ要スル所モアリマス、ソレデ此ノ資材ヲ要スル其ノ調査モ此處ニ持合セテ

○田中(貴)委員 配給供出面ニ付テハ、農林大臣ノ御熱心ナヤリ方ニ付テハ、

ノデ、今日ノ所相當ニ改善セラレテ居リマスケレドモ、今年ノ麥ノ肥料ニ間

決メテ來ル等デゴザイマス、サウシテ是等ノモノヲ綜合シテ、計畫ダケナ

テ破壊サレタ設備モアルケレドモ、其ノ以前ニ設備ヲ酷使シタ爲ニ、大規模

受ケマシタ資材ノ中等等、大體賄ヒ得ルノデハナイカト云フ見据エハ持つテ

一應諒承致シマシタガ、其ノ本ヲナスモノハ生産デアリマス、殊ニ最近ハ社

ニ合フ分量ハ極メテ少イモノデアリマス、一反歩當リ僅カニ一貫目位ノモノ

デゴザイマス、是デハ非常ニ心配デアリマス、今年ノ食糧問題ノ解決ノ大キ

ナ鍵ヲ握ツテ居リマス麥ノ作柄等ニ付テハ、是ハ餘程大切ニ考ヘナクチャナ

併セテ考ヘマス時ニ、資材ノ隘路ハ是ハ解決出來得ルノデハナカラウカト思フ

農民ガ漸次殖エルト云フ傾向デアリマス、是ハ生産能率ヲ下ゲルコトハ間違

ヒナイコトデアリマシテ、必ズシモ好マシイコトデアリマセヌ、更ニモツ

ラナイト思ヒマス、ソレデ確安若シクハ石灰窒素以外ノ、何デモ肥料ニナル

トナルモノハ既ニ一掃サレテ居ル、隨テ御言明ニナツタ數字ハ大體期待シテ

マシノデ、此ノ點ニ付キマシテハ石灰ノ増産ニ農林省トシテ、食糧其ノ他ノ

於テ反當ノ收穫ヲ殖ヤスト云フコトガ更ニ必要デアル、而モソレハ肥料ノ間

題ヲ離レテハ考ヘラレマセヌ、是モ戰時中ハ事情ヲ異ニシマシタガ、肥料ガ

絕對ニ必要デアル、化學肥料トカ、魚介トカ、ソナモノニ互リマシテ一體肥

料ハイツ頃手ニ渡ルモノカ、少クトモ今年ノ麥作ニ間ニ合フモノハドノ位ノ

ヲ出來ルダケ優先的ニ補ツテ貰フ、斯ウ云フ風ニ話合ヒラシ、考ヘテ居ル譯

程度カト云フコトヲ、成ベク詳細ニ農民ニ通ズルヤウニ此ノ際御發表願ヒタ

イト思ヒマス

○松村國務大臣 御話ノ通り肥料ノ問題ガ、今日生産ノ基礎的條件ニナツテ

居リマスコトハ申スマデモナイコトデアリマス、今年ノ凶作ノ如キモ天候ノ

關係ニモ因リマセウケレドモ、實際地味ノ永イ間ノ潤滑ニ因ル點ガ多イノデ

アリマス、ソレデ肥料ノコトガ今後ノ食糧問題ノ中心トナルノデアリマス

ガ、不幸ニシテ窒素肥料ニ於キマシテハ、戰爭ノ爲ニ工場ガ非常ニ爆撃其ノ

他ノ損害ヲ受ケマシテ、終戰當時ニハ一箇月ノ硫安製造量ガ八千「トン」程度

マデ下ツテ居タ状態デアリマス、ソレ

ヲ早急ニ回復スルコトニ努メテ参リマシタガ、最低ガソレ位デゴザイマシタ

ノデ、今日ノ所相當ニ改善セラレテ居リマスケレドモ、今年ノ麥ノ肥料ニ間

決メテ來ル等デゴザイマス、サウシテ是等ノモノヲ綜合シテ、計畫ダケナ

テ破壊サレタ設備モアルケレドモ、其ノ以前ニ設備ヲ酷使シタ爲ニ、大規模

受ケマシタ資材ノ中等等、大體賄ヒ得ルノデハナイカト云フ見据エハ持つテ

一應諒承致シマシタガ、其ノ本ヲナスモノハ生産デアリマス、殊ニ最近ハ社

ニ合フ分量ハ極メテ少イモノデアリマス、一反歩當リ僅カニ一貫目位ノモノ

デゴザイマス、是デハ非常ニ心配デアリマス、今年ノ食糧問題ノ解決ノ大キ

ナ鍵ヲ握ツテ居リマス麥ノ作柄等ニ付テハ、是ハ餘程大切ニ考ヘナクチャナ

併セテ考ヘマス時ニ、資材ノ隘路ハ是ハ解決出來得ルノデハナカラウカト思フ

農民ガ漸次殖エルト云フ傾向デアリマス、是ハ生産能率ヲ下ゲルコトハ間違

ヒナイコトデアリマシテ、必ズシモ好マシイコトデアリマセヌ、更ニモツ

ラナイト思ヒマス、ソレデ確安若シクハ石灰窒素以外ノ、何デモ肥料ニナル

トナルモノハ既ニ一掃サレテ居ル、隨テ御言明ニナツタ數字ハ大體期待シテ

マシノデ、此ノ點ニ付キマシテハ石灰ノ増産ニ農林省トシテ、食糧其ノ他ノ

於テ反當ノ收穫ヲ殖ヤスト云フコトガ更ニ必要デアル、而モソレハ肥料ノ間

題ヲ離レテハ考ヘラレマセヌ、是モ戰時中ハ事情ヲ異ニシマシタガ、肥料ガ

絕對ニ必要デアル、化學肥料トカ、魚介トカ、ソナモノニ互リマシテ一體肥

料ハイツ頃手ニ渡ルモノカ、少クトモ今年ノ麥作ニ間ニ合フモノハドノ位ノ

ヲ出來ルダケ優先的ニ補ツテ貰フ、斯ウ云フ風ニ話合ヒラシ、考ヘテ居ル譯

程度カト云フコトヲ、成ベク詳細ニ農民ニ通ズルヤウニ此ノ際御發表願ヒタ

イト思ヒマス

○松村國務大臣 御話ノ通り肥料ノ問題ガ、今日生産ノ基礎的條件ニナツテ

居リマスコトハ申スマデモナイコトデアリマス、今年ノ凶作ノ如キモ天候ノ

關係ニモ因リマセウケレドモ、實際地味ノ永イ間ノ潤滑ニ因ル點ガ多イノデ

アリマス、ソレデ肥料ノコトガ今後ノ食糧問題ノ中心トナルノデアリマス

ガ、不幸ニシテ窒素肥料ニ於キマシテハ、戰爭ノ爲ニ工場ガ非常ニ爆撃其ノ

他ノ損害ヲ受ケマシテ、終戰當時ニハ一箇月ノ硫安製造量ガ八千「トン」程度

マデ下ツテ居タ状態デアリマス、ソレ

ヲ早急ニ回復スルコトニ努メテ参リマシタガ、最低ガソレ位デゴザイマシタ

ノデ、今日ノ所相當ニ改善セラレテ居リマスケレドモ、今年ノ麥ノ肥料ニ間

決メテ來ル等デゴザイマス、サウシテ是等ノモノヲ綜合シテ、計畫ダケナ

テ破壊サレタ設備モアルケレドモ、其ノ以前ニ設備ヲ酷使シタ爲ニ、大規模

受ケマシタ資材ノ中等等、大體賄ヒ得ルノデハナイカト云フ見据エハ持つテ

一應諒承致シマシタガ、其ノ本ヲナスモノハ生産デアリマス、殊ニ最近ハ社

ニ合フ分量ハ極メテ少イモノデアリマス、一反歩當リ僅カニ一貫目位ノモノ

デゴザイマス、是デハ非常ニ心配デアリマス、今年ノ食糧問題ノ解決ノ大キ

ナ鍵ヲ握ツテ居リマス麥ノ作柄等ニ付テハ、是ハ餘程大切ニ考ヘナクチャナ

併セテ考ヘマス時ニ、資材ノ隘路ハ是ハ解決出來得ルノデハナカラウカト思フ

農民ガ漸次殖エルト云フ傾向デアリマス、是ハ生産能率ヲ下ゲルコトハ間違

ヒナイコトデアリマシテ、必ズシモ好マシイコトデアリマセヌ、更ニモツ

ラナイト思ヒマス、ソレデ確安若シクハ石灰窒素以外ノ、何デモ肥料ニナル

トナルモノハ既ニ一掃サレテ居ル、隨テ御言明ニナツタ數字ハ大體期待シテ

マシノデ、此ノ點ニ付キマシテハ石灰ノ増産ニ農林省トシテ、食糧其ノ他ノ

於テ反當ノ收穫ヲ殖ヤスト云フコトガ更ニ必要デアル、而モソレハ肥料ノ間

題ヲ離レテハ考ヘラレマセヌ、是モ戰時中ハ事情ヲ異ニシマシタガ、肥料ガ

絕對ニ必要デアル、化學肥料トカ、魚介トカ、ソナモノニ互リマシテ一體肥

料ハイツ頃手ニ渡ルモノカ、少クトモ今年ノ麥作ニ間ニ合フモノハドノ位ノ

ヲ出來ルダケ優先的ニ補ツテ貰フ、斯ウ云フ風ニ話合ヒラシ、考ヘテ居ル譯

程度カト云フコトヲ、成ベク詳細ニ農民ニ通ズルヤウニ此ノ際御發表願ヒタ

イト思ヒマス

○松村國務大臣 御話ノ通り肥料ノ問題ガ、今日生産ノ基礎的條件ニナツテ

居リマスコトハ申スマデモナイコトデアリマス、今年ノ凶作ノ如キモ天候ノ

關係ニモ因リマセウケレドモ、實際地味ノ永イ間ノ潤滑ニ因ル點ガ多イノデ

アリマス、ソレデ肥料ノコトガ今後ノ食糧問題ノ中心トナルノデアリマス

ガ、不幸ニシテ窒素肥料ニ於キマシテハ、戰爭ノ爲ニ工場ガ非常ニ爆撃其ノ

他ノ損害ヲ受ケマシテ、終戰當時ニハ一箇月ノ硫安製造量ガ八千「トン」程度

マデ下ツテ居タ状態デアリマス、ソレ

ヲ早急ニ回復スルコトニ努メテ参リマシタガ、最低ガソレ位デゴザイマシタ

ノデ、今日ノ所相當ニ改善セラレテ居リマスケレドモ、今年ノ麥ノ肥料ニ間

決メテ來ル等デゴザイマス、サウシテ是等ノモノヲ綜合シテ、計畫ダケナ

テ破壊サレタ設備モアルケレドモ、其ノ以前ニ設備ヲ酷使シタ爲ニ、大規模

受ケマシタ資材ノ中等等、大體賄ヒ得ルノデハナイカト云フ見据エハ持つテ

○松村國務大臣 今御尋ネノ點ハ非常ニ重要ナ點デゴザイマスノデ、私共ノ考ヘ、又執ツテ居リマス方針ヲ申上デ

タイト思ヒマス、二合一勾ガ不十分デアロコトハ先刻申シタ通りデアリマスガ、ソレナラバ之ヲ一ツ増スト云フコトニ付テモ、非常ニ熟慮ヲ致シタノデアリマス、世間ニ主要食糧ヲ三合ニ増セトカ、二合五勾ニ増セトカ云フ意見ガ相當ニアリマス、無理カラス要求デゴザイマシテ、出來ルナラバ左様ニ致シタイ、サウスレバ閣モ減ル、斯ウ云フコトデアリマス、併シナガラソレダケ増シマス、一勾ヲ増スノニ約二百五十萬石程要リマスカラ、ソレニ準ジテ餘計ニ増セバ増ス程非常ニ大キナ穴ガ開キマシテ、三合ニ致シマス時ニハ二千二百萬石ト云フヤウナ數字ガ出テ參リマシテ、此ノ數字ヲ埋合セマセスト、ソコニ大キナ穴ガ開ク、是ハ誰シモ分ルコトデアリマスノデ、三合ナリ二合五勾ナリニ無理ヲシテ増シマスナラバ、其ノ時ニ果シテ閣ガ消ユルカト云フト、今ハ満足シテ食ヒマスケレドモ、アト二、三箇月經テバ必ズ斯ウ云フ恐ロシイ穴ガ開クノダト云フコトハ誰シモ分リマスカラ、其ノ數箇月後ニ備ヘル爲ニ閣ト云フモノハ消ユルナミナラズ、寧ロ積極的ニ死物狂ヒノ食糧漁リガ來ルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス時ニ、責任ノ地位ニ居リマス者トシテハ、サウ云フコトヲ實ハ私トシテヤリ切レナカッタノデアリマス、隨ヒマシテ聯合國側ニ要請シテ居リマス數字ハ、二合三勾ト云フコトヲ基礎ト致シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ二合三勾位デハ少イデヤナイカト言ヘバ尤モデアリマスケレドモ、

是ハ過去四、五年間ズツトヤツテ參リマシタ慣行デアリマシテ、此ノ二合三勾ト云フ數字ハ、最初ヤツタ時ニハ別ニ餘リ不平等ガアリマセヌデシタ、ソレガ末ニナル程是デハ足ラヌト云フ聲ガ起リマシタコトハ、申スマデモナク最初二合三勾ニ規正シタ時ニハ、副食物ガ相當潤澤ニアツタ時デアリマス、即チ副食物デ補ヒ得タカラ二合三勾デモ先ツ満足スベキ食生活ヲシテ來タ、ソレガ副食物ノ面ガ段々減ツテ參リマシタガ爲ニ二合三勾デモ足リナイ、ソコヘ二合一勾マデ戰爭ノ末期ニ於テ減ラサザルヲ得ナクナツタ譯デアリマシテ、食生活ハ今日ノヤウナモノニナツテ來タト云フ譯デアリマス、ソレデ私ハ甚ダ消極的ノコトヲヤツテ居ルト云フ御叱リヲ蒙ルコトハ全ク存ジテ居リマスガ、何トカシテ此ノ二合一勾ノ内容ヲ充實スルト共ニ、副食物ノ面ヲ出來ルダケ潤澤ニ、供給スル方法ガナイカ、生鮮食料ノ統制ヲ外シマシタコトモ、之ニ依ツテ何トカアノ非常ニ少イ配給ヨリモ、而モ閣ニ依ツテ取ルヤウナ形ヨリモ、少シ値ハ高クテモ公然ト潤澤ニ物ガ集マリ物ガ買ヒ得ルコトニナツテ、副食物ノ面ニ於テ増加スルコトガ第一デアラウト考ヘマシテ、二合一勾ヲ守ルト共ニ、副食物ノ生産ヲ増シ、ソレヲ市場ヘ呼ビ掛ケル考ヘヲ以テアノ統制ヲ外シタ譯デアリマス、統制ヲ外シテカラ日ガ淺クゴザイマスカラ、ドウ云フヤウナコトニナルカ分リマセヌケレドモ、只今マデノ短イ經驗ニ依リマス、其ノ目的ハ或ル程度マデ達シ、若シハ達セラレルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツテ居ルノデゴザイマシテ、今後魚類ノ生産等ニ付テ

モ萬全ノ策ヲ施シテ、例ヘバ油ノ如キ、魚網ノ如キ、其ノ他漁船ノ如キ、是等ニ力ヲ入レテヤリマスナラバ、相當副食物ノ面ニ於テ主食物ノ少イノヲ補ウテ、食生活ヲ改善スルコトガ出來得ルト思ヒ、ソレニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、萬一ノ場合ハドウスルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、是等ノ施策ニ依リマシテ、其ノコトノナイヤウニ最善ノ努力ヲ致サネバナラヌト心得テヤツテ居ルヤウナ譯デアリマス

○田中(實)委員 今一點承リマスガ、米ノ輸入ノ問題ガ政府カラモ盛シニ言明セラレ、兎ヤ角傳ヘラレテ居リマスガ、結局何時頃ドレ位來ル豫定ナノカ、ソレヲ承リタイノデアリマス

○松村國務大臣 御承知ノ通り、先般輸入許可ノ原則的ノ指示ガアリマシテ、希望ノ途ガ開カレマシタハ存ジマスガ、何時ドレダケ寄越スト云フ點ニ付キマシテハ、マダ確カナ見透シヨ得ルコトヲ得マセヌコトガ實際デゴザイマシテ、出來ルダケ早く其ノ見透シヨ得タイモノト存ズルノデアリマス、實際ヲ申シマス、是ハ不足ノ時ニ遲レテ來テ、若シハ、丁度不足ノ時ニ來テハ間ニ合ヒマセヌノデ、所謂操作ノ上カラ言ヒマス、其ノ不足ヲ告ゲル數箇月以前ニ入手シテ居ラナケレバナリマセヌ、サウ云フ意味ニ於テ非常ニ取急イデノ指令ヲ得ナイト、甚ダ困ル譯デアリマスノデ、此ノ趣旨ニ依ツテ成ベク早く、此ノ數量ノ決定ヲ得タイ、斯ウ云フ風ニ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○田中(實)委員 農林大臣モ私ト同様ノ御心配ヲ以テ、前以テ用意シタイト

云フコトデアリマスカラ、是レ以上追究ハ致シマスマイ、唯モウ一點承リタイノハ、見返リ物資ハ既ニ用意ガ出來テ居ルカ、又船舶ノ用意モ既ニ出來テ居ルカ、此ノ點ダケヲ一ツ簡單ニ御答ヘ願ヒタイ

○松村國務大臣 見返リ物資ニ付キマシテ、現在確實ニ手ニアリマスモノハ生絲デアリマス、資料ガ手許ニアリマセヌノデ、ホンノ大體ノ數字ト御心得願ヒタイガ、約五萬捆バカリ現ニ「ストック」トシテ持ツテ居リマス、其ノ全部ガ輸出生絲トシテ間ニ合フカト申シマス、是ハマダ調ベナイ所モアリマスガ、大體三萬五千捆ハ直グニモ輸出出來ルモノヲ持ツテ居リマス、ソレカラ見返リ物資トシテ大體認メテ賣ツテ居リマスノハ、生絲ニ致シマシテモ、現在手持ノモノバカリデハナクテ、來年一パイニ正確ニ生産シ得ルモノモ見込シテ與レルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス、隨テ來年一パイノ生産量ガ見返リ物資ニナル譯デアリマスカラ、來年ノ生絲ノ生産ニ付テハ十分ノ努力ヲシナクテハナラス、繭ヲ作ルノハ即チ食糧ヲ得ル所以デアルト思ツテヤツテ居リマス、ソレカラ化學製品其ノ他ノモノニ付テモ、是ハ商工大臣カラ詳シク御答ヘガアルカモ知レマセヌガ、ヤハリサウ云フ生産ノ餘白ヲ見テ貰ヘルノデハナイカト見テ居リマス、尙ホ船舶關係ハ一ツノ大キナ難點デゴザイマスガ、聯合國側ノ厚意ニ依ツテ、此ノ隘路モ大キク開イタトハ申サレマセヌガ、出來ルダケノ心配ヲシテ貰ヘルノデハナイカ、此ノヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○田中(實)委員 食糧問題ニ關シマシ

テ、各方面ヨリ折角御努力ノ點能ク諒承致シマシタガ、此ノ問題ハ數字ノミデ扱ヘナイ問題デアリマス、理窟ダケデ扱ヘナイ問題デアリマス、社會不安ノ起リマシタ後ニ手ヲ著ケタノデハ間ニ合ハナイノデアリマシテ、農林大臣ハ非常ニ専門家デアリマスカラ、御注意申上ゲルコトモナイト思ヒマスケレドモ、先々二手ヲ打ツテ行カウト言ハレタ今ノ言葉ヲ是非忘レズニ實效アラシメテ戴キタイト思フノデアリマス

次ニ民需物資ノコトニ付テ商工大臣ニ承リタイ、「ボツダム」宣言ノ一條ニハ、日本ノ經濟ヲ支持スルニ足ル産業ヲ認メテ居ルノデアリマス、日本ノ經濟ヲ支持スルニ足ル産業トハ何ノ意味スルモノカ、如何ナル程度ニ於テ之ヲ認メルモノカ、又其ノ許容サレタ範圍程度ニ於テハ日本ノ産業政策、平和産業全體ニ綜合計畫ト云フモノガ立ツテ居ル管ダト思フノデアリマス、若シ政府ニサウ云フ計畫ナクバ國民ノ絕對自由ニ任ス外ハナイ、國民ノ絕對自由ニ任サナイトスレバ、政府ニ綜合産業計畫ト云フモノガ立ツテ居ル管デアリマス、ソコデ今日ハ終戰後相當ナ日ニチモ經ツテ居ルコトデアリマスカラ、既ニサウ云フ計畫ガ立ツテ居ルコトト思ヒマスノデ、其ノ大體ヲ御説明願ヒタイノデアリマス

○小笠原國務大臣 田中君ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス、我が國將來ノ産業ノ規模ヲ何處ニ定メルカト云フコトハ、聯合國側ガ如何ナル業種ニ、如何ナル程度ノ生産ヲ認メルカト云フコトデ岐レルノデゴザイマスガ、賠償問題等ト關聯致シマシテ、マダ確定ヲ致シテ居リマセヌ所ガ多アリマスルノ

デ、現在ノ狀況ニ於テハ綜合計畫ヲ立
テル所ニ行ツテ居リマセス、ケレドモ
「ボツダム」宣言ノ趣旨ニ依リマスレ
バ、今後ノ日本國民ガ生活ヲ維持スル
ハ必要ナル産業ノ維持繼續ト云フコト
ハ、當然許容セラレル所トナツテ居リ
マスカラ、此ノ狭い領土デ八千萬ノ人
口ヲ養フニ必要ナル生活必需品並ニ食
糧品、其ノ不足分ヲ輸入スル見返リ物
資等ニ充テル輸出生産工業ニ付テハ、
是ハ認メテ呉レルコト存ジテ、ソレ
ニ對スル適切ナル措置ヲ進メテ居ル次
第デアリマス

○田中(貴)委員 只今賠償ガ決マラナ
イカラ綜合的ナ計畫ハ立ツテ居ナイト
云フ御話ガアリマシタガ、賠償ガ決マ
リマスノハ何時ニナルカ分リマセス、
其ノナルマデ日本ノ國ハ待ツテ居レマ
セス、隨テ今日ノ程度ニ於テ一應ノ計
畫ヲ立テ、更ニ賠償ガ決マリマシタ時
ニ、ソレニ適應スルヤウニ計畫ヲ立テ
ルト云フコトガ、今日必要ナンデアリ
マシテ、何サマ今日必要ナノハ速力デ
アリマシテ、非常ナ速力ヲ出シテ實際
ノ事情ニ適應スルヤウナ政策ヲ立テネ
バナラスト思ヒマスガ、マダ出來テ居
ナイト云フコトデアリマスカラ、成ベ
クサウ云フ方向ニ早ク向ケテイラッシ
ヤルカ、若シ政府ノソレガ立タスノナ
ラバ民間ニ任スカ、私ハ特ニ此ノ點ハ
味ハツテ貰ヒタイト思フデアリマス
ガ、從來戰時中政府ニ其ノ能力ガナク
シテ計畫經濟ヲ行ツタコトガ生産ヲ非
常ニ低下セシメタ原因デアリマス、而
モ其ノ計畫ヲ議會デ聽イテ見ルト、殆
ド計畫ガナイノデアツテ、計畫ナキ計
畫經濟ガ日本ヲ失敗ニ導イタ原因デア
リマスガ、此ノ點ニ付テ民主主義的自

由經濟ト云フナラバ、政府ニ確乎タル
自信ノアル計畫ガ立バソレニ依ル、
サモナケレバ國民ノ有爲ナ者ニ任ス、
ドチラカノ途ヲ立テテ、速急ニ政府ハ
其ノ方針ヲ決メテ發表シテ業者ニ向
フ所ヲ知ラシメラレコトガ必要ダト
思ヒマス

次ニ民需物資ノ生産ニ付キマシテ、
戰爭中是ハ極端ニ制限シタ、而モ感情
ニ基イテ必要以上ニ制限シタコトモ少
クナイ、隨テ戰時中一體國民ノ生活ヲ
平時ノ何「パーセント」ニ制限スル積
リカ、政府ハ目標アツテ民需ヲ壓迫シ
テ居ルノカト云フ風ナコトニ付テ、色
色政府ニ苦言ヲ呈シマシタケレドモ、
政府ハ之ニ耳ヲ藉サズシテ、政府ノ政
策ヲ強行シマシタ結果、今日ノヤウナ
悲慘ナ狀態ニ立ツタノデアリマス、
而モ廣汎ニ互ル戰災ニ依リマシテ、民
需物資ハ多大ノ不足ヲ告ゲテ居リマ
ス、ソレニ對シテ「インフレーション」
ノ大キナ原因ヲナシテ居ルノデアリマ
ス、此ノ事實ハ聯合軍側モ認メマシ
テ、民需物資ノ最大限ノ生産ヲ促進ス
ルコトヲ認メテ居ル、而モソレガ爲ニ
ハ資材不足ダト云フナラバト云ツテ、
各工場保有ノ軍需資材ヲ開放シマシ
タ、更ニ又民需工場及民需品工場
品トヲ併セテ製造シタ工場ハ、自由ニ
民需品ヲ造ルコトヲ認メ、更ニ又軍需
工場デアツテモ、聯合軍側ノ許可ヲ得
ル時ニハ民需物資ノ生産ニ轉換シ得ル
コトヲ認メタノデアリマスカラ、諸般
ノ事情ハ揃ツタヤウニ思ヒマスケレド
モ、新タニ生産セラレタ民需物資ノ顔
ヲ見マセス、而モソレガ「インフレー
ション」ノ原因ニナツテ居ル、即チ非
常ナ關值段ガ出テ「インフレーション」

ノ原因ヲナシテ居ルコト、昨日大藏大
臣ノ財政演説ニ指摘サレタル通りデア
リマス、政府モ亦之ヲ認メテ居ルノデア
リマスガ、斯ク諸般ノ障礙ハ除イテア
リナガラ、少クモ對外的ナル障礙ハ
除イテアリナガラ、尙且ツ民需物資ガ
出廻ラナイ原因ハ何處ニアルカ、其ノ
點ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○小笠原國務大臣 前ノ補足シテ少
シ申上ゲテ置キマスガ、私ガ綜合的ノ
計畫ガ立ツテ居ラスト云フコトヲ申シ
マシタケレドモ、民需物資ノ生産等ニ
付キマシテハ、計畫ノ立テテ居ルコト
ハ、勿論デアリマシテ、唯賠償ノ内容
等ガ分リマセス、又向ノガドウ云フ事
業ヲ許可スルカ、ドウ云フ工場ヲ實物
賠償トシテ持つテ行クカト云フコトガ
分ラヌカラ、マダ全體トシテノ綜合計
畫ハ立タスト申シタノデアリマシテ、
個々ノ、特ニ國民ノ生活必需品デア
リマストカ、見返リ物資ノ増産デアリ
マストカ云フコトニ對シテハ、計畫ヲ
立テテ居ルコト勿論デアリマス、ソコ
デ今御尋ネノ點デアリマスガ、工場
設備ヲ色々今申上ゲタヤウナ民需ノ生
活物資、及ビ輸入用ノ見返リ物資等ニ
轉換スル爲ニ、例ヘバ機械工業ニ付
テ申シマス、從來兵器等ヲ造ツテ居
リマシタ機械工業ニ付テハ、農業用ノ
機械器具、或ハ製粉機、家庭用粉砕器
其ノ他食糧加工用機械器具、土木、建
築用機械器具、電球、家庭用電器器、
「ラヂオ」、電話機等電氣機械器具、其
ノ他或ハ纖維工業用及ビ鑛山用ノ機械
器具、「トラック」自動車其ノ他ノ輸送
用機械器具、事務用或ハ印刷用ノ機械
器具、或ハ醫療用機械器具、斯ウ
云フモノニ轉換ヲ致スコトニ指導致シ

マシテ、既ニ相當轉換ヲ了シテ居ルノ
デアリマス、數字ガ御入用デゴザイマ
スレバ、又後カラ申上ゲテモ宜シウゴ
ザイマス

更ニ化學工業ノ轉換ニ付キマシテハ、
例ヘバ「アンモニア」工業及ビ硫酸工
業、其ノ性格ヲ變ヘマシテ、硫酸ノ生
産増強ニ重點ヲ置キマス關係上、硫酸
工場ニ轉換セシメルコトニシテ居リマ
スシ、或ハ硝酸、硝安ノ生産等ヲ縮小
致シマシテ、是レ亦硫酸工業ニ轉換シ
テ居ル、或ハ燐、燐安、火藥等ノ工業等
リモ、硫酸、人絹、「スフ」製絲ノ工場
等ニ轉換セシメテ居ルノデアリマス
尙ホ石灰窯等ガ今非常ニ入用ナ所カ
ラ、或ハ「カーバイド」工場、「フエロ
アロイ」工場、研削材工場等ハ石灰窯
素ノ工場ニ之ヲ轉換セシメテ居ルト云
フヤウナ工合デアリマスシ、更ニ又聯
合軍司令部ノ許可ヲ得マシテ、岩國、
四日市、徳山、斯ウ云ツタ各軍燃料廠ヲ
轉換致シマシテ、日下ソレノ準備ヲ進
メテ居ルノデアリマス、其ノ外鹽素系
工業ハ是モ性格ヲ變ヘサセマシテ、殺
菌用鹽素、調味料、醫藥用鹽酸、「マッ
チ」用鹽素酸「カリ」、斯ウ云フヤウナ生
産ニ變ヘサシタ次第デアリマス、又
「タール」系合成工業ハ、是モ軍用煤發
原料工業カラ轉換サセマシテ醫藥品原
料、合成染料等ニ變ヘサス、斯ウ云フ
ヤウナ特殊ノ處置ヲ執ツテ居リマス
尙ホ御參考ノ爲ニ一寸此處デ申上ゲ
テ置キマスレバ、大キナ軍需工場ノ中
デ、既ニ米軍司令部ノ轉換許可ヲ得タ
ルモノヲ申上ゲマス、三菱重工業株
式會社、川崎航空機株式會社ノ岐阜工
場、石川島航空ノ杉田工場、日立製作

所ノ多賀工場、理研工業ノ柏崎工場、
熊谷工場、前橋工場、住友金屬、古河
電氣、神戸製鋼所株式會社等ハ既ニソ
レゾレ轉換許可ヲ得マシテ、民需物資
ノ増産ニ是カラ取掛ルコトニ相成ツテ
居リマス、尙ホ日下許可ヲ申請致シテ
居リマスモノハ、立川飛行機株式會
社、日立航空機株式會社、川西航空機
株式會社等デアリマス、ソコデ今御尋
ネノ點ニ付テ申上ゲマス、商工省ト
致シマシテハ、民需物資ノ増産ハ戰後
極メテ重要ナ施策デアリマス所カラ、懸
命ナ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、
併シ是ガ出スノハドウ云フ譯カ、是ハ
私共率直ニ申シマシテ、價格制度ノ惡
イ所モアリマセウガ、統制ノ惡イ點モ
アル、是等ノコトガ何レモ其ノ原因ヲ
成シテ居ルヤウニ考ヘマスケレドモ、
同時ニ又原材料ノ不足、特ニ最近ニ於
キマシテハ石灰ノ不足等ニ因ルモノガ
非常ニ多イト考ヘラレルノデアリマ
ス、ソコデ商工省ト致シマシテ生活必
需品生産ノ爲ニ終戰後執リマシタ處置
ハ、各種主要制限規則ヲ撤廢致シマシ
テ、價格及ビ企業許可ニ關スル權限ヲ
地方ニ委譲致シマシト同時ニ、手續ヲ
極メテ簡易化致シマシテ、大體ニ於テ
特殊ノ――十一、二種デアリマスガ、ソ
レヲ除ク外ハ全部企業許可ヲスルト云
フ建前ヲ執ツテ居リマス、軍用資材及
ビ軍需工場ノ手持資材ノ民需向ケ轉用
ノコトヲ考ヘテ居リマスガ、更ニ國民
生活用品生産計畫ヲ推進致シ之ニ關ス
ル金融上ノ措置ヲモ講ジテ居ルノデア
リマス、更ニ戰災者越冬用ノ衣服、其
ノ他生活必需品等ノ配給ニ付キマシテ
モ、全力ヲ盡シテ居ル譯デアリマシ
テ、是等ノ爲ニ更ニ廣ク官民各界ノ有

識者ノ御意見ヲモ微シタク、曩ニ生活必需品緊急増産本部ヲ設ケマシテ、各界ノ方ノ御協力ヲ願ヒ、目下此ノ増産ニ努力致シテ居ル次第デアリマス

○田中(實)委員 随分詳細ニ互ツテ、質疑シタ點ヨリモ廣ク且ツ多ク御親切ニ御説明ガアリマシタ、大體御努力ニナツテ居ル點ハ了承致シマシタガ、之ヲ要スルニ一言デ宜イノデアリマシテ、何時頃ニナツタ民需品ガ出廻ツテ、實際我々ノ役ニ立ツカト云フコトヲ承ツタノデアリマス、モウ一遍御迷惑デスガ御願ヒ致シマス

○小笠原國務大臣 今私ハ價格ノコトモ統制ノコトモ、若干其ノ妨ゲトナツテ居ルコト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是等ニ付テハ、既ニ「マツカトサ」司令部ノ方ヘ、是々ノモノハ斯ウシタイト云フコトヲ今打合せ中デアリマス、然ルニ其ノ指令ガ參リマセス、其ノ指令ガ參リ次第、其ノ處置ヲ執ルコトニ相成ツテ居リマスノデ、私ハ月ヲ限ツテ、一月ハ何ボ出ルカ、二月ハ何ボ出ルカト云フコトヲ此處申上ゲル譯ニハ行キマセスガ、近ク出廻ルコト云フコトヲ確信シテ居ル次第デアリマス

○田中(實)委員 然ラバ一點點キタイノデアリマスガ、慥カ二十九日米軍司令部カラ出タ指令ニ、總テノ平和産業方面ガ非常ニ遲延シタ狀態ニ鑑ミマシテ、第二次ノ促進命令ガ出テ居ル、只今商工大臣ノ御話デハ司令部ノ方ガ遅イノデ、自分ノ方ガ遅レテ居ルト云フ話デアリマシタガ、司令部ノ方ハ日本ノ方ガ意慢デアツテ爲ニ遅レテ居ルト云フ意味ノ發表デアツタト思ハレマシタ、何カソコニ行違ヒガ生ジテ居ル

ノデセウカ、其ノ點承リタイ
○小笠原國務大臣 御答ヘ致シマス、アノ生産促進命令ハ實ハコチヲ要請ニ基イテ出テ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○田中(實)委員 ドウモ民需品ニ付テ色々御説明モアリマシタガ、御努力ノ點ダケヲ承致シマシテ、次ニモウ一點點キタイノハ貿易デアリマス、ドウシテモ日本ハ農業テ全部ノ國民ヲ養フ譯ニ行カス、隨テ工業ニ主力ヲ注ガナケレバナラス、茲ニ原料ガ要リマス、更ニ見返リ物資ガ要ル、斯ウ云フ譯デ、ドウシテモ貿易ノ再開ト云フコトガ我が國ノ經濟ヲ支持スル前提ナルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テモ大體政府ニ於テハ、何時頃聯合軍側ガ國際貿易ニ參加ヲ許スモノカ、又其ノ際ニ於ケル用意ハ全部今日出來テ居テ、何時許サレテモ宜イ狀態ニナツテ居ルカ居ラスカ、斯ウ云フ點ニ付テ極ク簡單ニ概要ヲ御話願ヒタイト思ヒマス

〔眞鍋委員長代理退席、委員長著席〕
○小笠原國務大臣 見返リ物資ノ關係ニ付キマシテハ、現下色々輸入ヲシナケレバナラスモノノ關係上、必要ナルカラ全力ヲ盡シテ之ヲヤツテ居ル譯デアリマス、御參考ノ爲ニ一寸申上ゲテ置キマス、現在直チニ輸出可能ナルモノガ一應ノ推定金額デ四億八千二百萬圓ゴザイマス、其ノ内譯ハ纖維品ガ一億一千八百萬圓、或ハ餘リ細カイコトガ必要デナケレバ止メテ置キマス(細カイ細カイ、止メテ置ケト呼ブ者アリ)其ノ次ニソレト合セテ三十億ト云フモノガアリマス、ソレダケ御答ヘ致シテ置キマス

○田中(實)委員 更ニ今一點承リタイ

ノハ大藏大臣ニ承リタイノデアリマス、大藏大臣ハ昨日ノ財政演說ニ於キマシテ、物價政策ノ問題ニ付テ、合理的ナ物價秩序ヲ再建スル爲ニ政府ハ熱意ヲ責任ト以テ正面カラ打突カル所存ダカラ、國民ニ協力援助ヲ頼ム、斯ウ云フ意味ノ御演說ガアリマシタ、國民ニ協力援助ヲ頼マルノデスガ、何ニ協力スルノカ言ツテナイ、物價對策ノ何處ニ協力シロト云フノカ、其ノ一點ダケ明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス

○澁澤國務大臣 國民ニ協力願フ點デ一番大切ナル所ハ生産デアリマス、物資ノ豐富ニナルコトガ物價ノ面ニ於テ一番大キイ問題デアリマス、物價ヲ決メルコトデナク、物資ヲ多クスルコトニ御協力願ヒタイノデアリマス
○田中(實)委員 其ノ時ノ御演說ヲ見マスト、凡ユルモノガ價格ト云フ形デ集中サレテ來ルノデ、此ノ點ニ力ヲ注イデ貰ヒタイト云フ意味ノ御演說ノヤウニ承ツタノデアリマス、昨日ノ御演說ヲモウ一度繰返シテ讀ンデ戴ケバ分ルト思ヒマスガ、今ノ御答辭ト少シ違ツタ意味ノコトダト思ヒマス、政府ハ是カラ更ニ物價秩序ヲ再建シヨウト云フノデスガ、其ノ物價基準何處ニ置クノカ、此ノ一點ダケデ宜イ、明瞭ニシテ戴キタイ

○澁澤國務大臣 大藏省ニ於キマシテハ、今同物價部ヲ設ケマシテ専門家ヲ置キ、更ニ民間ノ知識經驗ノアル方々ニオイデテ願ヒ、今マデ政府トシマシテハバラ／＼ニナツテ居リマシタ物價面ニ對シテ統一シテ、農林省、商工省各方面ノ方々ニモ御協力ヲ願ヒマシテ、サウシテ單ニ物價ノ一々ノ價格形

成ト云フコトデナク、體系ヲ立テルコトニ付テ十分研究ヲシ、ソコヘ持ツテ行キタイト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中(實)委員 昨日ノ財政ノ御演說ニ依リマス、現在ハ不合理ナ公定價格ノ存在、公定價格ノ權威ノ失墜及ビ亂脈ナ關係格ノ横行ニ依ツテ、物價體系ハ崩壊トモ稱スベキ事態ニ立至ツテ居リマス、今日合理的ナ物價秩序ヲ再建スルコトハ實ニ至難ノ仕事デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、責任ヲ熱意ト以テ正面カラ打突カル所存デアリマスノデ、何卒國民各位ニ於カレテハ理解アル協力御支援ヲ與ヘラレンコトヲ切望スル次第デアリマス、斯ウ云フノデアリマシテ、生産ニ努力シテ呉レ、協力シテ呉レトハ、言ツテハ居ナイノデアリマス、ソコデ何ニ協力スルカ、物價政策ニ協力スル、其ノ物價政策ニ協力スルノハ何處ヘ協力スルノカ、物價ノ目標何處ニ置イテ居ルノカ、具體的ニ基準何處ニ置イテ居ルノカ、斯ウ云フコトガナケレバ國民ハ協力ノ仕樣ガナイデアリマセスカ、宜シク頼ムト言ツテモ、何處ヲ宜シク頼ンダノカ分ラヌデハ協力ノ仕樣ガナイ、明確ニ物價目標ト云フカ、基準ト云フカ、其ノ點ニ關スル現内閣ノ御方針ヲ御示シテ願ヒタイ

○澁澤國務大臣 昨日申上ゲマシタヤウニ、現在ノ物價體系ハ壞レテ居ルト思ヒマス、之ヲ如何ニシテ再建スルカト云フコトハ多少ノ時日ト、ソレカラ物資ノ出廻リ、其ノ他總テ勘案シテ或ル所ニ決マツテ行クモノデアリマス、之ニ對シテ政府トシマシテハ熱意ヲ以テ打突カツテ行クト云フコトヲ申

上ゲタノデアリマス
○田中(實)委員 最後ニ總理大臣ニ一點伺ヒタイノデアリマスガ、ソレハ思想ニ關スル問題デアリマス、戰爭中ニ言論ヲ極端ニ壓迫シタ反動ト言ヒマス、今日ハ自由奔放ヲ言論ガ横行シテ居リマシテ、天皇制ニ關スル議論サハ自由ニ述ベラレテ居ルヤウナ實情デアリマス、共產主義トカ、社會主義ニ關スル議論モ盛ンシ述ベラレテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、思想界ハ全ク混沌ト致シマシテ、國民ハ向フ所ヲ知りマセス、之ニ對シマシテ政府ハ如何ナル方策ヲ執ルカ、如何ナル取締ノ方法ヲ執ルカ、或ハ善導ノ方法ヲ執ルカ、ソコニ何等カノ對策ヲ必要トシマスガ、其ノ思想ニ對スル方策ニ付テ總理大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○幣原國務大臣 今日思想界ニ於ケル混沌タル狀況ニ顧ミテ、之ニ對シテ何カ適當ナル對策ヲ執ルカ、其ノ對策如何ト云フコトデアリマス、是ハ一言ニシテ言ヘバ、詰リ教育ノ刷新ト云フコトガ根本策デアラウト考ヘマス、今日思想ガ混沌トシテ、或ハ極端ニ奔リ、反動的ノモノモアルシ、又矯激ニ互ルモノモアリマス、斯様ナ問題ニ付テ此ノ際最モ必要ナルコトハ、教育ノ刷新デアラウト思フノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ我々ハ及バズナガラ出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ル積リデアリマス、此ノ教育ノ刷新ヲ除イテ、他ニハ適當ナル對策ハナカラウト思フノデアリマス

○田中(實)委員 教育ノ刷新ト云フコトハ學校教育ノ刷新ト云フコトデアリマス、ソレナラバ何年カ先デナクテハ效果ノ出ヌコトデアリマス、マダ中々

中遠イ先ノコトデ、今日ノ間ニ合ヒマセ
ヌ、學校ニ於ケル教育ノ刷新ヨリ必
要デアリマシテ、是ハ根本デアリマス
ケレドモ、色々ナ事實ニ反スルコトガ
宣傳セラレタ時ニ、直チニ之ニ對シテ
反駁スル、或ハ非常ニ矯激ナ思想ヲ宣
傳サレタ時ニ、是ト理論論争ヲスル、
言ヒ換ヘバ思想ヲ取締ルモノハ刑罰
デナクテ思想デア、思想ニ對スルニ
思想ヲ以テスル、斯ウ云フ點ニ付テ、
政府ノ方ニ御用意ハナイカ、今マデ政
府ノヤツテ居ラレルコトヲ見マス、
此ノ臨時議會ニ於テ稍々色々ナコトガ
明瞭ニナリマシテ、例ヘバ戰後ニ於テ
日本ノ財政負擔ガ幾ラニナルト云フ風
ナコトニ付テモ、自由奔放ナ議論ガ述
ベラレテ居ルガ、政府ハ事實ヲ明カニ
シテ反駁シタコトガナイ、又其ノ他社
會主義、共產主義ニ付テモ色々述べラ
レテ居ルガ、結局サウ云フ世ノ中ニハ
誰ガ損ヲスルカ、誰ニ一番影響ガ來
ルカ、實際上カ見タモノト、又理論
上カ見タモノト色々アルガ、政府ハ
何等之ニ對シテ手ヲ打ツテ居ラス、從
來ハ悉ク刑罰ヲ以テ之ヲ取締ツタ、刑
罰ヲ以テ思想ヲ抑ヘ付ケテ失敗シタ歷
史ハ、帝政「ロシヤ」ノ末期ニ明カデア
リマス、又日本モ最近其ノコトヲ明カ
ニ體驗シタ所デアリマス、政府ハ此ノ
點ニ付テ唯學校教育ニ依ルト云フ風ナ
コトデナシニ、是モ必要ナコトデ根本
デアリマスガ、モット具體的ニ斯ウス
ルト云フ風ナ御施策ハナイノデアリマ
セウカ、大事ナ點デアリマスカラ重ネ
テ御答辯ヲ煩ハシマス

○幣原國務大臣 御話ノ通り思想ニ對
シテハ思想ヲ以テ之ニ酬ユルト云フコ
トデナケレバナリマセス、公ノ權力ヲ

以テ之ヲ抑ヘ付ケル、取締ルト云フヤ
ウナコトダケハ、中々徹底的ニ目的ヲ
達スル所以デアリマセス、私モ能ク
其ノ點ヲ承知致シテ居リマス、ソレ故
ニ健全ナル輿論ヲ鼓吹シテ、之ニ依ツ
テ思想問題ニ對抗スルト云フコトデナ
ケレバナラヌト思ヒマス、例ヘバ近頃
ノ新聞ナンカデ能ク天皇制ナント云
フヤウナコトヲ論ジテ居リマスルガ、
私ハ其ノ點ニ付キマシテハ、此ノ間
大阪地方ニ參リマシタ時ニ、私色々
陛下ガ關西地方ヲ御巡幸ニナツタ事情
ヲ能ク承リ、又御供ヲシタ人カラモ其
ノ事情ヲ聽キマシテ、及バズナガラ私
モ、國民全體ノ思想ハソレ程矯激ニナ
ツテ居ラス、陛下ニ對スル誠忠ノ念
ハ、地方ノ民心デハ著シク變ツテ居
ル形勢ハ見エナイ、私ハサウ云フ趣旨
ヲ國民ニ徹底スル爲ニ、放送ヲ行ツタ
コトモアリマス、是モ一ツノ方法デア
ラウト私ハ考ヘテ、其ノ方法ヲ執ツタ
ノデアリマス、是カラ後モ能ク注意ヲ
致シマシテ、矯激ニ瓦ラス、極端ニ左
ラヌヤウニ舵ヲ執ツテ行カケレバナ
ラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○田中(貴)委員 以上私ハ重要ナ政策
ノ二、三ニ付キマシテ政府ノ質疑應答シ
マシタ、昨日總理大臣ハ本委員會ノ私
語ニ答ヘテ、政府ニ政策ガアリマス
云フ御答デアリマシタ、成程政府ニ
政策ハアリマスガ、實際ノ效果ヲ學デ
タモノハ殆ドナイト云フコトガ明カニ
ナツテ、洵ニ遺憾ニ思フ次第デアリマ
ス、今日ハ日本ガ墜ツテ以來ノ大キナ
變化、經濟上、社會上、政治上、凡ユル
方面ニ大キイ變化ヲシテ居ル時デアリ
マシテ、一步ヲ誤リマスナラバドンナ
コトニナルカモ知レマセス、折角祖先

ガ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ、多大ノ命ヲ犠
牲ニシテ作り上ゲタ此ノ日本ガドンナ
ニナルカ分リマセス、洵ニ憂慮ニ堪ヘ
ヌ狀態デアリマス、此ノ時ニ對シマシ
テノ諸般ノ施策ハ急グコトデアリマ
ス、速カト云フコトガ最も大事ナコ
トナノデアリマス、考ヘテ立派ナモノ
ヲ作ルト云フヨリモ、速カニ手ヲ打ツ
テ行クコト云フコトガ必要ナノデアリマ
ス、此ノ點ヲ政府ハ忘レラレスヤウ
ニ、此ノ難局ニ處シテ日本ヲ護ツテ行
クコト云フコトニ折角御努力ヲランコト
ヲ切望致シマシテ、私ノ質疑ヲ打切り
タイト思ヒマス

○中島委員長 濱野徹太郎君
○濱野(徹)委員 憲法改正ノ動向
ニ付テ、根本義ニ付テ總理大臣ニ、
三質問ヲ致シタイト思ヒマス、「ボツ
ダム」宣言ヲバ忠實ニ履行シテ、民主
主義政治ヲ日本ニ復活強化スルト云フ
コトハ至上命令デアリマスルガ、此ノ
民主主義ヲ、政治ノミナラズ生活面ニ
マデモ強化擴充スルト云フコトノ根本
義ハ色々アリマセウガ、先ヅ以テ憲
法ト云フモノニ其ノ動向ヲバ示スト云
フコトガ一番必要デアルト思ヒマス、
蓋シ憲法ハ國家ノ公道ヲ基準スルモノ
デアルト共ニ、國民ノ人權ト自由ヲ保
證スルト云フ兩面ノ立場カラ見マシ
テ、憲法ノ改正ガ如何ヤウニ進ンデ居
ルカト云フコトガ、一番根本トシテ國
民ノ知ラント欲スル所デアリマス、私
達昨日聯合軍司令部カラ指名サレタル
戰爭責任者ノ中ニ、宮殿下ノ御名前ヲ
拜承致シマシテ、洵ニ何トモ申スコト
ノ出來ナイ御難ヲ受ケタノデゴザイマ
シテ、本當ニ御痛ハシイト云フ言葉デ
ハ言ヒ切レナイヤウナ感情ニ全國國民ガ

滿タサレテ居ルノデアリマス、ソコデ
私達ガ此ノ憲法ト云フモノノ改正ガ、
日本ノ民主主義ニ對シテ根本主義デ
アルト考ヘ、總理大臣モ本會議ニ於テ
非常ニ含蓄ニ富ンダ示唆ヲ與ヘラレタ
ノデゴザイマスルガ、先ヅ憲法改正ノ
中デ二ツノ目標ヲ定メテ行カナクテハ
ナラス、其ノ一ツハ皇室ノ政治上ノ御
安泰ヲ彌ガ上ニモ圖リ、強カラシメル
ト云フコトガ憲法改正ノ中心目標デナ
ケレバナラヌト私ハ思フ、惟フニ八月
十五日ノ終戰ノ大詔ニモ、萬世大
平ノ基ヲ開カムト仰セラレテ居リ
マス、平和ヲ愛好スルコトハ日本
ノ本當ノ姿デアリマス、況ヤ軍備
ト云フモノガ御承知ノヤウナ狀態
ニナリマシタ時ニ、何ノ左様ナ萬
般ノ心配ハアリマセスケレドモ、
尙ホ日本人ノ忠誠心ガ彌ガ上ニモ皇室
ノ政治上ノ御安泰ヲ願フコトハ、是ハ
中スマデモゴザイマセス、サウシテ憲
法改正ノモウ一ツノ行クベキ境界ト云
ヒマスルカ、目標ハ、單リ日本の民主
主義ト云フヤウナ言葉ヲ用ヒラレテ居
リマスルガ、日本の民主主義ト云フ
ヤウナ言葉ガ何ヲ示スカハ別ニ致シマ
シテ、ヤハリ是ハ世界ノ動向ト云フモ
ノヲ常ニ照シ合ハシテ、日本ガ國際的
ノ地位ヲ奪ハレテ居ルノバ、何時ノ
日カ日本ガヤハリ國際的ナ一員トシテ
活躍スルト云フコトガ、日本ノ平和國
民トシテノ目標ノ一ツデアリマスル以
上ハ、憲法ノ改正、又ヤハリ世界ノ動
向ニ常ニ注目シ、其ノ流れニ沿ウテ
行クコト云フモノ一ツノ目標デアラナ
ケレバナリマセス、此ノ皇室ノ政治上
ノ御安泰ト云フコトヲ彌ガ上ニモ考ヘ
サセラレルト云フコトト、更ニ又今申

シマシタ世界ノ動向ト云フモノヲ見極
メマシテ、日本ガ何時ノ日カ國際的ノ
一員トナリ得ルコトヲ望ミマスル時
ニ、先般皇室ニ於カセラレマシテ、憲
法ニ關スル御希望ト申シマセウカ、御
洩シ遊バサレタヤウニ新聞紙上デ拜承
致シタノデアリマス、即チ「イギリス」
流ノ立憲政體ガ御希望デアルカノヤウ
ニ私達拜讀致シタノデアリマス、申ス
マデモナク「イギリス」ノ立憲政體ハ、
君主ハ君臨スルケレドモ政治ハ行ハナ
イ、隨テ又總理大臣ノ任命ニ當ツテ
ハ、「イギリス」ノ君主ノ獨自ノ意思ニ
依ルコトナク、意思ノ任意ニ任セルト
云フコトナク、議會ト云フモノノ過半
數ヲ占メタ政黨カラ首相ヲ任命シナケ
レバナラナイト云フコトガ不文律トナ
ツテ居ル、又政府モ責任ハ「イギリス」
ノ皇帝ニ負ハズシテ、議會ニ對シテ負
フト云フコトニナツテ居ル、日本ハド
ウカ、第一條ニハ「萬世一系ノ天皇之
ヲ統治ス」ト明示セラレテ居リマス、君
臨サレ給ウテ尙ホ政治ヲバ遊バサレル
ノデアリマス、ココニ日本ノ憲法ノ建
前ト、「イギリス」ノ建前ト大イニ開キ
ガアルコトハ申スマデモゴザイマセス
ガ、驕ツテ思フ、總理大臣ハ此ノ皇室
ノ憲法ニ對スル御希望ト云フコトヲバ
拜讀サレマシタ時ニ、如何ナル御考ヘ
ヲバ御持チニナツタデアリマセウカ、
惟フニ總理大臣ノ輔弼ノ大任ハ、入リ
テハ君德ヲ啓沃臣順シ出テハ大政ヲ
奉行スルト云フコトガ總理大臣ノ大任
デアリマス、成程政府部内ニ於テハ憲
法ノ調査委員ヲ置イテ居ルヤウデア
リマスガ、是ハ單ナル學究ノ遊戲デア
リマス、大學ノ博士ト云フモノガ憲法
ノ學說ト學理ニ富ンデ居ルカハ分リマ

セヌガ、實際ノ運用ト云フ方面ニ於テハ未だ明カナリトハ言ヘマセヌ、ソレハ兎ニ角トシテ、總理大臣ガ今申シマシタ君德ヲ啓沃臣順シ出デテハ大政ヲ奉行スルコト云フ重大ナル責任ノ上カラ、此ノ皇室ニ於テ御洩ラシ遊バサレタ立憲政體ニ對スル御希望ニ付キマシテ、何等カ御考ヘニナリ、又何等カ總理大臣トシテ御取計ラヒニナツタ所ガゴザイマセウカ、此ノ點ヲ一遍先ツ伺ヒタイ存ジマス

○幣原國務大臣 只今何時カ 陛下ガ外國ノ新聞記者ニ對シテ、我が國ノ政治ノ動向ニ付テ御話ガアツタト云フコトデアリマス、私ハ今回就任致シマシテ以來、斯カル事實ノアツタコトヲ承知致シマセヌ、私ノ一家ノ私見ト致シマシテハ、一國ノ民主主義政治ノ方針ト云フモノ、ソレハドウシテモ各國其ノ國ノ環境、歴史、國民性ト云フヤウナモノニ順應スルモノデナケレバ、其ノ政治制度ハ永續スル結果ヲ得ラレルモノデハナイト考ヘテ居リマス、

「アメリカ」ニハ「アメリカ」ノ制度ガアリ、「イギリス」ニハ「イギリス」ノ制度ガアリ、「ソヴェト」ニハ「ソヴェト」ノ制度ガアリマスガ、是等ハ皆其ノ國ノ國情ニ適シタモノデアラウト思ヒマス、日本ニハ又日本ノ國情ニ適應シタ民主政治ガ發達シテ差支ヘナイト思フテ居ルノデアリマス、單ニ一ツノ國ノ政治制度ト云フモノヲ頭ニ置イテ、ソレダケデ日本ノ政治モ之ニ倣フ、之ヲ其ノ通り受入レルト云フコトハ、我々ハスル必要モナケレバ又宜シクナイコトト考ヘテ居ルノデアリマス

○濱野(徹)委員 私モ憲法ガ其ノ國ノ歴史ノ示ス所ヲ取入レ、ソレハ國ノ環境トカ歴史ニ依ツテソレハ異ナル所ガアルコトハ、承ルマデモナク承知シテ居リマス、問題ハ新聞ニ斯様ナコトガ傳ヘラレテ居リ、當時總理大臣デナカツタニシマシテモ、アナタガ總理大臣トナラレ、日本ノ民主主義化ト云フコトガ至上命令デアリマス以上ハ、是ト重大ナル關係ノアルコトガ既ニ皇室ノ御言葉トシテ御洩シニナツタト云フコトヲ御承知デアル以上ハ、總理大臣トシテ此ノ根本問題ニ付テ何モ知ラナイト云フ顔ハ許サレナイ筈デアリマス、總理大臣ハ之ニ對シテ如何ナル御考ヘヲ御持チデアラウカ、伺ヒタイ

○幣原國務大臣 私人 陛下ガドウ云フ言葉ヲ御用ヒ遊バシタノカ、ソレハ私ハ知ラナイト云フノデアリマス、新聞ニ現ハレテ居リマシタガ、果シテ其ノ通りデアツタカ、私ハ御確カメモ致シテ居リマス、其ノ點ハ存ジテ居ナイト申上ゲルヨリ仕方ガナイノデアリマスガ、私ノ理想トスル所ハ斯ク、

デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、私ハドウカ此ノ理想デ以テ、日本ハ日本ノ國情ニ適應シタ民主主義ノ發達ヲ期スルコト云フコトガ、我々ノ理想トスベキデアルトサウ考ヘテ居ルノデアリマス

○濱野(徹)委員 新聞ニ載ツテ居リマシタコトデアリマスルカラ、是レ以上ト云フヤウナ御言葉デアリマス、私モ事皇室ニ關スルコトデゴザイマスルカラ是レ以上ノコトハ申上ゲマセヌ、併シナガラ私達ハ少クモ總理大臣ノ地位ニアル人デアラナラバ、斯ウ云フヤウナコトヲ新聞デ拜見致シマシタガ如何ナル御趣意ニ互ラセラレルノデゴザイマ

セウカ、此ノ事ヲバ態々伺ヒ奉ツテ、且ツ今日ノ日本ノ憲法ノ改正ト云フコトガ積極性ヲ持タナケレバナラナイト云フ此ノ狀態ト關涉シテ、總理大臣トシテハ憲法改正案ノ御下賜ヲ願フコト云フコトガ、アノ新聞ノ記事ガドウアラウトモ、マサカ間違ツタコトハ載セナイデアラウト云フ今日ノ新聞ノ眞實性カラ考ヘテモ、戰爭中ニ總理大臣ガ押ヘラレテ居ツタ時代ト異ツテ、本當ニ正シイコトヲ新聞ニ載セルト云フ新聞ノ眞實性ニ顧ミルト、アノ記事ヲ左様ニ一片ノ記事トシテ扱ハズ、總理大臣ノ職責ニ鑑ミラレテ、憲法改正案ヲ考ヘラレ、サウシテ憲法改正案ノ御公布ヲ上奏スルコト云フコトガ、總理大臣ノ輔弼ノ責任デアルト考ヘマスガ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○幣原國務大臣 憲法改正ノ問題ニ付キマシテハ、私ハ數回本議場ニ於キマシテモ、此ノ豫算總會ニ於テモ申上ゲタト信ジテ居リマス、要スルニ此ノ憲法改正ト云フ問題ハ、國家組織ノ根本ニ關スルコトデアリマスルカラ、サウ輕率ニ斯ウ云フ點ヲ斯ウ云フ方針ニ依ツテ改正スルノダト云フヤウナコトヲ、私ハ今申上ゲル地位デハナイノデアリマス、今委員ヲ設ケマシテ熱心ニ考究致シテ居リマス、ソレガマダ結論ニ達シテ居ナイノデアリマス、豫メ斯ウ云フ方針デアスウ云 風ニヤルノダト云フコトガ決マツテ居ラナラバ、初メカラ結論ヲ持ツテ、サウシテ其ノ細目ヲ委員ノ人ニ強ヒルト云フコトデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ式デアツテ居ナイ、總テノ點カラ検討シテ、凡ニ議論ヲ盡シ、サウシテ最後ノ結論ニ達スル、私ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリ

マス、只今日夜此ノ憲法改正ノ問題ニ付テ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、マダ閣議ニモ其ノ報告ハ出シテ居ナイノデアリマス、是ハ將來ノ爲ニ間違ヒノナイヤウニ十分慎重ニ、日本ノ將來ノ動向ト、世界政治ノ動向モ考ヘテ、此ノ問題ハ極メテ徹底的ニ慎重ニ考ヘナケレバナラス、斯ウ思フテ居リマス、餘程之ニハ重キヲ置イテ大事ヲ取ツテヤツテ居ルノデアリマス、輕率ニ是ハ取計ラフベキモノデハナイ、ソレ故ニ今モ輕率ニ斯ウ云フ趣旨デアツテ居ルノダ、斯ウ云フ點ヲ斯ウ云フ風ニ改正スルノダト云フコトハ、私ハマダ此處デ發表スルヤウナ程度ニ達シテ居ナイト云フコトダケヲ御答ヘ申上ゲテ置イタノデアリマス、只今モ同様ナコトヲ繰返スヨリ仕方ガナイノデアリマス

○濱野(徹)委員 私人 總理大臣ガ極メテ慎重ナ態度ヲ以テ憲法改正ニ臨ンデ居ラレルコトヲ以テ諒トシマス、ソレ故ニコソ言葉ヲ電報ニテ、荷クモ新聞紙上ニ皇室ノ御希望トシテ、「イギリス」ノ立憲君主制ガ望マシイト仰セラレタト書カレマシタ以上ハ、總理大臣トシテ進ンデ此ノ御言葉ノ眞否ヲ伺ヒ奉リ、サウシテ總理大臣トシテ君德ヲ啓沃臣順立場カラシテ、憲法改正ノ重要性ヲ我々ニ説カル、前ニ、尙ホナサレベキコトガアツタノデハナイカ、ソレヲナサズシテサウシテ憲法改正ハ慎重ニシナケレバナラスコト云フコトハ、アノ記事ガ書カレタコトヲ承知サレテ居ルコトニ對シテモ、總理大臣ハ慎重ニシナケレバナラナイ憲法デアレバアル程、君德ヲ啓沃臣順立場カラ總理大臣ノ責任デハナイカ、總理大臣

ノ責任ト云フコトハ憲法上ニ規定サレテ居ル、其ノ重大ナル責任ヲ盡スコトニ於テ私ハドウカと思フ、モウ一遍此ノ記事ヲ知ツテ居ラレルアナタノ御信念ヲ承リタイ

○幣原國務大臣 只今申シマシタ如ク、私ハ慎重ニ考慮シテ、ソレデ何等カノ結論ニ達シマスレバ、之ヲ直チニ御上ニ奏上シテ、陛下ノ思召ヲ伺ヒ、ソレカラ改正問題ヲ決メタイ、斯ウ云フ風ニ思フテ居ルノデアリマス、隨テ陛下ガ斯ウ云フコトヲ仰セラレタガ、陛下ソレハ本當デゴザイマスカタ云フコトヲ私ハ伺フ必要ハナイと思フ、我ガ自分ノ確信ヲ以テ斯ウ云フ點ヲ斯ウ云フ風ニ改メラバ宜カラウト云フ結論得マシタナラバ、直チニ陛下ニ奏上シテ、陛下ノ思召ヲ承ル、ソレカラ改正問題ニ付テ進ンデ行キタイ、斯ウ思フテ居ルノガ私ノ今日考ヘテ居ル順序デアリマス

○濱野(徹)委員 不幸ニシテ私ノ考ヘ方ハ全く異ナル、ア、云フヤウナ記事ガ新聞デ漏レマシテ、私達ガ拜讀致シマシタ時ニ、忠誠ナル日本國民ハ皇室ノ御希望ガ斯クアラセラレマスル以上ハ、日本ノ憲法ノ動向ハ斯様ニ進ムベキモノダト云フヤウニ、日本人ノ心理ニ直チニ映ルノガ常態デアル、之ヲ知ラズシテ、學者ノ研究ヲ待ツテ奏上シヨウトスルコトハ、私ハドウモアナタノ御心情ハ我々ト撥ラニシナイト云フコトヲ申上ゲマシテ、此ノ問題ヲ納メテ置キマス、私考ヘマスルニ、アナタハ臣節ニ於テドウカと思フ所ガアルノデアリマスガ、此ノ問題ハモウ追究シマセヌ

先般石渡宮内大臣が斯ウ云フ言葉ヲ漏シテ居ル、是ハ新聞ノ記事デスガ、知ラナカッタデヤ濟マナイ、十月二十二日デシタカノ新聞ニ、石渡宮内大臣ハ記者ニ對シテ 天皇陛下ガ日本ノ民主主義化ニ付キ眞劍ナ御希望ヲ懷カレテ居ルノハ疑イナコトダ、併シサウシタ御希望ハ今後トモ鞏固ナル官僚陣ノ防壁ノ爲ニ屢々妨害サレテアラウト言ツテ居ル、國民トシテハ意外千萬ダ、八月十五日ノ終戦ノ大詔ニハ、朕ハ國民ト共ニ在リト仰セラレテ居ル、私達何トモ申スコトノ出来ナイ有難イ御言葉ヲ拜シマシタ、朕ハ國民ト共ニ在リ、本當ニ日本ノ國ノ平和愛好ノ眞ノ姿ヲ示サンガ爲ニ、皇室ニ於カセラレテハ國民ト共ニ在リト云フ御言葉ヲ以テ、國民ト共ニ進マウト云フ御趣意ヲ御示シ遊バサレタモノト拜察致シマシテ、何トモ言ヘナイ有難ク存ジタノデアリマス、皇室ニ於カセラレテハ、日本ノ民主主義化ニ關シテ眞劍ナ御態度ヲ以テ進マレヨウトスル時ニ、軍閥ニ代ツテ官僚ノ輩ガ聖明ヲ蔽ヒ奉ツテ、此ノ民主主義化ノ眞劍ナ御希望ヲ妨ゲルモノガアルト宮内大臣ガ言ツテ居ル、是ハ由々シイコトデアリマス、アノ大東亞戰爭ト云フモノガ、軍閥一流ノ輩ガ日本ノ本當ノ希望デナイ侵略ノ姿ヲ藉リテシマツタガ爲ニ、遂ニ日本ヲ今日ノ姿ニ陥レタ、誤ツテ官僚ノ輩、皇室ノ周圍ニ蟠居シテ聖明ヲ蔽ヒ奉ルガ如キコトアリトスレバドウデセウ、此ノ記事ハ由ツテ來ル所アリト考ヘル、總理大臣ノ炯眼ヲ以テシテ、此ノ事實ヲ知ラストハ言ヘマスマ、若シ左様ナ輩ガアツタナラバ、如何ナル態度ニ出デラレルベキデアラウ

カ、想ヒ起ス、山本權兵衛伯ガ、曾テ總理大臣デアツタ時ニ、樞密院ガ言フコトヲ聽カスト云ツタ時ニ、樞密院ナント何ヲ恐レルンダ、彼等ト雖モ總理大臣ノ奏請ノ運命ニ係ハルノデアルカラ、何時デモ臆ニシテシマウンダト言ツタコトガアル、私ハ當時驍勇ニ富ンダ言葉ヲ思ツタガ、實ニ強イ總理大臣デアツタ、宮内大臣ニ直チニ御確カメ下サイ、確カメルマデモナク總理大臣トシテ君側ヲ掩フ所ノ——民主主義化ノ眞劍ナル御希望ガアラセラレルニ拘ラズ、其ノ防壁ヲ作ル所ノ官僚ノ輩ガアルナラバ、斷乎トシテ之ヲ打倒ノコト云フコトガ、即チアナタガ本會議ニ於テ述べラレマシタ民主主義ノ障礙ニナルヤウナモノヲ除去スルコトガ我々ノ仕事デアルト仰シヤツタコトニ過ラズ、アナタノ言フノガ本當カ、若シアリトスルナラバドウサレルカ、ナイトスルナラバ宮内大臣ガ間違ツタデ宣シイ、御信念ヲ承リタイ

○幣原國務大臣 軍部ノ諸官ガ 陛下ノ聖明ヲ蔽ヒ奉ルト云フヤウナコトハ、若シアリマスルナラバ是ハ許スベカラザルコトデアリマシテ、我々ハ何トシテモ斯様ナ處ガナイヤウニ絶エズ注意ヲシテ、斯ウ云ツタヤウナ事態ノ出来ナイヤウニ極力力ヲ盡スト云フコトガ、私ノドウシテモ努メナケレバナラヌ當然ノ義務デアルト私ハ心得テ居ルノデアリマス、其ノ方針ヲ以テ私ハ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス

○濱野(徹)委員 皇室ト國民トガ政治上ノ血ノ繋ガリヲ持ツト云フコトガ、是ガ日本ノ民主主義ノ行キ方デゾザリマス、總理大臣ハ宮内大臣ガサウ言

ツタ、言ハスト云フコトヲ言ツテ居ルガ、ソレハ係テ措キ、私達ハ此ノ宮内大臣ノ言葉ヲ信ジタイ、サウシテ皇室ヲ取巻ク所ノ軍閥ト言ヒマシタケレドモ、軍閥ニ代ツテ官僚ノ頭目ガ取圍ンデ居ルト云フコトヲ信ジテ居ルノデスガ、アツタナラバヤルト云フノデナシニ、アナタニハ現在御氣付キニナラナイノカ、御氣付キニナラナイナラバ、私共ノ方カラ又申上ゲテ宜イ、ソレヲ承リタイ

○幣原國務大臣 軍閥ニ斯カル行動ガアツタト云フコトハ……

○濱野(徹)委員 現在ハ官僚デス

○幣原國務大臣 官僚ニ斯カル行動ガアレバ、私ハ固ヨリ默過スル積リデハアリマセム、是ハドウシテモ取締ラナケレバナラス、ソレニハ實必罰、官紀ノ振肅ト云フコトハドウシテモヤラナケレバナラス、私ガ聲ヲ深クシテ申上ゲタノハ其ノ點デアリマス、サウ云ツタ行動ガアツタナラバ私ハ斷ジテ看過シナイ積リデアリマス

○濱野(徹)委員 事皇室ニ關スルコトデアリマスカラ、私ハ此ノ言葉ヲ以テ私ノ論陣ヲ一應收メマス、併シナガラ國民ノ見ル所ハ、十日ノ見ル所十指ノ指サス所大ニ嚴ナリ、是ガ新聞ニ現ハレタ時ニ、總理大臣ハ國務御多忙デアリマセウケレドモ、今少シ大局ニ眼ヲ注ガレテ、苟クモ民主主義トニ非常ニ高度ノ立場ニアル所ノ人達ニシテサウ云フ行動ガアルトスレバ、斷乎トシテ處置ヲ執ツテ裁キタイと思ヒマス

次ニ私ハモウ一ツ他ノ方面カラ總理大臣ニ伺ヒタイ、先程田中君モ社會不安ト云フコトニ付テ非常ニ御心配ニナリマシタガ、是ハ最近國民ガ齊シク心

配スル所デ、今日ノ社會不安ト云フコトハ色々方面カラ原因シテ居リマセウガ、先ヅ直接ニ其ノ治安ガドウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトヲ申上ゲタイ、私達神戸デ申シマス、十一月ノ十七日ニ神戸ノ盛リ場トモ言フベキ元町ニ内外人不明ノ暴徒ガ四十名バカリ、眞晝間ニ砂糖ノ配給所ヲ襲ツテ、砂糖四千三百五十斤ヲ荷車ニ積ンデ運ビ去ツタ、ソレカラ又國庫不明ノ暴徒ガ十數名、モノノ船員ノ作業服ヲ納メテ居ル所ニ眞晝間ニ押寄セテ作業服ヲ二千着バカリ強奪シテ行キマシタ、其ノ外神戸市ニ於テモ澤山アルノデアリマスガ、結局砂糖商ノ組合ノ如キハ、此ノ狀態デハ砂糖其ノ外ノモノヲ民間デ保管スルコトハ出来ナイトモ斷言シテ居リマス、又東京市ニ於キマシテモ、餘リ例ヲ引ケノハウルサイデスガ、ドウモ續々トシテ暴徒ガ巷ニ横行シテ居ル、一言ニシテ言フナラバ、群盜横行シ暴力甚ニ滿ツト云フヤウナ言葉ニナル、是ガ適當デアリ、是ハ色々原因ガアリマスガ、今マデノ暴徒トハ暴徒デ違ヒマス、ソレハ白晝ナル、食糧トカ衣類ト云ツタヤウナ生活ノ必需品ニ眼ヲ付ケテ居ル、金ニ眼ヲ付ケナイ、モウ一ツハ白晝徒黨ヲ組ンデ横行スル、是デ國內ノ治安ガドウダト云フトハ御想像出來ルデアリマセウ、是ハ私達ノヤウナ者カラハ一言ニシテ其ノ手邊、原因ヲ掴ムコトハ出来マセム、食糧飢饉、罹災地ノ小林サンノ折角ノ復興ガ進マナイト云フコトカラモ起ツテ來テ居リマスガ、之ヲ一面政治ノ方面カラ端的ニ一言ニシテ言フナラバ、是ハ官僚特ムニ足ラズト云フコトデス、モウ一ツ鋭イ

言葉ヲ以テスレバ、官僚ニ對スル一種ノ挑戰デス、サウ見テモ差支ヘナイデセウ、眞晝間盛リ場ニ徒黨ヲ組ンデ以テ澤山ノ物ヲ強奪シテ去ル、官僚ニ對スル挑戰ニアラズシテ何ゾヤ、ソコデ私ハ承リタイ、先ヅ治安ノ紊亂ニ對シテ第一線ニ立ツ治安確保ノ役人ハ誰カト言フト警察デス、其ノ次ニ來ルモノハ司法ノ當局デス、警察ノコトハ所管ノ内務大臣ガ居ラレマセスカラ機會ヲ改メテ伺ヒタイ、先ヅ治安確保ノ第二線ニ於テ最後ノ線ヲ守ツテ居ル所ノ司法ト云フ方面ニ付テ私ハ伺ハナケレバナラスコトガ多クアリマス、司法省ハ私カラ言ヒマス、實ニ今マデハ、此ノ戰爭中カラト云フモノハ、非常ニ陰鬱ナ電々シイ空氣ニ滿チテ居リマシタ、幸ニシテ今ノ司法大臣ガ御就任ニナリマシテカラ、司法部ト云フモノガ聊カ明クナツテ來タコトハ事實デス、ソレハドウ云フ所ニ原因スルカト言フト、在野ノ法曹トシテノ司法大臣ガ御考ヘニナツテ居ツタト云フヤウナコトモアリ、司法部ノ本省ノ空氣ト云フモノガ、人事ノ入替ヘナドガ齟齬ト云フコトガ直接デセウガ、先ヅ何ヨリモ司法大臣ガ司法制度改革ニ熱意ヲ持ツテ居ラレルト云フコトガ我々ニ察知シ得ラレルノデアリマス、司法部ガ明ルクナツタコトハ事實デアアルガ、大體私ガ何時モ言ツテ居ツタノデスガ、此ノ戰爭ニ負ケルト思ハナイカラ、勝ツタ曉ニ於テ皆萬歳ヲ言フ中デ、司法部ダケハ萬歳ガ言ヘナイ、ナゼカト云フト、凡ソ司法部程權威ヲ笠ニ著テ民衆ニ重々シク乗掛ツテ居タモノハナイ、勝ツタラ先ヅ萬歳ト云フ聲ガ、祭ノ神輿ガ見込マレタ地主ノ所ニ乗込マヤウニ、先

ツ眞先キ檢事局ニ乗込シテ行ク、ト云フハ戰爭ト云フモノヲ笠ニ著テ檢事局ガ民衆ニ臨ム態度ハ見ラレナカッタ、是ハ東條内閣ノ指示ニ依ル、當時司法部ノ長官ヲ四、五人集メタ時ニ、本來司法大臣ノ官邸ニ開カルベキ會議ガ總理大臣官邸デ開カレテ、東條首相ガ司法官ニ向ツテ、戰時中デアアルカラ速カニ且ツ差別セズニ嚴重ニヤレト云フヤウナ、マルデ軍事裁判ヲバ強化シタヤウナ訓示ヲ出シタトカ出サヌトカ云フコトヲ漏レ開イテ居リマス、ソレカラランカ、當時ソレカラト云フモノハ司法部ノ態度ト云フモノハ一般ニ強化シ、民衆ニ威壓ヲ加ヘタコトハ事實デアリマス、其ノ弊ガ今日殘ツテ居ルノデアリマスガ、特ニ司法部ノ實態ヲ形作ツテ居ルノ、私ハ檢事ノ「フアッショ」ダト思フ、檢事ノ「フアッショ」ハ斷ジテ見通スコトハ出來ナイ、抑、司法部ノ制度ノ改革ノ中デ一大切ナコトハ司法部ノ解體デス、「フアッショ」ト云フコトハ、檢事ガ團體ヲ組シテ行クコトデアル、一體檢事ノ人生觀ト云フモノガ、或ル種ノ暗イ人生觀ヲ懷イテ居ル、ト云フノハ、大學ヲ卒業シテイキナリ司法部試補ニナリ、檢事ニナリ、檢事局デ段々調ベテ行ク時ニ、檢事ノ前ニ來ルハ警察ガ引張ツテ來タ惡イ事ヲシタ奴ダト思ツテ居ル、來ル人來ル人皆惡イコトヲシタ人間ダト思ツテ調ベル、皆惡レ入ツテシマフ、ハ、ア人生ト云フモノハコソナ惡イモノダ、凡ソ檢事ヲシテ居ル者ハ、人間ハ皆惡イ奴ダトバカリ思ツテ居ル、支那ノ言葉ニ「習ヒ性ナル」ト云フコトガアル、下宿ノ飯ヲ食ツテ大學ヲ出テ、檢事ニナツテ直グト調ベル、人ハ皆惡イ奴デ

アル、人生惡ナリ、ト云フ説ニ感染シテシマウ、檢事ノ前ニ來ル人ハ皆惡イト云フ所ガアル、人生惡ヲ抱イタ結果ガ何カト言ヘバ、檢事ト云フ人間ノ背後ニアル所ノ恐ルベキ一種ノ優越感アル、此ノ檢事ノ人生觀ト云フモノト優越感ト云フモノガ、今日ノ國民カラ離反シタ所以デアル、ソコヘ持ツテ來テ砂糖ノ甘イ事件ガ起ツテ來タ、ソレハ人ヲ紙メタ話ダ(笑聲)ソコデ先ツ檢事ガ如何ナル態度ニ出ルカト云フコト、威壓シタカト云フコトヲバ、私ハ極ク簡單ナ言葉デ言フ、ト、是ハ總理大臣モ能ク御聽キ下サイ、一ツハ判事ニ對スル威壓ナンデス、二ツハ民衆ニ對スル威壓ナンデス、ト言フノハ、アナタハソソナコトハ能ク御存ジナイデセウガ世人ハ言フノデス、判事ト云フモノハ横ヲ見テ居レバ宜イ、君僕デ純然タル獨立性ヲ帶ビテ、上カラ下ヲ見、下カラ上ヲ仰グト云フコトハナイ、良心ニ依ツテ立派ナ裁判ヲスル、檢事ハ上ヲ見ル、之ヲ引縛リマセウカ、起訴シマセウカ、罪ハナササウダケレドモ、政府ニ都合ガ惡サウナ奴ダカラ、引縛リマセウ、命令サレタラ縛ラナケレバナラス、詰リ一般ノ官吏ト同ジデ命令ガ強化サレテ居ル、デスカラ檢事ト云フモノハ司法部大臣カラ頼ノ檢事ニ至ルマデ一體ヲナシテ居ル、私ニハ親分分デアリ、公ニハ上官ト下官ノ關係デアル、是ガ非常ニ力強イ基礎ヲナシテ居リマス、判事ハ個個別々デアル、獨立シテ居ル、隣ノ人トカ友人ノヤウナ氣持デアル、是ガ判事ノ良イ所デアル、檢事ハ裏デハ親分ト子分ノ關係デアリ、表デハ上官ト下官トノ關係デアル、是ガ一人々々ニ分

離シテ居ル、判事ニ向ツテ、廊下デ以テ、オイヤレヲ執行猶豫ニシタライカソゾト審判スル、檢事ガマルデ一種ノ監察官デアルカノ如ク判事ヲ審判シ監視スルト云フコトガ在野法曹ノ通説デス、判事ニ對シテ此ノヤウナ態度ヲ執ツテ審判スル檢事ガ、團體ヲ組ンデ氣負ツタ時ニ、國民ニ對シテドウ云フ態度ヲ執ツタカト云フコトハ、思ヒ半バニ過ギルデアリマセウ、ソレニ對スル國民ノ怨望ノ聲ガ高カツタ所ニ、ガタト敗戦デ以テスツカリ砂糖事件デ、味増ヲ付ケタノデハナク、砂糖ヲ付ケタ(笑聲)コ、デ私ハ一應結論ヲ先ツ伺ヒマス、仍テ此ノ際司法部制度ノ改正ニハ、檢事ト云フモノノ制度ヲ改メル必要ガアリマスルカラ、之ヲ司法部大臣ニ御諮ネスル、ドウシタラ宜イカ、是ハ法曹一元化デアツテ、判事ト檢事ト辯護士ト云フモノガ一體トナツテ、檢事ヲ採用スルニハ、辯護士トシテ民間ノコトヲ能ク知ツテ居ルコトヲ云フヤウナ人ヲバ採用スルコト云フコトガ、先ヅ一ツノ方法デアルト考ヘル、是ハ輿論デアリマス、司法部大臣ハ之ニ對シテ如何様ナ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ、先ヅ此ノ點カラ伺ヒマス

○岩田國務大臣 只今濱野君ノ述べラレマシヤウナ弊害、從來サウ云フヤウナコトノアツタコトハ、私共モ同ジヤウニ感ズテ居ツタデアリマス、又私ハ内部ニ入リマシテサウ云フ事情ヲ見マシテ、是其ノ人ノ心得ノ惡イ點モ無論アルノデアリマスガ、斯様ナ狀況ニナリマシタコトハ、制度ノ上ニ於テモ餘程主ナル原因ガアルノデハナイカ、隨テ制度ヲ改メルコトニ依ツテ是等ノ弊害ノ大部分ハ矯正スルコトガ出來ルノデハナイカト云フコトヲ愈々強ク信ズルヤウニナリマシタ、隨テ日下サウ云フ方針デ省内ニ於テモソレノ研究ヲ致シマスシ、又其ノ方面ノ權威者ノ意見モ參照致シマシテ、一應省トシテ考ヘ、是ハ確定デハアリマセウガ、大體ノ向フベキ見透シガ略、付キマシタノデ、御承知ノ通りニ朝野ノ其ノ方面ノ權威者ヲ集メマシテ、司法制度改正審議會ヲ作ツテ、日下急速度ヲ以テ調査ヲ進行中デゴザイマス、只今濱野君ノ或ル示唆ヲ與ヘラレマシタヤウナ法曹一元化ト云フコトハ、私ハ是ハ理想デアルト思ヒマス、唯其ノ一元化ハ今日ノ體直チニ行ハレルカドウカト云フコトハ、尙ホ大イニ慎重ノ考慮ヲ要スルコトデアリマスガ、理想トシテハ法曹一元化ニアルコトデアリマスルシ、尙ホ直チニ行ヒ得ル點ハ是ハ檢事局ト裁判所ノ分離デアリマス、是ハ今日デモ行ハウトスレバ行ヘナイコトハナイコトデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ只今熱心ニ研究ヲシテ、一日モ早ク實行ニ移シタイト折角努力シテ居ル所デゴザイマス

○濱野(徵委員) 只今ノ御答辯デ大凡ノ方向ハ分リマシタ、折角ノ御苦心ヲバ諒ト致シマスガ、我々カラ言フト頗ル手續イト思ヒマス、制度ト云フモノハ紙ノ上ニ書カレタ形デ、ソレヲバ姿ニ現ハシタモノデアツテ、制度ヲ如何様ニ變ヘタ所デ振フ所ノモノハ人間デアル、先程モ申シマシタ通り、檢事ト云フモノノ人生觀ハ私ノ言ツタ通り間違ヒナイ、厭ヤナ優越感ト人生觀ナリト云フ性格ヲ帶ビタ人ガ日本ノ檢事ノ全部デカラ、此ノ檢事ヲ取送ヘルコトナクシテハ、迎モ裁判ノ明朗化ト云フコトハ出來マセウ、制度ト云ツテモ人間ノ扱フ制度デアル、私ハアナタガモウ一度勇斷サレンコトヲ望ムデ置キマス

ソコデモウ一點私ハアナタニ率直ニ申上ゲテ見タイ、アナタハ司法制度改正ト云フコトニ非常ニ御熱意ヲ持タレテ、民間カラノ人ヲ以テ委員會ヲ作ラレテ居リマスガ、私ハ茲ニ一ツ解セナイコトガアル、アナタガ司法制度ニ對スル顧問ヲ置イテ居ラレマス、アノ顧問ノ顧問ハ司法部大臣デアツタ松阪君ト小原君ト松本國務大臣、ソレカラ清瀨一郎君ト某大學ノ博士、是等ノ顧問レダス、松阪君ト小原君ハアナタガ改革シナケレバナリナイト云フ其ノ司法省デ、判事デナクシテ檢事デ三十年間生きテ來タ人デアル、今日改革シナケレバナリナイ城壁ヲ作ツタ御本人デハナイデスカ、其ノ人達ニ對シテ何處カ改革スルコトガアルカト云ヘバ、其ノ人達ハ司法部ト云フモノハ居心地ノ好イ所デコ、デ、三十年モ居レバ檢事長カラ檢事總長トナリ、司法部大臣ニナツテ貴族院議員ニナル、コソナ居心地ノ好イ所ハナイト云フノデ、改革ナド思ヒモ寄ラス、松本國務大臣ハドウカ、是ガ顧問トナツテ司法部ヲ改革シタナラバ、是ハ國務大臣トシテ共同ノ責任ヲ負フベキ人デハナイカ、アナタガ顧問ニシテモシナクテモ、アナタノナサツタコト、司法部ノシタコトニ對シテ連帶ノ責任ヲ負ハナケレバナラス國務大臣デアル、而モ貴族院議員デアール、貴族院議員ガ三人、衆議院議員ガ一人、サウシテ大學ノ教授ガ一人、是デ司法部民主化シヨウトスル、之ニ相當ノ改革ヲ期待スルコトガ出來ルカ、

イヤ出来マセヌ、ソレハアナタガ民主主義ノ第一線ニ立ッ人デアルカラ、俺ノヤウニ行過ギテハイケナイカラ、貴族院流ノ古イ考ヘデ一遍ニヤルコトハ見合セヨウト云フ御心持デ、ツタノデセウ、ソレデナクシテ斯ウ云フモノヲアナタガ本氣ニナツテ顧問トシテ置カレタナラバ、民主化ハ逆轉シテ封建的ニ進ムノデハナイカ、凡ソ貴族院ハ封建的ノ建ツテ居ルデセウ、之ニ對シテドウ云フ御考ヘ、御持チテアルカ御伺ヒ致シタイ

○岩田國務大臣 只今司法省ノ顧問ノ人選ニ付テハ御質問ガゴザイマシタガ、松本國務相ハマダ國務相ニナラナイ中ニ委員ヲ御委託シタノデアリマス、其ノ後ニ國務大臣ニナラレタノデアリマス、而シテ此ノ顧問ノ額觸レガ皆司法制度ニ付テハ寧ろ現状維持派デアリ、ノミナラズ却テ舊制ヲ主張スルヤウナ、寧ろ司法「フアツシヨ」ノ責任者デハナイカト云フヤウナ御尋ネデアリマシタガ、或ハ見方ニ依ツテハサウデアリマセウ、故ラニ私ハサウ云フ方ニ御願ヒシタノデアリマス、ト申シマスノハ、私ハ是マデ數十年民間ニ居リマシテ、實ハ相當ニ司法省ノ檢察其ノ他司法當局ニ向ツテハ反對ノ非難ノ考ヘヲ強ク持ツテ居リマシタ、是ハ或ハ誤解ガアルノデハナイカ、民間ニ居ツテ中ノ事情ヲ知りマセヌ、多少ノ誤解ガアリハシナイカト云フコトヲ自ラ反省シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居ツタ、コデ私ト同ジヤウナ人ヲ顧問ニシマシタナラバ、私ガ若シ誤ツテ居ルナラバ、其ノ過チヲ深クスルノデハナイカト考ヘマシタカラ、是ハ寧ろ以前ノ制度ヲ辯護スルヤウナ

立場ニ居ル人ヲ顧問ニ出テ貰ツテ、私ノ考ヘガ間違ツテ居ルカドウカト云フコトヲ御相談ヲシタイ、斯ウ云フ考ヘカラ主トシテマア古イ考ヘデハナイカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ立場ノ方ニ顧問ニナツテ戴キマシタ、而シテ今回ノ全體ノ審議會ノ方ノ委員ハサウ云フコトデナシニ、廣ク兩方ノ説ヲ代表シテ居ルヤウナ方ニ御願ヒ致シタ譯デアリマス

○濱野(徹)委員 ソレ御覽ナサイ、ヤハリアナタガ民主主義ノ第一線ニ立ツ方デカラ、俺ノ過チガ進ミ過ギテ居ルカ分ラヌカト云フノデ、ア、云フ封建的ノ人ヲ引張ツテ來タト云フ私ノ豫想ガ適中シタト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

次ニ司法部ガ本當ニ大物ヲ引張リ上ゲナイト云フ聲ガアル、第一線デナイ最後ノ線ヲ守ル司法部ガ、ドウモ統制違反ナドノ戰時中ニ舉ゲルニ當ツテ、ヤハリ大物ヲ遠慮シテ、細民魚介ノ徒バカリ舉ゲテ居ツタト云フ聲ガアル、是ガ民衆カラモ怨マレ、且ツ小馬鹿ニサレタ理由ノ一ツデ、リマス、ソコデ極ク簡單ナコトヲ一ツ伺ヒマスガ、アノ東條大將ヲ調べルト云フコトヲ檢察總長ガ言明サレタガ、ソレハ進行シテ居ルノカ、モウ一ツ前ノ重光外務大臣ハ今ドウ云フ運命ニ居ラレルノカ知リマセヌガ、此ノ間大阪ノ新聞デ、戰時中國民政府カラ二千萬圓ノ金ヲ賈ツタ、將政權ト日本政府トガ妥協シナイ爲ニ、國民政府カラ二千萬圓賈ツタノ石原フコトヲ、相當有數ノ地位ニアル石原義爾將軍ガ新聞ニ載セテ居ル、新聞ニ載セテ居ツタモノヲ又誰カノヤウー知ラスト言フカモ知レヌガ、名前ヲ出シ

タ以上ハ信ゼザルヲ得ナイ、此ノ大官ガ、戰時中ノ外務大臣ガ、二千萬圓ノ大金ヲバ敵國トハ云ハナイガ餘所ノ國カラ賈ツタト云フコトガ明ラカニナツテ民衆ガ疑ツテ居ル時ニ、ヤハリ司法部トシテハ相當活躍スルノガ本當ト思ヒマス、先ツ東條大將ヲ調べガ進ンデ居ルカト云フコトト、重光サシガ二千萬圓賈ツタト云フコトガ新聞ニ責任アル人カラ公表サレタ以上ハ、之ニ對シテ司法部ハドウ云フ態度ヲ執ルカ、私ハ個人ヲ憎ムニ非ズシテ、司法部ハ斷乎タル態度ヲ人ニ依ラズシテ執ルンダト云フコトヲハツキリシタコトヲ伺ヒタイ

○岩田國務大臣 只今御尋ネノ東條大將ニ關スル點ハ、此ノ方ハ相當ニ調査シテ居リマス、重光前外務大臣ニ關スル點ハ、是ハ私モ何カサウ云フヤウナコトヲ見タヤウナ氣ヲ致シマスガ、實ハハツキリ其ノ新聞ヲ見テ居リマセヌ、若シ何等カ左様ナ相當ノ疑ノ容ルベキ材料ガアリマスナラバ、是ハ是カラ調査致スノデアリマスガ、今マデハマダ調査ニ着手スル程ノ材料ヲ得知シテ居リマセヌ

○濱野(徹)委員 是ハハツキリ申シテ置キマス、大阪新聞ニ載ツテ居ルノデスカラ、大阪ノ檢察局ニ御紹介ニナツテ、ソレコソ檢察局ガ活躍サレルノガ裁判ノ公正、社會的國家的地位ノ如何ヲ問ハナイノダト云フコトヲハツキリ示ス爲ニ必要ナコトデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ憲法上ノ點ニ付テ總理大臣ニ伺ヒタイ、先般憲法裁判部ガ、新聞ノ言論ノ自由ト云フコトヲ保障スルニ付キマシテ、斯ウ云フコトヲ通達ガ

アツタト云フコトデス、新聞紙法ニ依ル新聞人ノ責任ヲ追究スル時ニハ、逮捕審問タルト罰金ノ言渡シタルト問ハズ、先ツ聯合軍司令部ノ許可ヲ受クベシト云フ通達ガアツタト云フコトヲ承リマシタ、ソコデ私ハ此ノ點慎重ニ態度デ伺ヒマス、日本ノ裁判ハ先ツ世界ニ公平ヲ誇ル所ノ第一ノモノデアアル、日本ノ裁判デハ、外國人デモ是デハ實ニ立派ナモノデアルト云フ定評ガアツテ洵ニ嬉シイ、ソレハナゼカト云フト、日本ノ裁判ハ、天皇ノ御名ニ於テ法律ヲ適用シテ裁判スルコトガ憲法ニ決メラレテ居リマシテ、上ヲ見ナイ、下ヲ見ナイ、獨自ノ立場デ立派ナ裁判ヲスル、唯適用スルモノハ法律デアアル、此ノ時ニ新聞紙法ニ依ル所ノ新聞人ノ處罰デアリマスルケレドモ、憲法ニ定メラレテ居リマスル「日本臣民ハ法律ニ依ルニ非ズシテ逮捕、監禁、審問、處罰ヲ受クルコトナシ」二十四條「日本臣民ハ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ得ハル、コトナシ」五十七條「司法權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フ」ノ場合ニ世界デ第一ニ明ルイ立派ナ裁判ヲスルト云フ定評ガアル日本ノ裁判所ガ、判事ガ獨立ノ地位ヲ保障サレ、適用スルモノガ日本ノ法律デアルト云フ時ニ當ツテ、假令新聞紙法ノ一部分デケニシテモ、ヤハリ聯合軍司令部ノ許可ヲ受ケテ逮捕シ、許可ヲ受ケテ裁判シ、許可ヲ受ケテ罰金幾ラト云フコトヲ定メナケレバナラスト云フ時ニ、是ハ至主命令デアリマセウカラ、裁判官ノ苦心ヲ私ハ諒トスルガ、憲法上之ヲドウ解釋スベキモノデアリマセウカ、法律ト解シテ至上ノ命令ナリト

致シマスカ、私ハ此ノ點ヲ伺ツタ上ニ、之ノ對策ヲ持ツテ居リマスカラ、後デ伺ヒマスガ、一體此ノ命令ハ至上ノ命令デアルト云フコトヲ私ハ知ツテ居リマス、知ツテ居リマスガ、之ヲドウ解釋スルカ、憲法上ノ御解釋ヲ承リタイ

○幣原國務大臣 裁判所ガ法律ヲ適用シテ裁判ヲ致シマス時ニ、聯合軍司令部ト諒解ヲ取ツテ來ナケレバナラスト云フコトハ絕對ニアリマセヌ

○濱野(徹)委員 自分ハ司令部ノコトヲ考ヘテ居リマスカラ、何遍モ見タ、聞金ト云フ文字ヲ使ツテ許可ヲ受ケルノソレハ間違アリマセマカ、私ハ今新聞ノ記載ヲ持ツテ居リマセマカ、レドモ、何遍トナシニ見タ、アレハ天皇陛下下ガ「マッカーサー」元帥ヲ御訪問遊バサレテ記事ニ對シテ、內務省ガ之ヲ發禁シタ時ニ、其ノ翌日サウ云フ指令ガ出テ居リマス、司法大臣ドウデス、私ハ明日デモ材料ヲ以テ追リマシマス

○岩田國務大臣 御質問ノ事項ガハツキリシマセヌガ、新聞ヲ發行停止ヲシタ當時ニ、發行停止ガ不都合ダト云フ意味ノコトガ來タト云フコトハ聞イテ居リマスガ、處罰スルノニ罰金ヲ課スルト云フコトニ付イテ、ソレニ對シテ何等カノ指令ガ來タト云フコトハナイト思ヒマス

○濱野(徹)委員 是ハ今御即答ガ中々難カシイダラウト思ヒマス、私ハ之ヲ保留シテ明日新聞ヲ持ツテ來マシテ、間違ヒデアレバ是ハ日本ノ司法權ノ爲ニ喜ブノデス、何モ私ハ強イテコジツケスルノデハナイ、若シサウ云フコトガアツタナラバ、處罰スルニ當リマ

シテハハドウシテモ其ノ通りシナケ
レバナラス、非常ニ裁判官ノ地位ガ苦
シ、日本ノ裁判ノ神聖ヲ保ツ爲ニハ、
是ハ議會ニ於ケル行動ハ議會人ノ自治
ニ任スヤウニ、新聞ト云フ方面ノ法律
ヲ一ツ除ケテシマフカ、新聞紙法ト云
フモノヲ大體犯罪ト云フ建前カラ除イ
テシマツテ、裁判所ノ世話ニナラナイ
ト云フノガ一ツノ見解、第一ニ新聞人
ノ間ニ委員會ヲ作ルト云フヤウニシ
テ、議會内ノ行動ニ對シテハ自治ニ任
ジテ、議會人自ラ懲罰ノ方法ニ依ツテ議院
ノ自治性ヲ保ツコトガ、一面日本人ノ
裁判官ニ對スル信頼感ヲ強クスルト共
ニ、新聞ノ自主性ヲ強ク高調スルトガ
宜イノデハナイカト云フ自信ヲ持ツテ
居ル、ソレ程マデニ私ガ自信ヲ持ツテ居
ルノデ、亦或ニ當シク質問シテ居ル
ノデスカ、ドウモ御分リニナラナイヤ
ウデアリマス、資料ヲ明日持ツテ來テ
質問致シタイと思ヒマスノデ、本日ハ
此ノ問題ダケハ保留シテ置キマス

次ニ私ハ民主政治ト官僚ノ行政ト云
フコトニ付伺ヒタイ、蓋シ憲法ノ動
向ト、サウシテ司法部ノ民主化ト行政
ノ民主化ト云フコトデ、凡ソノ論點ガ
終ルト思フノデアリマス、今日ノ官僚
ト云フモノガ如何ナル狀態デアるかト
云フコトヲ一言ニシテ言フナラバ、日
本ノ官僚ハ悉ク「サボ」デス、意業デ
ス、復興事業ガ進マナイト小林サンガ
一生懸命ニナツテ御心配ニナツテ居ル
ガ、是ハ駄目デス、アナタガ命令サレ
ル所ノ地方廳ニ行ツテ御覽ナサイ、ス
ツカリ晝寝シテ居ル、其ノ晝寝シテ居
ルノニハ同情スベキ理由ガアリマス、
ソレハ先ツ全國ノ官僚ト云フモノ、特
ニ復興事業ニ努力スルノハ地方廳デス、

府縣廳デス、所ガ府縣知事ノ公選ス
ルト云フ態度ヲバ内務省ガ發表シマ
シタ、是ハ私達主義トシテ贊成デス、
公選スルト云フコトニナルト、來年
ノ三月カ四月ニ決マツテ居ル、サ
ウスルト縣廳ノ役人ハドウナリマス
カ、今ノ縣知事ガ公選ニナルト云フ心
配ハ絕對ニアリマセス、是ハ憾デス、
ソレカラ警察部長モ、經濟部長モ、内政
部長モ知事ニ再ビナリツコナイ、知
事ニナツテ辭メレバ、其ノ邊ノ會社ノ
社長位ニハ拾ツテ與レルケレドモ、内
政部長、經濟部長辭メテシマツタノ
デハ拾ツテ與レル人ハナイ、サウスレ
バ何ノ目的モナケレバ樂ミモナイカ、
マアノ、ト云フ態度ニナリマス、モウ
一ツハ總理大臣ガ度々内閣ノ方針トシ
テ言ハレテ居リマスガ、行政整理、官
廳機構ノ改正ト相俟ツテ、今日ノ三十
萬ノ官吏ヲ巴戰前ノ十三萬七千人ニシ
テシマノト云フコトハ、ドウ云フ心理
狀態ヲ起スカ、何時僞ノ首ガナクナル
カ、モウ知事ニナルト云フコトハ每ハ
レテシマツタ、モウ三月ニナツタ五
人ノ中三人マデ減ニナル、右ヲ見、左
ヲ見テサボツテシマツト云フコトハ、
人情カラ見レバ或ハ同情スベキ所ガア
リマス、サウ云フ方面ニ對シテ官吏ノ
奮起ヲ望ムヤウナ工合ニ、何等カ活ヲ
入ラレルヤウナ方法ヲ講ジテ貰ハナケ
レバ、容易ナラヌ狀態デアル

ソレカラ此ノ點ニ關シテ總理大臣ノ
御答辯ヲバモウ一ツノ問題ト一緒ニ伺
ヒマスガ、此ノ官僚ガ非常ナ優越感ヲ
抱イテ、官僚橫暴ナドト言ハレル基礎
ガ何處ニアルカト云フト、法律ノ立
場カラ見ルト、茲ニ官僚共ガ威張ル一
ツノ法律ガアル、世間デハ之ヲ一向知

リマセス、明治二十三年ノ命令ノ條項違
犯ニ關スル罰則ノ件ト云フ薄ッペラ
ナ法律ガアル、世間ノ人ハ明治二十三
年ノ罰則ノ件デスカラ、六法全書ノ罰
ツコニ載ツテ居ルガ爲ニチツトモ氣
ガ付カナイ、是ガ恐シイノデス、即チ
命令ノ條項タルト、勅令タルト、閣令
タルト、省令タルト、縣令タルト、府
令タルトヲ問ハズ命令ノ條項ニ違犯
スル者ハ各其ノ命令ニ規定スル所ニ從
ヒ、二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁
錮ニ處スルト云フ法律ガアル、ソコデ閣
令タルト、下ツテハ府縣令タルトヲ問
ハズ、苟クモ定メタルコトニ對シテ違
犯シタ者ハ一年以下ノ禁錮、罰金二百
圓以下ト云フコト決メタルト云フ、茲ニ
法律ガアル、法律デハナイ、昔ノ古イ
明治二十三年デスカラ勅令ニタイナモ
ノデスカ、此ノ勅令ガ官僚ヲシテ人民
ニ優越感ヲ持ツテ臨マシメル因ニナ
ル、之ヲ除ツテシマハスト、イツデモ
府縣令ヲ出ス、サウシテ引括ル、是ハ
近頃ハ中央ノ報告スルコトモナイガ、元
ハ斯ウ云フ令ガ出タ時ニハ、一々中央
ニ相談スルコトニナツテ居ツタ、此ノ
頃デハ府縣令デ、知事タケテ勝手ニ斯
ウ云フ罰則ヲ附ケテ府縣令ヲ出ス、是
ガ官僚ノ奥ノ手ナンデス、ソコデ之ヲ
廢止スルコトガ、官僚共ヲシテ國民ニ
奉仕サセルノダト云フ頭ノ入替ニ絕對
必要ナンデス、刀ヲヤツテ置イテ、オ
前拔クナヨ、刀ヲヤツテ置イテ氣ヲ荒
立テルナヨ、是ハ無理デ、丸腰ニサセ
ナイデ之ヲヤルコトハ間違ヒナンデ
ス、アナタ方ハ之ヲ廢止シテシマフダ
ケノ勇氣ヲ持タヌカ、ハツキリト伺ヒ
マス

○幣原國務大臣 官吏ガ一般ノ國民ニ
對シテ優越權ヲ持ツト云フノハ、法律
ガ勅令ノ其ノ結果デアリマセス、時
代ガ既ニ段々違ツテ來テ居リマシテ、
今日デハワシナコトハナイと思フ、法
律デ何カ罰則ガアルカラ、ソレデ威張
リ出シテ國民ニ對シテ亂暴ナコトヲヤ
ル、私ハサウ云フ事實ガアリトハ思
ヒマセスケレドモ、其ノ法律ヲ改廢シ
ナケレバナラスカト云フ問題デアリマ
スルナラバ、能ク考ヘテ見ヨウト思ヒ
マス

○濱野徹委員 私ハ今更官係ガ優越
感ヲ持ツテ居ツタト云フコトヲ申上ゲ
テ、ソレガ全原因デアルトハ決シテ申
シテ居リマセス

次ニ行政ト云フ方面ニ付テ、自治行
政ト云フ一面モアリマスガ、此ノ點ニ
付キマシテ今日ノ復興ト云フコトヲ照
シ合ハシテ御考ヘテ願ヒタイと思ヒマ
ス、今日ノ政府ノ仕事ト云フモノノサ
ボリ方ハアノ通りデアリマシテ、復興
事業ノ進マスト云フコトモ一ツハサウ
云フ所ニ大キナ原因ガアリマス、東京
都制ト云フモノガ布カレマシテ、都廳
ハ官吏ヲ以テスルコトニナツテ居リマ
スガ、都廳ガ出來テカラト云フモノ東
京都政ハドウ云フ方面ニ進ンデ居ル
カ、先ツ戰時中ニ於テ防空對策ナドニ
於テ大イニ缺クル所ガアツタ、終戰後
ニ於キマシテモ、此ノ羅災者ヲ援ケル
點ニ於テ、一向ドウモ都廳制ヲ官吏ニ
シタト云フ效果ガ現ハレテ居リマセ
ス、更ニ從來特別市制ト云フ運動ガア
リマシタガ、今マデノ特別市制ハ二重
監督ヲ廢止シテ吳レト云フ建前カラデ
ゴザイマシタガ、國家百年ノ大計ヲ定
メマス復興ト云フコトニ對シテハ、實
ニ急ヲ要スルモノデアルガ、一々府縣

廳ノ知事ノ許可ヲ取ルト云フコトデハ
手間ガ掛リマスカラ、五大都市即チ大
阪、京都、橫濱、神戸、名古屋ト云ツ
タヤウナ都市ニハ、知事ニ一重ノ監督
權ヲ附與スルコトヲ止メマシテ、市長
ガ府縣知事ト同様ナル立場ニ立ツテ、
復興事業ノ促進ニ資スルヤウナ
權限ヲ與ヘルコトガ必要デアリ
マス、ノミナラズ民主主義ノ政
治ノ徹底化ト云フコトハ、ヤハリ
自治體ニ十分ナル自主權ヲ與ヘルト云
フコトモ、其ノ動キノ一ツデアラウト
存ジマス、此ノ自治體ヲ尊重シテ、自
治體ニ十分ナル自主權ヲ與ヘルト云フ
コトニ付テ、サウシテ當面ノ復興ニ資
スルト云フコトニ付テ、總理大臣ト小
林國務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒ
マス

○幣原國務大臣 復興ノ事業ガ我々ノ
期待シテ居ツタヤウニ速カナル進行ヲ
シナイト云フコトハ、是ハ我々ガ色々
心ヲ痛メテ居ル點デアリマスケレド
モ、是ニハ又色々ノ事情ガアルノデア
リマス、決シテ官吏ガ意業ヲシタト云
フコトダケガ原因デアリマセス、併
シナガラサウ云フ官吏ノ意業ナント云
フ形跡ガアリマスナラバ、是ハ容易ナ
ラヌコトデアリマスカラ、其ノ點ハ官
紀ノ振肅ト云フコトニ十分努メル決心
デアリマス

○小林國務大臣 私ハ百十幾ツカノ地
方ノ大中市ノ復興ハ、其ノ都市ノ市
長、或ハ有力者ノ自治體ニ依ツテ進
デ行クコトガ一番早イ、又ソレヲヤル
爲ニハ最近八日ノ日ニ、知事、各地方
ノ市長サンノ御集リノ機會ニ、此ノ事
ヲハツキリ御願ヒシタイト考ヘテ居ル
次第デアリマス、御同感デアリマス

○濱野(徹)委員 最近復興ニ關シテ五大都市ノ市會並ニ市長ノ動キハ、自治ト云フ建前カラ、復興促進ノ建前カラ盛シニ機運ガ強クナツテ來テ居リマス、政府ニ於テモ此ノ點ニ付十分ナル好意アル御考慮ヲ願フテ置キマス、最後ニ私ハ民主主義ト云フコトニ付キマシテ政府ノ根本ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、總理大臣ノ御説明ニ依リマスルト、民主政治ト云フコトハ民意ヲ政治ニ反映スルコトデアルト御話ニナツテ居リマスルシ、私達モ左様ニ考ヘルノデアリマスルガ、其ノ根本義ハドコニアアルカト云ヒマスレバ、國民ガ良心ニ省ミテ自分ノ創意ヲ働カスト云フコトデアリ、ソレハ他人ノ人格ヲモ齊シク尊敬スルコト云フコトデアリ、斯クシテソレガ他ニ對スル奉仕トナツテ現ハレル所ニ、民主政治ノ根本義ガアルト思フノデス、是ガ政治ノ方面ニ現ハレテ來タ時ニ、民主政治ト稱スベキモノデアラウト思ヒマスガ、最近人心ノ動向ヲ見マスルト、終戰後ニ於テ民主主義トハ勝手ニ行フコトダ、自分ノ專制、自己ニ對スル謙抑ノ心ナクシテ、徒ラニ權威橫行ノヤウナ傾キガアルト云フコトハ、私ハ非常ニ残念ニ思フノデアリマス、例ヘバ今同提出サレマシタ政府ノ選舉法ノ如キモ、婦人ノ權限ヲ擴張スルコトカ、選舉年齡ヲ低下シタト云フヤウナコトハ形ノ上デアリマシテ、是ハ政治面ニ於ケル國民ノ責任ト云フコトヲ十分ニ自覺サセ、自主自立ノ權利ガ確テハ責任ヲ伴フモノデアルト云フコトヲ、十分ニ徹底サセル必要ガアルト思フ、獎勵組合法ノ如キモ、資本金ニ對スル態度ノミニアラズシテ、全ク産業經營ニ參加スル所

ノ組合員ノ重大ナル責任感ト云フコトニ付テ、ヤハリ大イニ考ヘルベキ必要ガアル、農地調整法ノ如キモ同様ナル立場カラノ三大政策ガアルト私ハ思フ、是等ニ對スル責任ト云フモノハ、結局ハ我々ガ自分ノ良心ニ省ミ、其ノ創造能力ヲ活用スルコトニ依ツテ、他人ノ人格ヲ御互ヒニ尊重シ、サウシテ社會奉仕トナツテ責任ヲ果スコトデアラウト思ヒマス、此ノ根本義ニ付テ十分ニ宣傳ト云ヒマスガ、ソナナ言葉デイケナケレバ、啓蒙ト云ヒマスガ、其ノ必要ガアルト考ヘル、而モ其ノ啓蒙ト云フモノハ從來アツタヤウナ、オ上カラノオ説教、戰時中ノ政府ノ御訓示ノヤウナモノデナクシテ、國民ノ胸臆ニ潛ニスル所ノモノニ好リヲ點ケルノ必要ガアリト考ヘマスルガ、此ノ點、文部大臣ガ居ラレルナラバ、或ハ公民教育ノ全部デナイカト思ヒマスガ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○前日國務大臣 只今ノ御説ニ對シマシテハ、全ク同感デゼザイマス、サウ云フヤウナ趣旨ヲ以チマシテ、本會議場デモ申上ゲタト思ヒマスルガ、近ク公民啓蒙教育ト云フヤウナコトヲ致シマス場合ニハ、サウ云フ趣旨ヲ十分ニ採入レタイト思ヒマス、殊ニ政府ハ機會アル毎ニ、自由ト云フモノハ責任ノ觀念デ裏付ケラレナケレバナラナイ、是ハ隨カ總理大臣ノ今度ノ演説ニモアツタト思ヒマスガ、サウ云フ思想ヲ一貫シテ生カシタイト考ヘテ居リマス

○中島委員長 鈴木正吾君

○鈴木(正)委員 先づ總理大臣ニ今次ノ戰爭ノ責任ガ、天皇ニ在リ信ゼラレルカ、ナシト信ジテ輔弼ノ重任ニ

當ツテ居ラレルカ、總理大臣ノ信念ヲ問ヒタイノデアリマス、帝國憲法ニハ「天皇ハ神聖ニシテ侵スベカラズ」ト明記セラレテ居リマス、責任ヲ追究セラレルヤウナ存在ハ神聖トハ稱シ難イ、天皇ハ一切ノ政治的責任ヲ超越シ給フガ故ニ神聖ト云フノデアリマス、而モ天皇ガ一切ノ政治的責任ヲ超越シ給フ爲ニハ、天皇輔弼ノ重任ニ當ル總理以下ノ國務大臣ガ、天皇ニ代ツテ一切ノ責任ヲ負ハネバナラヌ管デアリマス、カルガ故ニ輔弼ノ責任ニ任ズル者ハ、時アリテハ、天皇ノ御心ヲ輔弼ノ責任ヲ盡ス場合モアルシ、時アリテハ大御心ヲ抑止シ奉ツテ、眞ノ輔弼ノ責任ヲ全ウスル所以ナリト信ズルヤウナ場合モアリ得ル管デ思ヒマス、例ヘバ、天皇ノ戰爭ヲ欲シ給フト雖モ、國家ノ爲ニ其ノ際戰ハザルコトノ至當ナリト信ジタ場合ニハ、大御心ニ反シテ全ウスル所以デアルト私ハ思ヒマス、之ヲ、天皇様ノ御心ヲ抑止シ、假令大御心ニ副ハズトモ、輔弼ノ責任ニ任ズル政府當局者ガ宣戰ノ詔勅ノ宣布ヲ其ノ責任ニ於テ妥當ニシタル場合ニ於テハ、民ノ心ヲ以テ中心トスル我々皇室ノ御傳統ニ基イテ、之ヲ御許シ遊バサレルコトモアリ得ルノデアリマス、去ル八十八議會ニ於ケル東久邇宮總理大臣ノ御演説ニ依リマス、天皇ハ此ノ戰爭ハ好ミ給ハナカツタ、少クトモ此ノ戰爭ハ大御心ニ適ツタ戰爭デハナカツタト云フ十分ノ示唆ガ與ハラレタヤウニ思フノデアリマス、即チ「天皇陛下ニ於カセラレマシテハ、大東亞戰爭勃發前、我が國方と戰フ決スベキ重大ナル御前會議ガ開カレマシタ時ニ」――

此ノ時ガ何時デアアルカト云フコトモ承リタイ、外國ノ電報ニ依レバ、既ニ七月ニ戰爭ノコトガ決セラレタト云フヤウナ報道モアリマスガ、一體日本ガ戰爭ヲヤルト吐テ決メタ最後ノ御前會議ナルモノハ何時開カレタノデアアルカト云フコトハ、重大ナ問題ダト思フノデアリマス、其ノ御前會議ニ於テ「世界ノ大國タル我が國ト米英トガ戰端ヲ開クガ如キコトナリマシタナラバ、世界人類ノ蒙ルベキ破壞ト混亂ハ測ルベカラザルモノガアリ、世界人類ノ不幸ニ過グルコトナキコトヲ痛ク御軫念アラセラレシテ、御自ラ 明治天皇ノ「ヨモノ海ミナハラカラト」思フ世ニナト波風ノナチサワクラム」トノ御製ヲ高ラカニ御詠ミ遊バサレ、如何ニシテモ我が國ト米英兩國トノ間ニ端マル誤解ヲ一掃シ、戰爭ノ危機ヲ克服シテ、世界人類ノ平和ヲ維持セラレバコトヲ冀ハレ、政府ニ對シ、右方手段ヲ盡シテ交渉ヲ満ニ觀メルヤウニトノ御訓ヲ給ハリ、參列ノ諸員一同、宏大無邊ノ大御心ニ肅然トシテ「正シタト云フコトヲ漏レ承ツテ居リマス」苟クモ總理大臣ノ宮様ガ施政方針ノ演説ノ中デ此ノコトヲ御述べニナツタノデアツテ、之ニ依ツテ見マスト、和戰ヲ決スベキ重大ナ御前會議ニ於テ、尙ホ交渉ヲ圓滿ニ觀メルヤウニトノ御訓ヲ給ハツタト云フノデアリマス、之ニ由ツテ之ヲ觀ルニ、今回ノ戰爭ニ於テ宣戰ノ御詔勅ハ東條總理大臣ガ輔弼ノ責任ニ於テ之ヲ奏請シ、天皇ハ民ノ心ヲ以テ中心トスル大御心ニ依ツテ之ヲ許容シ給ハツタト解スベキデアラウト信ズルノデアリマス、日本ニ於ケル輔弼ノ責任ノ範圍ト性格ヲ明

確ニスルコトハ、憲法改正ノ上ニモ重大ナル示唆ヲ與ヘルモノト私ハ信ジマス、天皇ノ責任ガ内カラデモ外カラデモ追究セラレルヤウナコトニナレバ、最早天皇ノ神聖ト云フコトハ保タレル道理ハナイノデアリマスカラ、此點ニ付テ總理大臣ハ無論今度ノ戰爭ニ於テ天皇ノ責任ナシト 信ゼラレテ居ル管デアアル、我々ハ切々ソレヲ思フ、今日國民ノ間ニ、天皇ニ對スル氣持ガ動イテ居ナイト云フコトハ、總理大臣ノ先程御述べニナツタ通りデアリマス、天下ノ人心ハカルガ故ニ一層心配シテ居ル、此ノ頃ノ新聞ヲ見ルト、聯合軍ハ頻リニ、天皇ノ責任ヲ追究スルガ如ク感ゼラレルヤウナ風デアリマス、日本ノ政府カラハ何等其ノ事ニ付テ國民ヲ安ゼシムルヤウナ態度ノ聲明モアリマセス、私ハ此ノ際總理大臣ガ我々ト同様ニ、此ノ戰爭ニ於テ天皇ニ責任ハナイノダト云フ信念ヲ以テ輔弼ノ重任ニ當ラレテ居ルヤ否ヤ、若シサウ云フ信念ヲ以テ當ツテ居ルトセラル、ナラバ、其ノ責任ナシト云フ理論ノ根據ヲ明白ニ御示願ヒタイト思ヒマス

○幣原國務大臣 御答ヘテ致シマス、天皇ノ統治上ノ御行動ニ付キマシテハ、之ヲ輔弼スル國務大臣ガ一切ノ責任ヲ負フモノト考ヘテ居リマス、天皇陛下ニ御責任ガアルベキ譯ハ絕對ニアリマセス、先年此ノ開戰ノコトガ決セラレタル御前會議ハ何時ノコトデアツタカ、何時ガ決セラレタカ、其ノ裏面ノ消息ニ付キマシテハ私ハ承ツテ居リマセス、ソレ故ニ御答ヘスルトガ出來マセス

○鈴木(正)委員 此ノ開戰ノコトヲ御

決シニナツタ御前會議ノ期日ト云フコトハ、重大問題デアラウト思ヒマス、故ニ只今御存ジガナイト云フナラバ、無論總々譯ニモ行キマセスケレドモ、當然政府トシテハ之ヲ國民ノ前ニ明カニセラル、責任ガアルト思ヒマスカラ、適當ノ機會ニ之ヲ御明確ニセラレルコトヲ希望スル

ソレカラ只今ノ御言明ニ依ツテ、政府ハ此ノ戰爭ニ於テ、天皇ニハ責任ナシト云フ信念ヲ吐露セラレテ居ルヤウデ、リマス、當然ノコトデアリマスガ、果シテ然ラバ此ノ内閣ハ成立以來「マッカーサー」司令部トノ折衝ニ於テ、或ハ聯合各國トノ折衝ニ於テ、申シテ宜イカドウカ分リマセマス、兎ニ角日本ノ、天皇ニハ責任ナシト云フ見地ニ於テ努力セラレナケレバナラナカツタ管デ、リマス、其ノ努力ヲセラレテ居ルデアラウトハ思ヒマスケレドモ、寡聞ニシテ我々ハ、政府當局ガサウ云フ意味ニ於テノ努力ヲ拂ツタト云フコトヲ何等今マデ承知シテ居ナイ、ソレガ甚ダ不滿ナノデ、リマス、其ノ點ニ付テ政府ハ唯此ノ信念ヲ抱イタダケデ默ツテ居ルノカ、或ハ、天皇ニ責任ナシト云フコトヲ列國ニ諒解セシムル如キ十分ナル努力ヲシテ居ルカドウカ、ソレヲハツキリ承リタイト思ヒマス

○幣原國務大臣 天皇ノ御責任ニ付キマシテ、聯合軍司令部ヨリ何等私ハ話ヲ聞イタコトハアリマセス、左様ナ議論ハ致シタコトハアリマセス、ソレ故ニコチカラ進シテ、天皇ニ御責任ガアルトカナイトカ、斯ウ云フヤウナ事實ガアルンダト云フコトヲ、私ハ言フベキ必要ハナイト思ヒマス

○鈴木(正)委員 能ク分リマシタ、其ノ點ニ付テ、我々ハ何カ責任ヲ追及セラレ居ルガ如キ不安ヲ感ジテ居ル、ソレガナイト云フコトガ分ルコトモ、此ノ際ニ於テ非常ニ大事ナコトデアリマシテ、言明ヲ得タコトハ私ノ大層満足スル所デ、リマス

次ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、軍閣トハ何ゾヤト云フコトニ付テ明カニシテ欲シイト思フノデアリマス、明治時代ニモ薩ノ海軍、長ノ陸軍ト云フヤウナ軍閣ト云フ考ヘ方ガナイデハアリマセヌデシタケレドモ、其ノ當時ノ軍閣ト云フモノハ、勿論薩摩ノ人間ハ薩摩ノ人間ヲ引張ツテ海軍ノ有爲ナ人物ヲ作ル、長州ハ長州ノ緣故ヲ迎ツテ、之ニ一種ノ便宜ヲ與ヘルト云フヤウナ意味デノ閣デアリマシテ、未ダソノ政治的勢力ヲ以テ外國ヲ侵略セントスルガ如キ意圖ヲ藏シタ軍閣ト云フモノハ、明治時代ニハ少クモ存在シナカツタト私ハ信ズルノデアリマス、ソコデ日本ニ今外國人ガ見テ居ルガ如キ軍閣ト云フモノガ發生シタノハ、少クモ明治ノ終リ以後ノ位ノ時カ知ラスケレドモ、是ガ日本ニ發達シタ經路ト其ノ實體ヲ掴ムコトガ、私ハ日本ノ將來國ヲ建テル上ニ於テ大事ナ問題ダト思ヒマス、例ヘバ私ハ日清、日露ノ戰爭ハ斷ジテ軍閣ノ企テタ侵略ノ戰爭デハナイト信ジテ居ル、若シ軍閣ノ企テタ侵略戰爭アリトスレバ、是ハ日本ノ主觀カラ言ヘバ尙ホ特色言フコトガアルカ知レスケレドモ、外國ノ眼カラ見ルト、侵略戰爭ト稱スベキ戰爭アリトスレバ、ソレハ少クモ滿洲事變以後ノ戰爭デアラウト私ハ思ツテ居リマス、ソコデ日清、日露ノ

戰爭ハ斷ジテ侵略ノ戰爭デハナイ、其ノ戰爭ノ結果得タル臺灣ト樺太ハ、是ハ日本ニ取ツテハ侵略戰爭ノ結果得タル收得デハナイノデアル、我々ハ「ボツダム」宣言ヲ無條件テ受容レマシタ以上ハ、今ソレヲ彼此レト言ハヌケレドモ、日本ガ正當ノ國家トシテ立上ケル時ニ於テ、此ノ主張ダケハ飽クマデ保留シテ置ク必要ガアルト私ハ確信シテ居リマス、朝鮮ヲ日本ニ併合セラレタコトモ侵略戰爭ノ結果トシテ得タ譯デハナイ、朝鮮ヲ獨立サセルカドウカト云フコトハ別問題デアリマス、日本ガ今度ノ戰爭ニ於テ毎ハテ領土ヲ、軍國主義ノ戰爭ノ結果トシテ之ヲ處斷セラル、ト云フコトニ付テハ、我々ハ國民トシテ斷ジテ承知シ難キモノガアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ總理大臣ハドウ御考ヘニナルカ、是ハ日本ノ軍閣ノ發達ガ何時カラ出來テ來テ、サウシテドウ云フ經路ヲ迎ツテ來タカト云フコトガハツキリ證明セラレルコトニ依ツテ、私ハ十分世界ヲ納得セシムルコトガ出來ルト信ジマスガ故ニ、先ヅ日本ノ軍閣トハ何ゾヤト云フコトヲハツキリシテ貰ヒタイ、此ノ軍閣ト云フ總稱ノ爲ニ、善良ナル軍人ガ如何ニ多クノ迷惑ヲ蒙ツテ居ルカト云フコトハ想像以上ノモノガアルノデアリマス、今政府ハ即座ニ御答辯ガ出ヌ兼ル問題カモ知レスト思ヒマス、レドモ、其ノ軍閣ノ發生過程ト、其ノ具體的ノ實體ヲ速カニ調査研究セラレテ、國民ノ前ニ是ガ軍閣ナンダ、日本ノ軍閣ノ政治的侵略ハ此ノ時カラ始ツタノダト、斯ウ云フ風ニ御説明ニナルコトガ日本ノ平和愛好國家デアルト云フコトヲ世界ニ開明スル上ニ於テモ大事ナコトデア

ト存ジマスノデ、此ノ點ニ對スル總理大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○幣原國務大臣 軍閣ト云フコトハ何ゾ意味スルカト云フ御問ヒデアリマス、ソレハ其ノ言葉ヲ用ヒル人々ニ依リマシテ、意味ガ違ツテ居ルノデゴザイマス、一定セル定義ガアルトハ私ハ存ジマセス、又其ノ何レノ意味ニ於キマシテモ、日清、日露ノ戰役ガ軍閣主義ノ結果デアル、侵略主義ノ結果デアルト云フヤウナコトハ絕對ニナカツタノデアリマス、ソレハ日本ノミナラズ西洋各國到ル處、世界一般ニソレヲ認メテ居ツタト私ハ考ヘテ居ル、サウ云フ意味ニ於テ侵略主義、軍閣主義デアルトカ軍國主義ト云フモノハナカツタノデアリマス、今同、大東亞戰爭ガ軍閣主義ノ結果デアツタカドウカト云フコトハ、其ノ戰爭及ビ戰ニ敗レタ原因及ビ償金ニ付テ調査委員會ヲ開イテ、只今總テノ角度カラ調査致シテ居ルノデアリマス、此ノ事業ガ完成致シマスレバ、其ノ邊ノ消息ハ判明シテ來ルダラウト考ヘテ居リマス

○鈴木(正)委員 只今總理大臣ノ御話ヲ聽イテ居ルト、軍閣ト云フコトニハ一定ノ定義ハナインノダ、考ヘル人ニ依ツテ色々意味ハ違フト仰シヤツタガ、私ハソレガドウモ解セヌト思フ、日本ノ軍閣ト今日言ハレルモノハ、政治ニ干與シテ、日本ヲ侵略主義ノ國ト世界ヲシテ誤ラシメタ行動ヲ執ツタノガ軍閣デアツテ、此ノ解釋ハ一定シテ居ルベキ管ダト私ハ信ジテ居リマス、又只今總理大臣ハ日清戰爭、日露戰爭ハ侵略戰爭デハナイノダト云フコトハ世界各國ガ認メテ居ル、斯ウ仰シヤツタ、ソレナラ私ハ大層結構ダト思ヒマス、

或ハ私ノ誤解カモ知レスケレドモ、「カイロ」會議ニ於テ日本ヲ丸裸ニシヨウトシタ此ノ宣言ノ内容ハ、臺灣、朝鮮、樺太ハ日本ノ侵略主義戰爭ノ結果トシテ獲得シタノデアアルガ故ニ、之ヲ舊態ニ復スルト云フ精神ニ於テ論ゼラレテ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ私ノ誤解デ、リマセウカ、或ハ世界ガ臺灣、朝鮮、樺太ヲ日本カラ引離シタ理由ハ、侵略戰爭ト云フ以外ニ、此ノ戰爭ヲ捲キ起シタ詰リ賠償トカ、懲罰トカ云フ意味ニ於テ取上ゲテ居ルノデ、ルカ、詰リ臺灣ヲ日本ガ失ヒ朝鮮ヲ失ヒ、樺太ヲ失ツタノハ如何ナル理由デ失ツテ居ルカト云フコトモ、此ノ際ハツキリ述ベテ戴キタイト思フノデアリマス

○幣原國務大臣 日清戰爭、日露戰爭ニ付キマシテハ、私ハ實ハ其ノ當時既ニ成人致シテ居ツタノデアリマシテ、實際ノ事情ハ私ハ知ツテ居ルノデアリマス、外務省ニ於テ既ニ餉イテ居ツタノデアリマス、隨テ其ノ當時世界ノ輿論ハ、翕然トシテ日本ニ同情ヲ持ツテ居ツタ、是ハ明瞭ナル事實デアリマス、私ハ左様ニ解シテ居ル、私ハ其ノ當時列國ノ新聞、雜誌、言論ナドヲ注意シテ讀ンデ居リマシタケレドモ、日本ガ侵略戰爭ヲヤツタノデアルト云フ議論ハ私ハ見タコトガアリマセス、例ヘバ日露戰爭ニ於キマシテハ「フランクス」ノ如キハ「ロシヤ」ノ同盟國デ「タニ」拘ラズ、日本ノ行動ニ對シテハ諒解アル態度ヲ執ツテ居ツタノデアリマス、日本ガ外國ニ公債ヲ發行スルト云フ時ニハ、「フランクス」ノ資本家モ亦之ニ應募シテ居ツタト云フ現狀デアツタノデアリマス、私ノ考ヘル所デハ日本

ガ日清戦争、日露戦争共ニ日本ノ侵略主義ニ依ツタノデハナイト云フコトハ、其ノ當時列國ガ皆認メテ居ツタコトデアル、私ハ斯ウ信ジテ居ルノデアリマス

○鈴木(正)委員 其ノ點ニ付テハ私モサウアルベキ管ダト信ジテ居ル、日清戦争、日露戦争ハ侵略戦争デハナイノダ、其ノ侵略主義デナイ戦争ノ結果得タ日本ノ臺灣、樺太ノ領土ハ、決シテ侵略ノ結果トシテ認メラル性質ノモノデハナイ、然ルニ「カイロ」會議ノ宣言ノ内容——私が或ハ誤解シテ居ルカモ知レヌケレドモ、「カイロ」宣言ニ依レバ之ヲ日本ノ侵略ノ結果得タ果物ナリトシテ、日本ヲ負カシタ後ニ之ヲ取上ゲルト云フ風ニ「カイロ」會議デハ言ウテ居ルト私ハ思フノデアリマスガ、今回「ボツダム」宣言ハ少クモ日本カラ臺灣、朝鮮、樺太ヲ切離シタ限リニ於テハ「カイロ」會議ヲ實行シタコトニナリ、其ノ聯合軍ガ日本カラ其ノ島ヲ取上ゲタ理由ハ、侵略主義ノ戦争ノ結果トシテ取上ゲタノカ、或ハ私ノサウ解釋スルコトハ間違ヒデアルノカ、此ノ際總理大臣ノ御教ボヲ願ヒタイと思ヒマス

○幣原國務大臣 今御話ノ如ク「ボツダム」ノ宣言ハ「カイロ」宣言ト云フモノヲ認容シテ之ヲ確認致シタノデアリマス、其ノ「カイロ」宣言ナルモノハ果シテ宜イカ悪イカハ、一寸私ハ切離サナイ方ガ宜イト思フ、切離スベキ立場デナイト思フ、日本ハソレヲ鶴呑ミニシテ承認シタ以上ハ、是ハ宜イトカ悪イトカ云フコトヲ批判スベキモノデナイト私ハ思フノデアリマス、併シナガラ私ノ眼ニ映ツテ居ツタ事實ハドウ

カト御聽キニナリマスカラ、私ハ日清戦争、日露戦争ハ列國ノ輿論ハ轟然トシテ日本ニ同情シテ居ツタノデアリマス、是ガ私ノ見テ居ツタ事實デアルト云フコトヲ率直ニ申上ゲタノデアリマス

○鈴木(正)委員 是レ以上ノ御答辯ヲ求メヨウトハ思ヒマセス、唯私ハ日本人ノ一員トシテ朝鮮、臺灣、樺太ハ侵略戦争ノ結果取ツタノデハナイト云フ氣持ガ日本人ハアルゾ、而モ我々ハ「ボツダム」宣言ヲ無條件ニ受諾シタノデアリカラ、之ニ對シテハ飽クマデ忠實ニ實行スルコトヲ無論ヤラネバナラヌノデアリケレドモ、氣持ニソレヲ殘シテ持ツテ居ルノダト云フコトダケハ、茲ニ言ウテ置キタイと思フノデアリマス

次ニ總理大臣ニ承リタイノデスケレドモ、政府ニハ此ノ未曾有ノ困難ニ直面シテ、人心ヲ一新シテ一種ノ精神の革命ヲ成就スルコト云フヤウナ積リデ、此ノ際年號ヲ改メル意思ハナイカト云フコトヲ承リタイ、總理大臣ハ去月二十九日日本會議デ鳩山氏ノ質問ニ對シテ、日本ハ敗戦シテ如何ニ苦シイカハ何人モ痛感シテ居ル、是ハ子孫ニ至ルマデ忘レテナラスト言ハレマシタガ、全ク其ノ通りデナケレバナラス等ノ日本人ノ敗戦感ト云フノカ、此ノ實感ハ、マダドウモ不徹底ノヤウニ思ハレルノデアリマス、去月十五日米國賠償委員「ボーレー」大使ガ新聞記者團ニ發表シタ聲明ヲ一讀スルト、詰リ日本國民ノ生活ハ、日本ガ侵略シタ國々ノ國民以上ノ生活ハ許サスト言フ、今後ノ我が國民ノ頭上ニ振リ掛カル困難ハ如何ニ深刻デアルカ、恐ラク思ヒ半バニ過グルモノガアラウト思ヒマス、然ルニ

我が國民ノ中ニハ、マダ「斯カル敗戦ノ深刻ノ苦シサガ、本當ニハ痛感サレテ居ラナイ」ノデハナイカト疑ハレルヤウナ世相ガナイトハ言ヘスノデス、此ノ際全國國民ニ襟ヲ正シテ、嚴肅ナ敗戦ノ事實ヲ凝視セシメザルヲ得サルヤウナ嚴肅ナル精神の革命ニ當リタル何等カノ手が打タレテ宜カリサツナモノダト思フノデアリマス、國史ヲ續キマス、國家ノ慶事又ハ凶事ノ際、年號ヲ改メラレタ事實ハ、故舉ニ違ガナイと思ヒマス、明治以來一天皇、一年號トナツタガ、今次ノ敗戦ハ國史未曾有ノ國家ノ大凶事デアリマス、或ハ意味デ昭和二十年八月十五日以前ノ日本ハ、最早古代史ニ屬スルトサハ言ヒ得ルト思ヒマス、總テ日本人ガ今ヤ新シク紀元一年カラ起チ上ルノダト云フ位ノ覺悟ヲシナケレバ、日本ハ到底再建シ復活シ得ナイデアラウト思フノデアリマス、此ノ意味デ此ノ際昭和年號ヲ改メテ人心ヲ一新スル工夫ガアツテ然ルベシト存ジマスガ、總理大臣ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ

○幣原國務大臣 年號ニ關シマシテハ、皇室典範ノ中ニ規定ガアルノデアリマス、此ノ問題ハ餘程慎重ニ考慮ヲ要スルコトダト思ヒマス

○鈴木(正)委員 其ノ皇室典範ニ御規定ガアルト云フコトモ、私滿更存ゼスデハナイノデスケレドモ、若シ是ガ必要ダトスレバ、サウ云フモノヲ改メテデモ此ノ際輔弼ノ責任ニ於テ人心一新ノ途ヲ圖ラレルト云フ位ノ英斷ガ私ハ望マシイ、サウ思フノデアリマス、年號ヲ改メルト云フコトハ、私ハ日本國民ノ人心ニ一大衝動ヲ與ヘ、本當ニ紀元一年カラ起チ上ラセルト云フ氣魄ヲ持

タセル上ニ必要ナモノガアルト存ジマスノデ申上ゲタ次第デアリマスガ、今直グドウスルト云フ御返答ハ勿論出來ナイデアリマセウ、併シ詰リソレ位ノコトヲヤラナケレバ日本ハ救ハレヌグト云フ位ノ心持ヲ、私ハ總理大臣ニ諒解シテ貰ヒタイと思フノデアリマス、ソレニハ及バスト御考ヘニナルノカ、私ハモウ一度シコイヤウデスケレドモ、此ノ問題ニ付テハ總理大臣ノ意氣込ヲ一ツ承リタイと思ヒマス

○幣原國務大臣 私が申上ゲタノハ、此ノ問題ハ輕々ニ取扱フベキモノデナクテ、極メテ慎重ニ取扱フベキモノデアアル、深イ考量ヲ要スルモノデアルト云フコトヲ申上ゲタダケデアリマス

○鈴木(正)委員 何卒其ノ深イ御考慮ノ上デ、一ツ思ヒ切ツテ斷行シテ數カヤウニト御願ヒ申上ゲテ、此ノ問題ニ付テハ質問ヲ是テ終リマス

次ニ私總理大臣ニ御伺ヒシタイコトハ、總理大臣ハ現在ノ議會ヲ以テ民主主義ヲ運營スル資格アル議會ト御認メニナルヤ否ヤト云フ問題デアリマス、私ハ現在ノ議會ハ其ノ構成上、本質的ニ民主主義ノ基礎ニ立ツタルモノトハ考ヘラレナイ、本来ナラバ直チニ解散シテ、日本再建ノ諸法案ハ學ゲテ總選舉後ノ新ラシイ民意ヲ盛上ゲタ議會ニ諮ルベキデアルト思ヒマス、唯併シ現在ノ選舉法ハ、餘リニモ舊式非民主主義的デアリマスカラ、此ノ選舉法ノ儘デ選舉ヲ行ツタノデハ、到底眞ノ國民ノ總意ヲ新議會ニ結集スルコトガ不能デアアル、サウ云フ意味デ次ノ總選舉ニ於テ眞ノ民意ヲ表現シ得ラレルヤウナ選舉法ノ民主主義化ヲ實現スルコトハ、此ノ際トシテハ洵ニ已ムヲ得ザル

コトデアルト思ヒマス、隨テ我々ハ此ノ已ムヲ得ザル選舉法ノ改正ダケヲナシ遂ゲテ、直チニ總辭職ヲシテ一種ノ經濟革命法トモ見ルベキ農地調整法トカ、勞働組合法ト如キ重要法案ハ、宜シク新選舉法ニ依ツテ選バレタ新議會ニ諮ルコトガ極メテ適當ナ行方デアアラウト考ヘルノデアリマス、而モ其ノ選舉ガ來年ダ、再來年ダト云フナリ、此ノ法案ヲサウ遅ラス譯ニハ行カナイトモ考ヘラレマスガ、近々、長クテ二箇月カ二箇月半モスレバ、此ノ法案ハ直チニ成立出來ルヤウナ議會ガ作レル譯ナノデスカラ、何ヲ苦シンデソレナニ急イデ斯ウ云フ重大法案ヲ此ノ議會ニ出ス必要ガアルノカ、特ニ現在ノ議會ニ於テハ、何ト云フデモ依然地主の勢力、財閥の勢力ノ殘滓ガ相當根強ク現議會ニハ居ルノデアリマス、サウシテ農地法トカ或ハ勞働組合法ト云フモノハ、斯カル舊財閥の、舊地主の殘滓勢力ニ依ツテ、相當多量ニ地主的ニ或ハ財閥的ニ修正セラレル處ノアル斯ウ云フ議會ニ、何モ僥テテソレナモノヲ出ス必要ハナイノダ、寧ろ此ノ法案ノ名譽ノ爲ニモ、私ハ唯此ノ議會ハ選舉法ヲ通スダケデ、後ノ法案ナドハ新シイ議會ニ任シテ成立セシメタ方ガ、出來上ツタ法案モ其ノ方ヲ喜ブデアラウ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、現議會ニ對スル總理大臣ノ御認識ノ度合ハドウ云フモノデアリマセウカ、承リタイ

○幣原國務大臣 終戦後國內情勢ノ一變致シマシタル今日、ヨリ良ク民意ヲ反映スル議會ノ出現ヲ我々ハ眞實期待致シテ居ルノデアリマス、今日ヨリモ能ク民意ヲ反映スル議會ガ出テ來ルヤ

ウニ我々ハ望ムデ居ルノデアリマス、唯農地調整法ノ改正法律案ト云フヤウナモノハ、是ハ今日我々ガ差當リ直面致シテ居ル最大ノ急務タル、一大急務タル食糧問題ノ解決トモ關係ガアリマスルカラ、諸般ノ情勢ヲ考ヘマシテ、是ダケハドウシテモ案ノ具體化ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ見地カラ見マシテ、此ノ法律案ハ此ノ議會ニ提出致シタイ考ヘテ居リマス

○鈴木(正)委員 サウシマス、私が問ウタノハ、總理大臣ハ現在ノ議會ノ本質ニ於テ、サウ云フ民主主義政治ノ運営ニ當リ資格アリヤ否ヤト云フコトニ付テハ總理大臣ノ認識ヲ聽イタ譯ナシデスケレドモ、今ノ御答辯デ見ルト、其ノ點ニ付テハ餘リハツキリシナイ、唯此ノ議會ニ出シタノハ食糧問題ナドガアルカラ急グダ、急グカラ少々議會ガ本質ノニハ背キヤウナ氣持ガアツテモ出スノダ、恰モ選舉法ヲコ、デ通サナケレバ次ノ選舉ガ無意味ニナルカラ、選舉法ヲ急イデ出シタト云フト同意味デ御提出ニナツタト理解シテ宜シウゴザイマス、

○幣原國務大臣 其ノ通りデ宜イノデアリマス、若シ其ノ議論ヲ徹底シテ行キバ、選舉法ノ改正法モ今度ハ出セナイト云フ理窟ニナリマス、サウ云ツタ意味デナク、急グ要シタモノハドウシテモ此ノ議會ニ提出シテ皆様ノ御協賛ヲ仰グノガ當然ダ、斯ウ考ヘタノデアリマス

○鈴木(正)委員 ソコデ大體サウ言ウテハ議員ガ怒ルカラ言ハヌダラウケレドモ、今ノ總理大臣ノ認識ハ、兎モ角現在ノ議會ハ眞ノ民主主義政治ヲ運営スル本質ヲ具ヘテ居ナイト云フ認識ヲ

持タレタト私ハ理解スル、ソレデナケレバ何モ急グカラ出スノダト云フ必要ハナイ、サウデセウ、ソコニツノ大事ナ問題ガアルト云フコトダケ私ハ念ヲ押シテ、此ノ認識ノ問題ハソレ以上ニハ進マナイ積リデアリマス

次ニ外務大臣ニ御伺ヒシタイノデスケレドモ、外務大臣ハ只今「マツカサ」司令部ノ方 オイデニナツタトカ云フ話デ、五時マデニ來ナケレバ今日ハ歸レスト云フ話デアリマス、恐ラク今日ハ御見エニナルコトガ出來ヌト思フ、ソコデ外務大臣ニ對スル質疑ハ私明朝マデ保留サシテ戴キマス、ソコデ何ト云ツテ宜イカ、何處ヘ質問シテ宜イカ實ハ分ラヌデスガ、復員ノ問題、復員省ト云フモノガ出來テ……

○中島委員長 總理大臣ニ質問シナサイ、兼任デス

○鈴木(正)委員 私ハ事務的ノコトニ付テ御伺ヒシタイノデスカラ、總理大臣デナクテモ宜シウゴザイマスガ、ソレヲ答辯シテ下サル係リハ此處ニ居ルノデセウカ

○幣原國務大臣 第一復員次官モ、第二復員次官モ、此ノ席ニ居ラレマス

○鈴木(正)委員 總理大臣ニ御答辯ヲ願ヘレバ結構デスガ、若シソレデナケレバ其ノ係リノ方ニ御説明ヲ願ヒタイ、現在日本國內ニ居ル人々ノ中デ、兵隊ノ外地ニ持ツテ居ル家族達ハ、本當ニ息子達或ハ親達ガドンナ扱ヒヲ外地デ受ケテ居ラウカト云フコトヲ心カラ心配シテ居リマス、ソコデ私サウ云フ親達ノ氣持、或ハ女房達ノ氣持、子供達ノ氣持ヲ要約シテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、一ツサウ云フ人達ノ氣持ヲ思ヒ遣ツテ、出來ルダケ

丁寧ニ、出來ルダケ親切ニ具體的ニ御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス、就テハ一問一答デ、サウ云フ所カラ出テ來ラレルト時間ヲ取ルト思ヒマス、ズツト聽キタイコトダケヲ全部羅列致シマスカラ、御記憶ノ上デソレニ付テ一々御返答ガ願ヒタイト思ヒマス

先ヅ外地三百萬ノ復員兵ノ家族ハ、只管其ノ生死安否ヲ氣遣ツテ居リマス、モウ手紙ガ半年モ一年モ來ナイト云フノハ、皆サウナンデス、生キテ居ルカ死ンデ居ルカ分ラナイ、ソレガ知リタイ、ソコデ成ベク速カニ出來ルナラ本人自身デ、外地ニ居ル兵隊自身デ簡單ニ葉書デ宜イカラ自分ガ安全デ居ルト云フコトヲ郷里ノ親達女房達ニ直チニ通信スルヤウニ、日本カラ命令スル譯ニ行カヌダラウケレドモ、交渉スベキ筋ト交渉シテ、直チニ其ノ許可ヲ得テ、本人自身カラ健在ナリト云フ通知ヲ家族ニ送ルヤウニ取計ラツテ貰ヒタイ、是ガ第一デス、サウシテ其ノ通信文ハ必ズ飛行機デ運搬シテ貰ヒタイ、何日掛ルカ分ラヌト云フ心配ナシノ飛行機デ運搬シテ貰ヒタイ、其ノ飛行機ハ勿論日本デ勝手ニ使フ譯ニ行カヌデセウカラ、是モ何處ト交渉スルカ、一箇所デナケレバ數箇所、兎ニ角交渉ヲシテ、相手方ノ許可ヲ云フカ、承認得テ——コチラノ飛行機ヲ使ヘルモノモアル管デスカラコソチノヲ使ツテモ宜シ、向フノデ運シテ貰ツテモ宜シ、何レニセヨ飛行機デ運バヤウニ一ツ御盡力ヲ願ヒタイ

次ニ在外復員兵ハソレノ地域ニ於テ、漸次國際法規ニ依ツテ捕虜トシテノ取扱ヲ受ケテ居ルモノト信ジマスケレドモ、其ノ捕虜トシテノ取扱ヒト

云フコトハドウ云フヤウナ——苦役ト云ツテハドウカ、仕事ヲシテ居ルノカ、或ハドウ云フ狀態デ彼等ハ生活シツ、アルカ、親達ノ氣持カラ云フト、マルデ牛馬ノヤウニコキ使ハレテ腹ヲ減ラシテ居ルノデヤナカラウカ、病氣ニナツテモ醫者ニモ掛カレズニ居ルノデハナイダラウカト云フヤウナコトヲ心配シテ居ルノデスカラ、其ノ外地ニ居ル兵隊ノ生活振リトカ、其ノ仕事ノ種類トカ云フヤウナコトヲ出來ルダケ詳細ニ、「ビルマ」方面ノ捕虜ハドウヤツテ居ルノカ、支那方面ノ復員——捕虜ト云フノハ私ハ厭ヤダケレドモ、何ト云フカ、其ノ兵隊サン達ハドウ云フヤウナ生活ヲシテ居ルノカ、サウ云フヤウナ地域々々ノ狀態ニ付テモ、分レバ分ルダケ精シク御報告ガ願ヒタイ、今ヤ日本國民ノ大多數ハ陸海軍ガアツタ時分ニ發表シタ何部隊ハ何處ニ居ル、コンナ小サナ發表デサヘ飢エタル者ガ食ヲ漁ルヤウニシテ待ツテ居ルノデス、是非一ツ成ベク精シク情報ヲ聽カシテ貰ヒタイト思ヒマス

ソレカラ次ハ復員ノ根本方針ニ付テ承リタイノデス、何ト云フカ、傷病兵ヲ先ヅ第一ニ運シテ來ルト云フ、勿論御方針ダラウト思ヒマスガ、爾餘ノ將兵ノ復員順序ハドウナルノカ、例ヘバ距離ノ遠近トカ、交通ノ便不便トカ、生活ノ難易トカ、在外期間ノ長短トカ、家族ノ狀態トカ云ツタ點ヲ考慮シテ、其ノ順序ヲ決メテ居ルノカドウカ、丁度「アメリカ」ノ兵隊ガ歸ルノニ、八十

五點トカ云フヤウナ點數ニ滿ツレバ歸ツテ行カレルヤウニナルト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、何カサウ云フヤウナ一定ノ標準ガアツテ、歸還ノ順位ガ決

メラレテ居ルノカドウカ、アルトスレバ其ノ順位ヲ承リタイ

ソレカラ次ハ復員人員ノ年度別、方面別、例ヘバ昭和二十一年ニハ中支方面カラ何千人ノ兵隊ガ歸ツテ來ルノダ「フィリピン」カラ何千人ノ兵隊ガ歸ル、或ハ「ビルマ」方面カラ何千人ノ兵隊ガ歸ツテ來ル豫定デ、サウシテ其ノ全體ノ人間ノ復員ガ完了スルノガ大體何年ノ何月ニ終ルト云フヤウナ、サウ云フ具體的ナ計畫ガアラウト思フノデアリマス、其ノ具體的ノ計畫ヲ成ベク詳細ニ承リタイ、且ツ仄聞スル所ニ依レバ、最初ハ不成功ニ終ツテ居ツタケレドモ、近頃「アメリカ」ノ諒解ニ依ツテ復員ニ「アメリカ」ノ船モ少々使ヘルト云フヤウナ諒解ヲ得タト云フヤウナ話モ聞イテ居リマス、サウ云フ結果トシテ最初ニ發表サレタ復員計畫ガ、一月デモ一年デモ早ク切上ガルト云フコトニナレバ、國民ニ取ツテハ無上ノ喜ビデアラウト思ヒマス、サウ云フヤウナコトヲ詳シク御話願ヒタイ

ソレカラ最後ニ復員ハ原則トシテ應召ノ將兵ヲ先ニシ、職業的ノ軍人ヲ後ニスルノガ本當ダラウ、是ハコソチノ心持デスケレドモ、終戦後ノ狀態デ見マス、朝鮮邊リデハ將校ガ飛行機ニ乗ツテ九州ニ着イテ、兵隊ヲ置キ去リニシタト云フヤウナ話モ聞イテ居リマス、サウ云フヤウナ兵隊ヲ置キ去リニ逃ゲ歸ツタヤウナ將校ヲ一體ドウ處置シテ居ルカ、モウ一遍現地ニ還シテ居ルカ、歸ルハ歸ツタガ仕方ガナイカラ其ノ僥見過シテ居ルカドウカ、斯ウ云フコトガ全體ノ士氣ノ上ニ大イナル影響ガアルト考ヘマス、御伺ヒスル次第デアリマス、何卒出來ルダケ詳

細な御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○原政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ御答ヘテ申上ゲマス、第一、三萬萬ニ上ル將校以下兵ノ身上安否ヲ考ヘラレテ其ノ狀態ガドウカト云フコトヲ御心配ニナツテノ御尋ネデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ私共ト致シマシテ、出來ルダケ其ノ狀況ヲ知ラウト云フコトニ努メテ居リマス、事實ハ朝鮮ノ三十八度以北、滿洲、千島、樺太ニ於キマシテハ終戰以後遺憾ナガラ通信ガ出來マセヌ、其ノ外ノ公的ノ處置ヲ以テヤリマスコトハ全部實行ガ出來ズ、聯合軍ヲ通ジマシテ更ニ話ヲシマシテモ返事ガナイト云フヤウナ實情デアリマス、唯其ノ間ニ色々ノ方法ヲ以テ内地方面ニ來タ人ノ斷片のナ狀況ヲ察シマス、軍人又同胞ニ於テモ非常ナル苦心ヲサレテ居ラレト云フコトガ察セラレマス、其ノ點私共非常ニ憂慮シテ居ル次第デゴザイマス、軍人ノ方ハ、是モ正式ナル報告デハゴザイマセヌガ、樺太、滿洲ニ於テハ將校モ下士官モ兵モ別々ト云フヤウナコトニナリマシテ、其ノ人達ハ或ハ勞役ニ使ハレ、而モ其ノ勞役ノ場所モハツキリ致シマセヌト云フヤウナ狀態デ リマス、其ノ勞役ノ狀態ガ如何デアアルカト云フコトモハツキリシナイノガ現在ノ實情デゴザイマス、支那ニ於キマス安否ノ問題ハ、是ハ中國側ノ理解アル態度ニ依リマシテ、軍ノ今マデ持ツテ居リマシテ組織ト云フモノモ完全ニ保持サレテ居リマス、隨テ從來軍デヨク現地自活ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマスガ、其ノ附近々々ニ於テ環境ヲ整理シ、殊ニ一地方ニ長ク居ツタ所デハ其ノ自活ノ狀態ハ良好デアリマスノデ、

生活ニハ心配ハナイト云フ狀況デゴザイマス、唯御承知ノヤウニ延安方面ノアノ中國側ニ對スルゴタノ結果、揚子江以北、殊ニ北支ニ於キマシテハ事實體戰以後ニ於テモ日々戰死者ヲ出シテ居ルセウナ狀態デゴザイマス、此ノ支那ニ於ケル内亂ノ結果蒙ル將兵ノ死傷ニ對シテハ、是レ亦、私共ノ非常ニ心痛シテ居ル所デゴザイマス、既ニ九月二日ヨリ十一月半バニ互リマスル間ニ於テ、三千幾ラノ戰死者ヲ出スト云フ風ナ實情ニゴザイマス、全般のニハ先刻申上ゲマスヤウニ良イノデアリマスガ、局部ニ於テハ斯クノ如ク苦勞ヲシテ居ルト云フ實情デゴザイマス、中部太平洋、「ニューギニア」或ハ「ビルマ」尙ホ南方方面ニ於キマス將兵ニ付キマシテハ是ハ一々詳シイコトハ分リマセヌガ、大體ニ於テ小サイ島ニ行ツテ居ツタ人々ハ、現地自活ニハ苦シンデ居リマスルノデ、終戰後軍ト致シマシテハ、其ノ附近ニ大キナ島デ現地自活ノ出來ルヤウナ所ニ小サイ所カラ有リ合セノ船デ集結ヲ致シマシテ、團結ヲ鞏固ニシテ士氣ヲ旺盛ニシテヤツテ居ルノデゴザイマス、概シテ心配ハナイト云フ狀態デゴザイマス、「フィリピン」ニ於キマシテハ、是ハ次ノ俘虜ト云ハレマシタ此ノ問題トモ關聯致シマスガ、「フィリピン」ニ於キマシテハ、終戰後大體ニ於テ俘虜ノ取扱ヲ受ケテ居リマス、「マニラ」或ハ其ノ郊外ニ於テ約四萬ノ將兵ガ天幕ニ入ツテ俘虜ノ待遇ヲ受ケテ居リマス、既ニ「フィリピン」ヨリハ千何百人ノ將兵ガ内地ヘ歸還致シマシタ、ソレ等ノ報告ニ依リマス、最初ハ「アメリカ」側ニ於テモ非常ナル好意アル待遇

ヲ受ケテ居リマスガ、如何セン「フィリピン」ニアル食糧ハ使ハスト云フコトヲ聲明セラレタ關係上、漸次他所ノ方カラ持ツテ來ル所ノ食糧モ減退ヲ來シテ、初メハ一日五百「グラム」位ノ米ガ段々減ツテ參リマシテ、現在ハ日本ノ二合一勺ヨリモ少イ狀態デゴザイマス、歸還者ノ報告ニ依リマス、「アメリカ」側ノ報告デハ一日千五百「カロリー」ハアルト云ハレテ居リマスガ、事實ハ中々足りマセヌデ、相當營養上困ツテ居ルヤウナ様子デゴザイマス、併シハ是ハ給與上ノ問題デゴザイマシテ、疾病其ノ他ニ付テハ概シテ心配ナイト云フ實情デ リマス、唯遺憾ナガラ非常ニ苦戰セラレタ將兵ガ、アノ終戰ヲ傳ヘラレテ大部分ハモウ榮養失調ニ近イヤウナ狀態デ「マニラ」ニ皆歸ラレタ爲ニ、「マニラ」到後後相當ノ死者ヲ出シテ居リマス、又數ハハツキリ致シマセヌケレドモ、終戰ノ結果降ラズシテ尙ホ現地ノ山ノ中ニ立籠ツテ居ル將兵ガ相當數アルト云フ見込デゴザイマス、「ビルマ」ノ狀況ニ付キマシテハ、只今受ケテ居リマス狀況ニハ今マデ戦ツテ居リマセヌノデ、確タルコトハ中上ノ策ニマセヌガ、現地デハ恐ラク、隊長ノ掌握下ニ入ツテ現地自活等モ或ル程度行ツテ居リハセヌカ、是ハ私ノ想像デゴザイマスガ、

次ハ斯クノ如キ安否ヲ尋ネ心心配シテ居ル家族ニ對シテ、何トカ郵便其ノ他デ知ル方法ハナイイカト云フ御尋ネデアリマス、是ハ現在サウ云フ途ガ開カレマシタ、今日モ其ノ途ガドウナツテ居ルカト云ツテ念ヲ押シタノデゴザイマス、是ハ聯合國ノ方ノ諒解ハ經テ居リマスガ、實質ニ於テ行ツテ居リマセヌガ、近ク是ハ希望ノヤウニ行ク等デゴザイマス、安否ノ中デ、現在ノ實情ヲ申上ゲマス、復員部ニハ留守業務部ト云フモノガゴザイマシテ、此ノ留守業務部ガ三萬萬海外ニ居ル人ノ安否ヲ取扱ツテ居リマス、サウシテソレヲ知ル爲ニハ、海外カラ兎ニ角サウ云フコトヲ一番知ツタ人ヲ一番早ク歸スト云フコトガ現在ノヤリ方デゴザイマス、是ハソレハ、ノ出先ニ其ノ名簿ヲ持ツテ皆歸ルヤウニ指令ヲシテ居リマスノデ、或ル程度行ツテ居リマスガ、「フィリピン」邊リハ、コチラノ希望ガ中々傳ハリマセヌデ、歸ツテ來タ者ハタツタ一人歸ツタト云フニ過ギナイノデ、全部ノ安否ト云フノハ分リニクイ狀態デアリマス、此ノ點ハモウ暫クシマス、三百萬全部トハ申シマセヌガ、非常ニ能ク分ルト思ヒマス、但シ現在ノ實情ハ約八十「パーセント」三百萬人ノ八十「パーセント」ノ安否ハ分ツテ居リマス、其ノ八十「パーセント」ノ分ツテ居ル時期ハ、名簿ニ依ツテ送ツタノガ終戰後位ノモノハマダ來テ居リマセヌノデ、是ハ分リマセヌガ、若千部ハ終戰直前、一番古イノハ是ハ古ウデゴザイマシテ昨年ノ五月位デゴザイマス、「ニューギニア」トカ、「ビルマ」トカ、中々連絡ガ出來マセヌノデサウ云フ實情デアリマス、今年ノ一月カラ四月、是レ位マデノハ大體七十「パーセント」位ハ來テ居ル、飛行機ニ依ツテヤツタラドウカ、是ハ願ハシイコトデアリマス、之ニ付キマシテハ、日本ニハ飛行機ガゴザイマセヌシ、旅客飛行機モ禁止サレテ居ルヤウナ狀況デ、聯合國ト交渉ヲシナケレバナリマセヌカラ、直グ此處デ言明ヲスル譯ニハ參リ

マセヌ
○鈴木(正)委員 一寸此ノ儘テ話サセテ戴キタイ、先刻現地自活ト仰シヤツタ、私共支那ニ居ル兵隊モ俘虜トシテ扱ハレテ居ルト思ツテ居ツタノデスガ、部隊ノ組織ヲ其ノ儘ニシテ現地自活ヲシテ居ルト云フノハ、何ダカ嫌シイ心強イヤウナ氣持ガ致シマス、其ノ現地自活ト云フノハ、日本ガ金ヲ拂ツテ買ツテ食ツテ居ルト云フノデスカ、サウダトスレバ、一寸ソコガ理解出來ナイノデス
○原政府委員 支那其ノモノニ居リマセヌノデ、明確ニ御答ヘハ出來マセヌガ、私共ノモノガ油網ナリ臺灣ニ行キマシテ、私ノ部隊ノヤツテ來マシタ狀況ニ依リマス、皆自分デ耕シマス、唯米ダケハ自分デアルマデニハ臺灣デモ行ツテ居リマセヌ、大部分ハ自分デ耕シテ居リマス、併シ米ハ或ル程度ノ保有米ヲ持ツテ居リマスノデ、支那ニ於テハ尙ホ食糧ニハ困ツテ居ラスト云フ報告ガゴザイマス
○鈴木(正)委員 被服ハドウデスカ
○原政府委員 被服ノ方ハ或ル程度困ツテ居ルダラウト思ヒマス、併シ戰ヲシマス爲ニ準備ヲ相當シテ居リマスノデ、是ハヒドイノヲ着テ居ルノモアリマセヌガ、或ル程度ハ緩和シテ居ルト考ヘマス
復員ノ根本方針ハドウカ、點數制其ノ他ヤツテ居ルカ、何等カ標準ヲ知リタイ、斯ウ云フ御話デアリマス、海

外ノ三百萬ノ人ヲ何トカシテ早ク内地ニ歸還サセテ、ソレハノ家庭ニ歸ツテサウシテ新日本ノ平和建設ニ盡サセルヤウニト云フコトハ、私共ノ所謂根本デゴザイマスガ、頭ヲ悩マシテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ一刻モ早クヤル爲ニハ、何トシマシテモ船ガ基礎ニ

アリマス、所デ現在マデ
ゲマス、南部朝鮮
十七萬ノ者ハ、
マシタ、

○中島委員長 鈴木君ハ總理大臣ニ質問ガザイマスカ
○鈴木(正)委員 宜シウゴザイマス
○原政府委員 少シ長クナリマスガ、其ノ「エル・エス・デー」ニ依リマシテ、一隻ガ千人モ乗リマスノデ、時ニ三千人、四千人ト云フ軍人、或ハ同胞モ歸還シテ居ルト云フヤウナ状態ニナツテ居リマス、曾テ陸軍省時代ニ發表致シマシタ昭和二十三年ニアラザレバ、支那ノ兵ハ内地ニ復員ガ出來ナイ、斯ウ云フコトハ現在ノ見込デハ明年ノ暮ニハ出來ルト云フ見込ニナツテ居リマス、但シ其ノ船ハ「アメリカ」ノ援助ガ續イテノ計算ヲ今申上ゲタノデ、是ガ切レマスト又元ノ通りニナツテシマフト云フ状態デアル、或ハ海軍ノ復員ニ付テハ第二復員省カラモ説明ガアルカモ知レマセスガ、南ノ方ノ中部太平洋、是等ノ方面ハ海軍ガ主ニ其ノ任ニ當ツテ居ラレノデアリマスガ、是モ

明年ノ暮、船ノ計畫ニナツテ居リマス、ソレハズツト西南ノ方ハ、海軍ノ責任ガヤツテ居ラレスベキコトデアリマス、今マデ朝鮮カラ逃ゲテ歸ツタカ云フヤウナ者ハ、私ハ一名モ聞イテ居ナイト云フヤウナ状態デアリマス、唯斯ウ云フノガゴザイマス、滿洲ハ一遍ニ捕マヘテ皆牢獄ニト言ツテハ適當デナイカモ知レマセスガ、抑留サレタ、兵隊ヲ歸サスト云フヤウナコトマデ言ハレタ部隊モアリマス、ソコデ兵ヲ將校ノ中ニ是ハイカス、取敢ズ内地ニ報告シヨウト云フノデ苦勞ヲシ、汽車ノ不通ノ所ヲ歩イテ朝鮮カラ汽車ニ乗ツテ歸ツテ來タト云フ人ハアリマスガ、部下ヲ棄テ歸ツテ來タト云フヤウナ人ハアリマセス、又丁度内地ニ狀況報告デ歸ツテ來タ後ニ、八月十五日斯ウ云フコトニ打突カツテ、向フニ行カヌ人ハアリマスガ、先程御尋ネノヤウナ狀況ハ是ハナイト云フコトヲ私ハ斷言致シマス、之ヲ以テ私ノ御答ヘヲ終リマス

○鈴木(正)委員 「アメリカ」ノ船デ歸還ノ計畫ガ非常ニ促進シテ居ルト云フコトハ嬉シイコトデスガ、日本ノ船ハソレニドノ位使ツテ居ルノデゴザイマス
○原政府委員 海軍ノ船ガ數トシマシテハ百二十隻入ツテ居リマスガ、總「トン」數カラ言ヒマスト非常ニ少イノデアリマス、其ノ外ニ病院船、客船、之ヲ合シマシテ約十五萬總「トン」デゴザイマス、デゴザイマスカラ、ソレガ現在ハ支那ニモ活動シテ居ル、南ノ方ニモ活動シテ居ルト云フノデ、先程申上ゲマシタヤウナ日ニチニ復員出來ル、斯ウ云フコトニナリマス、デハドウ云

フ船ガ何時何處ヲ出テドウ云フ風ナ運轉デヤツテ居ルト云フヤウナコトマデハマダ押ヘテ居リマセス
○鈴木(正)委員 第二復員省ノ方カラ
○三戶政府委員 只今第一復員次官カラ説明ノゴザイマシタコトト殆ド同ジデアリマシテ、違ツタ所竝ニ補足致シマス點デケヲ申上ゲマス、第一ノ生死安否ノ問題ニ付キマシテ、舊海軍軍人ノ居リマス方面デハ、只今戰闘状態ニ入ツテ居ル所ハゴザイマセス
次ニ復員ノ根本方針ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、復員ノ順序ニ付キマシテハ、聯合國側ノ指示ニ依リマシタモノ、是ハ先ヅ自活ノ出來ナイ孤島等ヲ先ヅ還送スル、ソレカラ個々ニ付キマシテハ傷病兵ヲ先ヅ取扱フ、斯ウ云フ工合ニナツテ居リマシテ、大體指揮官級ハ最後ニ廻ルヤウニナツテ居リマス、其ノ中デ誰ヲ還スカト云フヤウナコトハ、概ネ聯合國側ノ指示ニ依ツテ居リマス

○鈴木(正)委員 「アメリカ」ノ船デ歸還ノ計畫ガ非常ニ促進シテ居ルト云フコトハ嬉シイコトデスガ、日本ノ船ハソレニドノ位使ツテ居ルノデゴザイマス
○原政府委員 海軍ノ船ガ數トシマシテハ百二十隻入ツテ居リマスガ、總「トン」數カラ言ヒマスト非常ニ少イノデアリマス、其ノ外ニ病院船、客船、之ヲ合シマシテ約十五萬總「トン」デゴザイマス、デゴザイマスカラ、ソレガ現在ハ支那ニモ活動シテ居ル、南ノ方ニモ活動シテ居ルト云フノデ、先程申上ゲマシタヤウナ日ニチニ復員出來ル、斯ウ云フコトニナリマス、デハドウ云

等原方面ガ來年ノ一月末、是ハ終了ノ時期デゴザイマス、中部太平洋方面ガ來年ノ三月末、比島方面ガ同ジク來年ノ九月末、南方面ガ二十二年ノ七月末、南西方面ガ二十三年ノ末、中南支ガ同ジク二十三年ノ末ニ終了スルモノト推定致シテ居リマス、但シ今後更ニ使用艦艇ニ付キマシテ條件ガ有利ニナリマス、是ハ一層繰上ゲラレモノト期待シテ居リマス、復員ノ原則的ニ應召ヲ先ニシ、職業軍人ヲ後ニスベキデアルト云フヤウナ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ先程第一復員次官カラ説明ガザイマシタヤウニ、海軍ニ於キマシテモ陸軍ノヤウナ編制トハ違ヒマスケレドモ、大體例ヘバ艦船カラ退艦致シマシタ者、或ハ陸上ノソレハノ部隊ニ居ツタ者、是ハ更ニ一觀メニシテ統制アル行動ヲ取ラシテ居リマス關係上、大體陸軍ノ行キ方ト同ジヤウナ要領ニナツテ居リマス

○鈴木(正)委員 只今總イテ書キ取ルコトガ出來ナカツタカラ、正確ナコトハ言ヘマセスケレドモ、陸軍ノ方ハ今ダケノ船ト外國船ノ援助ガアレバ、大體來年ノ末ニハ全部完了スル、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウニ聽キマシタ、所ガ海軍ノ方ハ、中南支方面ノ全部完了ガ二十三年ノ末ダ、斯ウ云フコトニナリマス、陸軍ト海軍トノ計畫ノ間ニ二年間ノ大體大難把ナ意味デ狂ヒガアルヤウニ思フノデスガ、陸軍ガソナニ早ク出來ルノニ、海軍ガ何故サウ遅レルノカ、ソコノ所ヲ一寸説明シテ貰ヒタイト思ヒマス

○三戶政府委員 只今申上ゲマシタ數字ハ、只今海軍ノ方デ、舊海軍艦艇百四十隻バカリヲ使ツテ還送シテ居リマス

○鈴木(正)委員 只今總イテ書キ取ルコトガ出來ナカツタカラ、正確ナコトハ言ヘマセスケレドモ、陸軍ノ方ハ今ダケノ船ト外國船ノ援助ガアレバ、大體來年ノ末ニハ全部完了スル、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウニ聽キマシタ、所ガ海軍ノ方ハ、中南支方面ノ全部完了ガ二十三年ノ末ダ、斯ウ云フコトニナリマス、陸軍ト海軍トノ計畫ノ間ニ二年間ノ大體大難把ナ意味デ狂ヒガアルヤウニ思フノデスガ、陸軍ガソナニ早ク出來ルノニ、海軍ガ何故サウ遅レルノカ、ソコノ所ヲ一寸説明シテ貰ヒタイト思ヒマス

○三戶政府委員 只今申上ゲマシタ數字ハ、只今海軍ノ方デ、舊海軍艦艇百四十隻バカリヲ使ツテ還送シテ居リマス

ガ、是ト先程申上ゲマシタ船デ、現在ノ要領デ還送致シマス場合ノ豫想デゴザイマス、是カラ尙ホ還送ニ携ハル船ノ増加ニ付特色々希望ヲ出シテ居リマス、ソレガ通レバ、恐ラク此ノ時期ハ一層詰ルモノト考ヘテ居リマス、隨テ私ノ申上ゲマシタ計畫ハ、現在ニ於テ將來ヲ見透シテ手ヲ打ツテ居ル數字ハ入ツテ居リマセヌ

○鈴木(正)委員 復員ニ關スル問題ハ分リマシタ、尙ホ此ノ際第一及第二復員省ノ次官ニ御寄シタイノハ、内地軍隊ノ復員ニ際シテ行ハレタ軍需品ノ不正處分ノ、人心ニ與ヘタ影響ハ甚大ナモノガアリマス、地方ニ依ツテハ此ノ問題ガ徹底的ニ説明セラレナイ限リハ、米ノ供出ナドハ斷ジテシナイト云フ程ノ空氣モアルノデアリマス、然ルニ此ノ問題ニ關スル過日ノ本會議ニ於ケル陸軍大臣ノ御説明デハ、檢舉シタモノガ七百二十五件、其ノ中ニハ上級將校モアツタ、三割カラ六割程度同收セラレタガ、マダノ、不十分デアル、今後益々峻烈ニ檢舉シタイト云フ程ノ御話デ、是デハ到底一般國民ノ憤懣ヲナシタルコトハ出來ナイと思ヒマス、依然小物ヲ擧ゲテ、件數ハ多イヤウデモ存舟ノ魚ヲ逸シテ居ルト云フ疑惑ハ、何トナシニ拂拭スルコトガ出來ナイと思ヒマス、此ノ問題ノ解決ノ急所ハ檢舉又ハ處罰ノ件數ノ多少ニアラズ、ハナタシテ、寧ロ巨魁ヲ拉シテ國民ノ溜飲ヲ下ゲルト云フ底ノ解決ヲサナケレバナラヌと思ヒマス、ソレデ私ハ第一復員省ニ此ノ問題ヲモツト詳細ニ具體的ニ、例ヘバ檢舉セラレタル人員ガ何名、其ノ中デ將官ガ何名、佐官ガ何名、尉官ガ何名ト云フ風

ニ分ツテ居ツタナラバヤツテ貰ヒタイ、ソレカラ不正處分品ノ價格デス、件數デナシニ一體ノ位ノ金額ノモノガ先ヅ糊口化サレタノダ、不正處分セラレタノダ、其ノ中ノ位ガ回收セラレタノダト云フ風ナコトヲ、出來レバ價格ニ於テ明瞭ニ示サレタイと思フデアリマス、第二復員省ニ付テモ同様ニ考ヘルノデアリマス

○鈴木(正)委員 復員ニ關スル問題ハアリマスガ、私能ク分ラヌケドモ、陸軍大臣モ海軍大臣モ今後更ニ檢舉ヲヤルト仰シヤイマシタ、憲兵ノナイ、或ハ軍法會議モナクナツタノデヤナカト思ヒマスガ、サウ云フモノガナクナツタ今日以後、峻烈ニ檢舉ヲ續行スルト言ハレケレドモ、其ノ檢舉ト云フモノハ一體一般警察官乃至檢事ガヤルノデアルカ、ドウ云フ手デ檢舉シヤルノカ、其ノヤウナコトヲ私了解シタイ、ソレカラ又檢舉ニ際シテ陸軍大臣ガ此ノ點ニ對スル國民ノ協力ヲ求メルト言ハレタガ、國民ノ協力ト云フハ、之ヲ警察ニ密告スルカ、サウ云フヤウナコトヲ意味スルノカ、軍方國民ニ協力シテ欲シイト云フ其ノ具體的ノ協力ノ方法ニ付テ承ツテ置キタイと思ヒマス

○原政府委員 終戦時ニ於ケル軍需品ノ不始末ニ付テ國民ノ疑惑ガ解ケナイ、斯ウ云フ御話デアリマス、之ニハ私ハ實際終戦當時ノ陸軍ガ持ツテ居ツタモノノ申上ゲテ、サウシテ幾ラ不始末ヲシマシテモ此ノ程度ノモノダト云フ大體ノトヲ申上ゲルノガ宜イノデハナイカト思フノデス、實際調べマシタ所デハ、主要糧食ハ米麥、雜穀デス、米麥ガ七割トシテ、雜穀ガ十萬

「トシ」、合計約十七萬トシヲ保有シテ居リマシタ、此ノ十萬トシト云フノハ、當時陸軍ノ部隊、戰團スル部隊ガ二百餘萬人、ソレカラ馬ガ大凡十萬頭、之ニ對シテ三箇月分ノ保有シテ居ル糧秣、是ハ後カラ見て割合ニ能クアツタナト云フ位、當時後方兵站ヲヤツテ居ル主任者ハ、三箇月ハ迎モナイダラウト云フノデ、實ハ内心四苦八苦シテ居ツタ、終戦後此ノ數字ガ出テ、マアア大分アツタナト思ツタ位デス、併シ關東平野ニ於テハ相當ナク部隊ハ困ツテ居ツタノデアリマス、ソコデ其ノ後軍隊ガ復員致シマスル間ニ食ベマシタモノ、ソレカラ二百萬餘リノ者ガ復員致シマシタガ、其ノ兵ニ大凡一人五分ノ食糧ヲ進行サセルヤウナ命令デアリマシタノデ、ソレ等ヲ引キマスト、ソレ等ハ大凡五萬トシニ當リマス、ソレカラ終戦直後ヨリ八月二十

八日ノ間議決定ニ至ル間ハ、民需ニ之ヲ廻スト云フ政府ノ方針ニ基キマシテ、相當困難ニ拂下ゲラレタと思ヒマス、ソレガ非常ニ世間ノ疑惑ニナツテ居ルノデハナイカト想像スルノデザイマス、其ノ數量ハ三萬トシ「デゴザイマス」、其ノ萬トシ「モ地方ノ官廳、食糧機關、食糧事務所、其ノ外民間ノ團體ト云フモノニ主トシテ拂下ゲルヤウニ命令サレタノデザイマス」ガ、實際局所々々ニ於キマシテハ、事實斯ウ云フ事態ガ起ルトハ考ヘテ居ラナカツタ爲ニ、相當困難ニ、何ト云ヒマスカバ撒イタト云ヒマスカ、サウ云フ事象ガ起キタノデハナイカト想像スル、是ハ確カニアツタと思ヒマス、隨テ最後ニ聯合軍ニ引繼イデ居リ、引繼ギ中ノモノヲ加ヘマス「トシ」

此ノ九萬トシ「ノモノハ聯合國ノ手ヲ經テ内務省ニ渡リ、民需ニ渡ルト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、先程ノ御話ノ不正不都合ダト言ハレタハ、想像致シマスルノニ、部隊ガ解散ヨシテ、復員軍人ガアノ背中ニ背負ツテ歸ツタノニ多少餘計持タセテヤツタコト、是ハ私ハ認メマス、ト云フハ之ニ依ツテ處分セラレタ部隊長モ相當アリマス、今茲ニ五分分ト言ハレテ居ルガ、國民ニヤルノダト云フノデ、ソレハ十分分トカ或ハソレ以上渡シタト云フ人ガアリマセウ、ソレガ非常ニ重イ恰好ヲシテ歸ツタ、サウシテ軍人ガ何ダト云フ非常ニ惡イ眼ヲ以テ見ラレタ「ソシナコトデハナイ、ソレハ諒トシテ居ル」ト呼デ者アリ「ソレハ分リマシタ、問題ハ次ノ三萬トシ」ノ問題ダト思フノデス、是ハ前ノ大臣ガ説明シタト思ヒマスガ、大體三割カラ六割同收ヲ致シマシテ、サウシテ地方ニアリマスモノハソレヲ府縣ノ官廳ニ渡シテ改メテ入レテ、サウシテ何ト云ヒマス、配給ノ處置ヲ執リツ、アリマス、被服ニ付キマシテハ、冬服ト夏服ヲ合シマシテ終戦時ノ保有量ハ約七百六十萬著「デザイマス」、復員者ノ携行シタモノハ約百八十五萬著「デザイマス」、拂下ゲタ數量ハ約百七十五萬著「デザイマス」テ、残ツテ居リマスハ大凡四百萬著「デザイマス」、斯ウ云フ狀況デゴザイマス、毛布ニ付キマシテハ、是モ被服ト同ジヤウニ、大凡終戦時ニ於キマシテハ七百七十萬枚持ツテ居リマシタ、復員者ノ携行シテ居リマシタノガ約二百二十萬枚、拂下ゲタ數量ガ百萬枚、殘リノ四百五十萬枚ヲ聯合軍ニ引繼イデ居ル、斯ウ云フ狀況デゴザイ

マス

以上ノヤウナ狀況デゴザイマシテ、私ハ一番不正ノ起ツテ居ルト思ヒマスノハ、八月十五日頃カラ二十九日頃マデニ拂下ゲマシタ、約三萬トシ「ガ一番問題ニナツテ居ルノダト、私想像致シマス、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ二分モノハ回收ヲ致シマスルシ、散亂シタモノハ出來ナイモノモ相當アルノデハナイカト想像シテ居リマス、先程ノ御質問ニ、此ノ際ハ大物ヲヤツテ快哉ヲ叫ブノデナケレバ納マラナイ、斯ウ云フ風ナ御話ノヤウニ承リマシタガ、實際ヲ調べテ見マス、今マデノ調べニ依リマス、將官デ係ツテ居ルモノガ一名、佐官ガ三十七名、尉官ガ百五十八名、准士官、下士官ガ百九十一名、兵百四十名、軍屬百二十五名、其ノ何ヲ目標ニシタカト言ヒマス、食糧品ヲ狙ツタモノガ二百六十五件、被服品百六十七件、金銀十三件、兵器其ノ他二百八十六件、其ノ他雜難ニ罹ツテ居ル件數ト云フノガ二百四十七件「デザイマス」、此ノ調べハ十一月二十日マデニ何トカ各地方デ調べタモノヲ報告セイト言ツテ集メタモノデゴザイマス、全部到着シテ來タノモアリマス、今後前大臣ガ申シマシタヤウニ、是デ満足シテ居ルト云フコトハナイノデゴザイマシテ、事實私ノ方ニソレヲ捜査スル機關モナイ實情デアリマス、ソレハ、是ハ今カラ調べルト云フテモ中手ガナイノデゴザイマス、ソコデ現在ヤツテ居リマスノハ開込ミ、投書デゴザイマス、投書ハ五百五通アリマス、其ノ中デ百四十九件トアリマスガ、是ガ大體餘リ誇大ヲシテ居ラズ、眞ニ稍、近イト云フノデアリマス、三

分ノ二以上ハ是ハ殆ト事實無根ニ近イ事實ヲ言ツテ來テ居リマス、ソレハ投書シタ所ニ行ツテ一々聽イテ居ルノデゴザイマス、本人ニ當ツテ聽イテ居リマス、唯無責任ナ人ガ記名ヲシテ居リマスガ、人ヲヤツテ見マシテモ其ノ人ハ其處ニ居リマセヌ、サウシテ手數ハ掛ケマスガ、結局何處ノ人ヤラ分ラナイ、現在ハサウ云フ方々ガアリマスナラバ、是ハ何時デモソレヲ御聽キシタイ氣持デ居リマスルノデ、自分ノ身體デ以テ御傳ヘ願ヒタイ、手紙デ言ウテモ分ラナイヤウニシテヤツテ戴イテハ、實際取調ベガ付カナイノデアリマス、私共ハ私スベキコトハ私サナケレバナラスト云フ積リデ居リマス、サウ云フコトガ分リマシタラ、大小トナク言ツテ戴キマスレバ、私共ノ本務ニ從ツテ萬全ナル處置ヲ講ジタイ、斯ウ云フ積リデゴザイマス、之ヲ以テ御答ヘト致シマス

○山本善政府委員 第二復員省ノ關係申シマス、只今第一復員次官カラ申サレタノト同ジヤウナコトガ澤山アルノデアリマスガ、全般ノ二ドレダケノ金額ト、ドレダケノ物品ヲ不正處分サレタカ、斯ウ云フ計畫ハ今用意シテ居リマセヌノデ、御答ヘスルコトノ出來ナイノハ遺憾デ、リマスガ、之ヲ具體的ニ人ニ當ツテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、此ノ前本會議ニ於キマシテ、當時ノ海軍大臣ガ大マカ所ヲ御答ヘ申シタノデアリマスガ、今其ノ不正處分ノ犯罪ガ受理サレタモノガ約四百五十人デアリマシテ、其ノ内約三百六十人ガ處理済デアリマス、ソレデ其ノ内譯ヲ先程御質問ガアリマシタカラ申上ゲテ見マス、士官ノ方ヲ申シマ

スガ、少將ガ一人デアリマス、大佐ガ五名、中佐ガ二名、少佐ガ十名、大尉ガ十八名、中尉ガ二十三名、少尉ガ二十三名、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、アトハ下士官、兵デアリマス、ソレカラ書記、海軍文官其ノ他ノ者デアリマス、ソレデ大物、斯ウ云フコトデ先ヅ今申上ゲマシタ「ランク」ノ方カラ申上ゲマスレバ、今申シタノデ能ク御分リノコトト思ヒマスガ、物ノ方デ二、三申上ゲテ見マス、金ヲ横領擧帶シタト云フノガ、少尉五名デ以テ八十一萬圓ヲ擧帶シタ事件ガアリマス、是ハ其ノ後懲罰處理ガ確定致シマシテ、主謀者ハ懲役三年、其ノ他ノ者ハ懲役二年、若シハ懲役一年半、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ物ノ方デハ或ル工廠ノ大佐ノ者ガ工廠カラ鐵道ヲ一枚、機械、電氣冷藏庫「トラック」、自動車、斯ウ云フモノヲ約六十四點、時價ニ致シマシテモ數十萬圓デアリマス、斯ウ云フモノヲ不當ニ拂下ゲタ、斯ウ云フ嫌疑ヲ受ケマシテ今調査中デアリマス、ソレカラ或ル大佐ガハ軍需部ノ者デアリマスガ、米十俵、麥五俵、雜穀七十箱、兵用ノ軍服四十五著、毛布二十五枚、砂糖四十五俵、「ウキスキ」其ノ他斯ウ云フ日用品、生活品等ヲ持出シタ、斯ウ云フ嫌疑ヲ受ケテ居ル者ガゴザイマス、先程少將一ト申上ゲマシタガ、是ハ病院ノ或ル院長デゴザイマシテ、病院ニ於キマスル治療器械、藥品、日用品、或ハ糧食品等ヲ數百點横領致シマシテ、自宅ニ持歸ツタ、是ハ豫備役ニナリマシタ關係上、只今檢事局ニ送致致シマシテ捜査中デアリマス、斯ウ云フノガ澤山ゴザイマス、是

デ大體今マデ處理ヲ致シマシタモノガ八割位デアリマスガ、今尙ホ檢舉シテ居ル者ガ續イテ居リマス、ソレカラ所謂大物——斯ウ云フ重要ナ事件ガ二、三ゴザイマシテ、是ハ非常ニ大掛リニヤツテ居リマス關係上、捜査ハ中々困難デアリマスガ、現ニ是ノ檢舉ノ端緒ヲ得マシテ今内在中ノモノガゴザイマス、此ノ内容ハ内在中デアリマスノデ、此處デ申上ゲルトソレガ分ルトイケマセヌノデ、申上ゲラレマセヌノデアリマスガ、サウ云フ大キナ、是ハ先程申上ゲマシタ個人ニヤツタヤウナモノデハナクシテ、モット大キナモノデアリマス、斯ウ云フモノガ二、三アリマス、コトヲ御報告申上ゲテ置キマス

○鈴木(正)委員 復員省ノ係リカラ、色々終戦當時ニ於ケル軍需品不正處分ノ問題ニ付テ具體的ノ御報告ガアリマシタ、私ノ言フノハ要スルニ存丹ノ魚ヲ逸シテハ居ラスカト云フ印象ヲ、事實ノ有無ニ拘ラズ、國民ハサウ云フ風ニ感ジテ居ル氣持ガアル、其ノ感ジヲ拂拭スルコトガ軍トシテ努ムベキコトデアツテ、若シ事實世間ガ考ヘテ居ルガ如キ大物ニサウ云フ不正行為ガナカツタスレバ、是ハ國家ノ爲ニモ、軍ノ爲ニモ甚ダ慶賀スベキコトデアリマス、サウ云フコトデアレバアル程サウ云フ事實ガナカツタト云フコトヲ國民ヲシテ信ゼシメルニ足ル證據ニ立ツテ、之ヲ速カニ公表セラレルコトガ、米ノ供出其ノ他人心ノ安定ト云フカ、サウ云フ上ニ效力ノアルコトト存ジマスカラ、至急左様ナ行動ニ出ラレルコトヲ御勸メスル次第デアリマス

次ニ内務大臣ニ御伺ヒ致シタイ、ト云フノハ此ノ狀態デ此ノ日本ノ治安問

題ハ大丈夫ナノカ、私ハソレヲ心配スル、何トナシニ現在ノ我ガ國ノ治安ハ、山雨將ニ至ラントシテ風樓ニ滿ツ、一ツ間違ヘバ直チニ暴動ニデモ行キサウナ空氣ガアルノデヤナイカト私ニハ感ゼラレルノデアリマス、總理大臣ハ過日西下ノ車中談デ戰災者ノ住宅問題ハ小林國務相ノ獨創的手腕ヲ十分ニ發揮シテ貰ツテ、強力ニ敏捷ニ是ガ解決ニ當ルコトニナツテ居ルカラ大丈夫ダ、失業者ノ救済ハ、「ダム」ノ大築造工事ヲ起セバ心配ナイ、敗戦後ノ惡性「インフレーション」ハ、濫濫穢穢相乗切ル確信ガアル、獲ラス狸ノ皮算用ニ類スル太平樂ヲ並ベテ居ルノデアリマス、所ガ住宅問題ハ一向進捗シテ居ラマデハナイカ「ダム」ノ築造ハ何時ニナツタラ著手スルノカ、ソレモ全然見當ガ付イテ居リハセヌ惡性「インフレーション」ノ傾向ハ日ニ其ノ深度ヲ加ヘテ行クト思ヒマス、加フルニ政府ガ率先シテ餓死者ガ出來ルノ、政府自ラ、如何ナル理由カ知ラスケレドモ、今マデハサウ云フコトヲ言フコトヲ慎重ダ政府ガ、今度ハ眞先ニナツテ米ガ是リナイカラ餓死者ガ出來ルト云フヤウナ宣傳ヲ致シマシタ爲ニ、食糧不安ハ極メテ深刻ニ人心ニ影響シテ來マシタ、隨テ金ノアル奴ハ必要以上ニ買占ヲ致シタノデ、主要食糧品ノ偏在ハ今日隨分夥シイ狀態デアルト思ヒマス、此ノ結果今ヤ人ハ凶惡其ノモノト云フベキ一線ニ立ツテ居ルノデヤナイノカ、若シ一歩ヲ誤レバ、或ハ恐ル此ノ一月、二月ノ嚴冬期ニ於テ、一部國民ノ中ニハ遂ニ自暴自棄ノ餘リ暴動、掠奪等ノ行爲ニ出ヅル者ガナイトハ保障

シ難イ狀態デアルト思ヒマス、斯カル世相ニ直面シテ内務大臣ハ果シテ左様ナ心配ハ絕對ニ無用ト斷言スル自信ガオアリデスカ、萬々一不祥ナ事件ガ起ツテモ、今日ノ警察力ヲ以テ國內治安ヲ維持ノ重責ヲ完遂スルコトガ出來ルト云フ確信ガオアリデアリマス、詰リ内務大臣ノ現世相ニ對スル感想、實ニ私ハ容易ナラス情勢ダト思フノデスケレドモ、其ノ國內治安ガ是デ十分保ツテ行カレルト云フ御觀察ナリヤ否ヤヲ承リタイノデアリマス

○堀切國務大臣 只今ノ世相ハ御話ノヤウニ、或ハ食糧ノ問題、或ハ失業ノ問題等カラ致シマシテ、色々ナ懸念ナ點ガアルヤウニ存ジテ居ルノデアリマス、唯此ノ間ニ處シマシテ政府ト致シマシテモ適當ノ措置ヲ執リ、又治安ヲ維持ニ當リマス警察官ニ對シマシテモ、十分ノ注意ヲ以テ之ニ當ルヤウニ注意ヲ致シテ居ル次第デアリマス、先頃地方長官會議ノ席ニ於キマシテ地方長官ニ對シマシテ、又警察部長ノ會議ニ於キマシテ警察部長ニ對シマシテモ、私ハ此ノ點ノ心配ヲ十分ニ述ベマシテ、十分注意ヲシ治安ヲ維持ニ當ルヤウニト云フコトヲ力致致シマシタヤウナ次第デアリマス、今日ニ於キマシテハ、更ニ又或ハ物價ノ騰貴其ノ他ニ依リマシテ、狀況ハ其ノ當時ヨリモ決シテ良クナツテ居ナイヤウニ考ヘテ居リマス、唯警察ト致シマシテ、何處マデモ、國內ノ治安ヲ保持シマスコトガ、何ヨリ第一ノ任務デアリマスノデ、各警察當局ヲ督勵致シマシテ、此ノ治安ヲ維持ニ付キマシテハ萬善ノ策ヲ講ジマスヤウニ注意ヲ致シテ居ル次第デアリマス、十分ニ注意ヲ

致シマスレバ、國內治安ノ保持ニ付キマシテハ懸念ハナイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○鈴木(正)委員 現在ノ警察力ヲ以テ豫想シ得ラル、國內ノ治安混亂ヲ十分ニ制壓出來ルト、斯ウ内務大臣トシテ言ヒ切ラレタ以上ハ、ソレガ出來ナイト言フノハ見解ノ相違ニ過ギヌト云フコトニナル譯デアリマスガ、私ハ現在ノ警察力ヲ以テシテハ到底始末ノ付カヌヤウナ情勢ガ起ルノデヤナイカト心配スルノデス、是ハ無用ノ心配ダト言ハレバソレダケデスケレドモ、現在ノ微弱ナル警察力ヲ以テ防ゲル程度ノ國內不安ヲ終ルヤウナコトハナイ、斯ウ思ヒマスノデ、私ノ聴イタノハ、其ノ自信ガナイ、今日ノ警察力ダケデ自信ガナイト言フノナラ、私ハ更ニ自信ノ持テル警察力ヲ建設スル、増強スル、サウ云フ施設ガ伴ハナケレバナラヌノデヤナイカト云フ含ミデ御質問ヲ申上ゲタノデスケレドモ、内務大臣、當局者自ラガ是デ大丈夫ト仰シヤレバ又何ヲカ言ハンヤ、私ハ切ニアナタノ言ウタコトガ本當ニナツテ、見ロ、アンナコトヲ言ツタケレドモ、抑ヘルコトハ出來ヌデヤナイカ、「マッカイサ」軍隊ノ御世話ニナツテ日本ノ暴動ガ漸ク鎮壓出來タト云フヤウナ状態ニナラヌヤウニ、本氣ニヤツテ戴キタイト云フ私ノ衷心ノ御願ヒヲ申上ゲテ、此ノ問題ハ是デ一應終リマス

色々言ヒマスケレドモ、ソレガ無用ダト云フノデヤナイケレドモ、從來或ハ工業立國ダトカ、或ハ貿易立國ヲ立テルト云フヤウニ戰爭前ニ言ハレタ、サウ云フ意味ニ於テ言ヘバ、將來日本ノ進ムベキ途ハ最早農業立國以外ニハナイノダ、斯ウ私ハ考ヘマスケレドモ、ソレニ對スル農林大臣ノ御感想ヲ承リタイ

○松村國務大臣 私モ全く同感デゴザイマス、今日ニ於テハ日本ハ農業立國デ行クヨリ外ニ途ハナイト思ヒマス、今回農地法ヲ此ノ臨時議會ニ出シマスノモ、農業立國ノ基礎ヲ一日モ早ク立テタイガ爲デゴザイマス

○鈴木(正)委員 此ノ觀點カラ七千五百萬ノ日本人口ノ割合——七割トカ六割トカ見ルデセウガ、ドノ程度ノモノガ今日ノ農村、漁村ニ安住シ、定著シ得ルコト云フ政策ヲ御探リニナル積リナノカ、詰リ之ニ依ツテ一戸當リノオ百姓ノ持ツ田畑ノ見當モ付イテ來ル譯ニナリマス、農業經營ノ各種ノ問題モソコカラ大體判出サレテ來ルヤウニ思フノデスガ、先ヅ七千五百萬ト人口ヲ踏ンデ、其ノ中デドノ位ノ分置ヲ農業ニ振向ケ、ドノ位ノ人口ヲ工業ニ振向ケ、ドノ位ノ人口ヲ商人トシテ受入レ、サウシテアトノ残りガ結局役人トカサウ云フコトニナルト思ヒマスガ、大體サウ云フ人口ノ計畫の割當ト云フヤウナ御考ヘテ、現在政府ノ御持チデリマスカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ

○松村國務大臣 農村ハ今後恆久のニ入レ得ル人口ト云フモノハ、現在ノ既耕地ノ農村ニハ大ナル分置ハ入り得ナイモノト存ジテ居リマス、今回開拓

ノ生キル途ハ農業立國ノ一途アルノミト信ジテ居リマス、イヤ何トカ彼トカ、食糧ヲ外國カラ取ラネバトカ、其ノ見返リノ工業ガ興ラナケレバトカ、

若シハ干拓ヲ致シマスアノ部面ニ於テノ新シイ人口ヲ吸收シ得ルト思ヒマス、之ニ對シテハ大體開墾ノ側ニ於テ少シ耕地ハ窮屈デアリマシテ、農村工業等ヲ加ヘナクチャナリマセケレドモ、大體百萬戸即チザツト家族トモ五百萬人入ラレハ、恆久のニ申シマス、是ガ最大限度デナカラウカト思ヒマス、尙ホ干拓ノ方面ニ入レ得ル人口ハ、干拓計畫ノ實際ハ今後ニ俟チマスカラ分リマセケレドモ之ニ「アラス」シマシテモ大ナルモノデハナカラウカ、二十萬戸位ノモノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ想像致シテ居リマス、ソレニ今日ノ農業人口及ビ既墾ノ土地ヲ考ヘマス時ニ、ザツト考ヘマシテ日本ノ人口ノ五割五分位ヲ吸收スルコトガ最高ノ能力デハナカラウカ、其ノヤウニ私ハ大體見當付ケテ居ル譯デゴザイマス

○鈴木(正)委員 五割五分ト云フ見當、私ハ六割、若シハ六割五分入ラナケレバ日本ハ食ツテ行ケヌノデヤナイカト云フヤウニ思フノデスケレドモ、ソコハ見解ノ相違ト云フコトニナリマセウカラ、ソレ以上ハ申シマセヌ、兎ニモ角ニモ日本人口ノ五割五分位ガ農村ニ入ラナケレバナラヌト云フ御見解ヲ承ルコトガ出來マシタ

次ニ何ト云ツテモ今日一番大事ナ問題ハ、オ百姓ガ米ヲ出スト云フコトナシデスガ、其ノ米ヲ出シ盡ツテ居ル理由ヲ私ハ斯ウ云フ風ニ見テ居ル、骨髄ニ徹シタ官僚ニ對スル不信ト云フコトガ一ツアリマス、ソレカラ不正軍人、官僚ノ醜行ニ對スル不滿ト云フヤウナコトガアリマス、ソレカラ農村イデメノ諸統制ニ對スル不滿、從來ノ官僚統

制ニ對スル不滿、サウ云フモノガヤハリ米ヲ出シ盡ツテ居ル原因ニナツテ居ル、ソレカラ農民ノ賣ルモノハ安ク、買フモノハ高イト云フ事實ニ立脚スル不滿、ソレカラ是ハ特ニ農相ハ御承知デスガ、供出物ニ對スル代價ノ支拂ガ著シク遲滞ナルト云フコトデアリマス、是モ供出ナント馬鹿ラシイト云フ氣持ニシテ居ル一ツノ事實、ソレカラ第六ハ先刻田中君ノ御質問ノ時ニ農林大臣自ラ仰シヤツタノデスガ、今來ヲ持ツテ行カナケレバ實際鐵ヲ直スコトモ出來ズ、醫者ニ診テ貰フコトモ出來ス、米ヲ持ツテ居ナケレバ何モ日常生活ニ必要ナモノヲ手ニ入レルコトヲ持ツテ居ナイト生キテ行カレナイト云フ感

○松村國務大臣 全部認メザルヲ得マセヌ、私ニ、三縣デアリマスケレドモ農村ヲ廻リマシテ、自分ガ實際見聞致シタ所モ同様デアリマシテ、全部認メザルヲ得マセヌ、要スルニ政府ノ信用ノ回復、ソレカラサウ云フ物資ノ賣買ガ極メテ不當ニ行ハル、事實、其ノ他約東セラレタ金ガ早ク渡ラナイト云フヤウナ點等、御話ノ點ハ輕重ノ差ハアリマスケレドモ、全部其ノ通りデアラウト思ヒマシテ、是ガ回復、是ガ是正ニ努メテ居ル譯デゴザイマス

ウツシテ居ルコトニ對シテモ答ヘラレタヤウナ氣持ガ致シマスガ、米ノ供出ガウマク行カナイ農民心理ガソコニアラナラバ、私ハサウ云フ事情ヲ一々取除イテ行クコトニ依ツテ、米ノ供出ヲ快クセシムルト云フ努力ヲシテ欲シイ、ソレヲ今農林大臣ハスルト仰シヤツタ、アレドモ言葉ノ先ダケデナシニ、ドウ云フ風ニシテ事實具體のニソレヲオヤリニナルノカ、例ヘバ今言ツタヤウニ農民ノ賣ル物ハ安ク農民ノ買フ物ハ高イ、是ハ詰リ農産物ノ値段ヲ上ゲルカ、或ハ農村ノ需要スル品物ノ値段ヲ下ゲルカ、議論デヤナイ、努力デヤナイ、事實ソレガ行ハナケレバ、サウ云フ原因ヲ除クコトハ出來ヌト思フ、例ヘバ醫者ガ米ヲ持ツテ行カナケレバ脈ヲ診テ呉レヌ、サウ云フコトハシテイカスト云フ唯一片ノ訓令ヲ出シタダケデハ、ソナコトデ醫者ガ米ヲ要求スル態度ガ改マルトハ思ヒマセヌ、オ百姓ガ鐵 鍛冶屋(持ツテ行ツテ直サウト云フ)、米ヲ持ツテ來ナケレバ直サスト言フ、ソレデハイカスト云フコトヲ鍛冶屋ニ言ツタダケデハ迎モ直ルモノデハナイノデアリマス、如何ナル具體的ノ施設ニ依ツテ、今農林大臣自ラ奔走セラレタヤウナ事情ヲ改メテ行カレル御積リデアアルカ、其ノ點ヲ少シク具體的ニ御示シテ願ヒタイ

○松村國務大臣 ソレニ付キマシテハ、第一ニ私共ガ實踐モシ、ヤラネバナラスト思ツテ心掛ケテヤツテ居リマスコトハ、政府ノ發表、政府ノヤルコトガ實際ト違ハナイコト、ソシテ總テガアリノ儘ノ國民ニ示スコトガ第一義ト存ジマシテ、私共ハ總テヲ隠サズニ發表致シテ居ル積リデゴザイマス、隨

○鈴木(正)委員 既ニ私ガ是カラ問ハ

テ私共ノ發表致シマスコトハ非常ナ悲
觀ニナツテ、却テ副作用ヲ起スヤウナ
コトガアル虞ハアリマスケレドモ、是
モ已ムヲ得ザルコトト思フテ、アリノ
儘ノ發表ヲ致スコトガ第一ニ國民ノ信
頼ヲ回復スル所以デアラウト思フノデ
アリマス、又官吏若シクハ之ニ準ズル
者ノ從來ノ慘イヤリ方ニ付キマシテ
ハ、全然其ノヤリ方ヲ變ヘテ行カタク
チヤナラヌト存ジマシテ是モヤツテ居
リマス、又供出ノ制度ノ如キモ、米ナ
ラ米一本デ無理ニ取ラウト云フヤウナ
ヤリ方モ是ハ止メマシテ、農村ノ要
デアリマシタ綜合配給制度ヲ執ルトカ
云フヤウナコトヲ致シ、又物ヲ「バー
ター」デナケレバ買ヘナイト云フヤウ
ナコトニ付キマシテハ、何トカサウ云
フ途ヲ通ラナイデ、必要ナ物ガ農家ノ
手ニ入ルヤウニ努メネバナラスト考ヘ
マシテ、之ニ對スル努力ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、私ハ農業會ガ總テノ物
ノ流れヲ壟斷スルコトニハ同意ヲ致シ
兼ネマ、ガ、併シナガラ只今ノ先ヅ第一
ノ途トシテハヤハリ農業會ニ流スコト
ガ、サウ云フ「バーター」ノ形ニナルコ
トヲ避ケル近道ト思ヒマシテ、之ニ
物ヲ流スコトヲ今日圖ツテ居ル譯デゴ
ザイマス、此ノヤウナコトヲ致シマス
ト共ニ、供出其ノモノニ對シテ從來ノ
壓制ノナヤリ方ヲ止メマシテ、本當ニ
今日ノ食糧打開ノ爲ニ同胞ヲシテ飢エ
シメザルガ爲ニ、農民ノ心カラノ動キ
ニ依リマシテ此ノ供出ヲヤツテ行キタ
イ、又地方ヲ廻ツテ、本當ノ農村ヲ見
マス時ニ、アノ闇行爲ノ如キ社會惡ヲ
犯ス者ハ農村ノ一部ノ者デアリマシ
テ、全體ノ農村ト云フモノハ、昔ナガ
ラノ淳朴ナ人情ノ厚イ農村トシテ殘ッ

テ居ルモノト私ハ認メテ居ル譯デアリ
マス、是等ノ人情ニ厚イ農村ニ、此ノ
場合同胞愛ニ懇ヘテ供出ヲ願ヒタイ、
從來ノヤウナヤリ方ハ執ラナイ、斯ウ
云フ方針デヤツテ居ルノデゴザイマ
ス、是ダケ御答ヘヨ申上ゲマス
○鈴木(正)委員 大體農林大臣ノ御努
力、御誠意ハ了派致シマシタ、唯承リ
漏レタノカ、或ハワザト御觸レニナラ
ナイノカモ知レナイガ、今日ノ農產物
價ト一般物價ノ間ニ非常ナ開キガア
ル、此ノ開キヲドウスルカト云フコト
ニ付テノ農林大臣ノ御意見ヲ承リタイ
○松村國務大臣 私が全部認メマシタ
意味ハ、農產物價ガ安クテ他ノ物價ガ
高イト云フ原則ダト云フ御質問トハ
思ヒマセス、例ヘバ醫者ニ行ケバ米ヲ
取ラレ、農具ヲ買ヒニ行ケバ隨分高イ
物ヲ買ハサレル、斯ウ云フコトダト思
ツテ全部ヲ御認め致シタ譯デアリマス
ガ、農產物價ノ點ニ付キマシテ、若シ
モ農產物價ガ安クテ他ノ物價高イト
云フヤウナコトガアツテハナラナイ
ト思ヒマス、今日ニ於テ農產物價ハ
必ズシモ安イトハ申サレナイノデア
リマス、ナゼナラバ野菜類ナドハ、
他ノ物價ト比較致シマシテ今日ハ寧
ロ先廻ツテ居ル位ノ價格モ出テ居リ
マスカラ、農產物價全體ガ安イト
ハ申サレナイト思フノデアリマス

者側ノ家計費ヲ睨ミ合セテ決定セラル
ベキモノデアル、之ニ依ツテ價格ハ形
成セラレ、之ニ依ツテ價格ハ動クノデ
ナケレバ本當デナイト思フノデアリマ
ス、ソレト今日一般物價トノ割合ヲ見
テ決定セラルベキモノト思フノデアリ
マス、唯今日ニ於テハ、戰時中家計費
ノ調査モ、生産費ノ調査モ、其ノ他ノ
統計ノ基礎ガ全然アリマセズ、ソシテ
物價ノ如キモ唯公定セラレタ價格ハア
リマスガ、自由ニ動ク物價ノ趨勢ト云
フモノハ關以外ニハナイノデゴザイマ
スカラ、ソレデ根據ノアル基礎的ノ價
格ヲ決定スルコトガ出來ナイ狀態デ目
分量デヤツテ行カクナクヤナラス、ソ
レデアリマスカラ至急ニ其ノ調査ヲ始
メテ、農產物價ノ價格ノ基本ヲ作リタ
イト思ヒ、是等ノ調査ヲ始メルコトニ
致ス考ヘデゴザイマス

對スル質問ヲ後ニ殘シテ、私ハ、大藏大
臣ト商工大臣ガ折角オイデニナツテ御
待チ下スツテ居ルノデスガ、自ラ質問
ヲ放棄シマス、唯願ハクバ命ノアル中
ニ病氣ヲ治シテ貰ヒタイ、病氣ハ治シ
テヤルケレドモ、命ハ保證出來ヌト云
フコトデハ困ル、サウ云フコトヲ申上
ゲテ、是デ終ルコトニ致シマス
○中島委員長 明日ハ午前十時ヨリ開
會致シマス、本日は是ニテ散會致シマ
ス
午後六時四十八分散會

〔參照〕

豫算委員會要求參考資料

中村(又)委員

二三、國防獻金、恤兵金、學藝技術
獎勵金等ノ現在狀況

(第一、第二復員省)

○鈴木(正)委員 主要食糧デス
○松村國務大臣 ソコデ食糧ニ付キマ
シテモ是ガ是正ヲシナクテハナラナイ
ト存ジマシテ、先般モ相當大幅ノ値上
ヲ致シタノデアリマス、之ニ付キマシ
テ私共ハ斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノ
デアリマス、ヤハリ主要食糧ノ價格
ハ、其ノ生産費及ビ利潤ヲ見、又消費

○鈴木(正)委員 一應了派致シマシ
タ、尙ホ大藏大臣モオイデニナツテ居
リマスガ、大藏大臣ニ物價對策ト云フ
カ、一ツノ體系アル物價秩序ヲ御作リ
ニナラウトスル問題ニ付テ承リタイ
ト思ツテ居リマシタケレドモ、田中君ト
ノ質問應答ヲ聽イテ居リマシテ、大體
政府ノ意ノアル所ハ分リマスガ、全體
ヲ通ジテ私が感ジマシタコトハ、何カ
斯ウヤレバ大丈夫病氣ハ治ル、併シナ
ガラソレマデ命ガ保ツカドウカ分ラナ
イト云フ風ナ感ジナノデアリマス、病
氣ヲ治スコトハ大事ナノダケレドモ、
命ガアル中ニ治シテ貰ハナケレバ駄目
ナノダ、ソコヲ一ツ能ク心算ニ置イテ
考ヘテ裁キタイト思ヒマス、商工大臣
モオ見エニナツテ、商工大臣ニモ御尋
ネスル積リデアリマシタケレドモ、時
間ガ大分過ギマシタノデ、外務大臣ニ

昭和二十年十二月十六日印刷

昭和二十年十二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局